

川内原子力発電所

第 2 号機

計画期間中における点検の実施状況等

(第 2 4 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

- ① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備
 - a. 定期事業者検査の対象となる設備
 - b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備^{*1}（事後保全を実施する資機材等を除く）
- ② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備を含む

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や付帯設備^{*2}の点検等）については、「川内原子力発電所 保守基準」及び「川内原子力発電所 土木建築基準」に基づき策定している。なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備に記載している。

※2：付帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「川内原子力発電所 保守基準」及び「川内原子力発電所 土木建築基準」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記している。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」^{※3}又は「F」^{※3}により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「川内原子力発電所 保守基準」に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」^{※4}、「プラント運転中」^{※4}の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」^{※4}に実施することとしている。

ただし、「プラント運転中」の記載については、運転計画によって実施時期が異なることがある。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第24保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるため、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/131
原子炉本体（原子炉容器）	1/131
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/131
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	2/131
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	3/131
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	3/131
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	7/131
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	14/131
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	17/131
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	23/131
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	32/131
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	43/131
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	46/131
計測制御系統施設（制御材）	46/131
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	46/131
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	47/131
計測制御系統施設（制御用空気設備）	50/131
計測制御系統施設（その他設備）	53/131
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	55/131
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	55/131
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	72/131
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	72/131
放射線管理施設（換気設備）	72/131
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	85/131
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	86/131
原子炉施設（その他設備）	97/131
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	100/131
蒸気タービン（调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁）	101/131
蒸気タービン（復水器）	104/131
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	105/131
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	107/131
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	116/131
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	117/131
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	123/131
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	124/131

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	126/131
火災防護設備（その他設備）	126/131
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	130/131
浸水防護設備（その他設備）	130/131
非常用取水設備（取水設備）	130/131
土木建築設備	130/131
プラント総合全般機器	131/131
竜巻防護設備	131/131

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/7
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/7
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	1/7
計測制御系統施設（計測装置）	2/7
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	2/7
計測制御系統施設（制御用空気設備）	2/7
計測制御系統施設（その他設備）	4/7
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	4/7
原子炉格納施設（圧力低減設備）	5/7
原子炉施設（その他設備）	6/7
非常用電源設備	6/7

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検

4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

- 別紙ー1 クラス1機器、Ni基合金溶接部（供用期間中検査対象）
- 別紙ー2 クラス2機器（供用期間中検査対象）
- 別紙ー3 クラス2管（原子炉格納容器内）のうち
一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）
- 別紙ー4 重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象）
- 別紙ー5 重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象）

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	2 3	SN2-2 燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	2 3		※：炉心設計による
	燃料集合体 157体	外観点検	高	1C	○	2 3	SN2-3 燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルボイズン 3. プラギングデバイス 4. 2次中性子源 } 1式※							
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-81 炉物理検査	定検起動後
					2 3	SN2-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後	
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器	開放点検	高	13M	○	2 3		第2 4回定検で計画保全実施
	炉心支持構造物（制御棒クラスタ案内管支持ピン）	非破壊試験	高	3C	—	2 3		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	2 3		一部プラント運転中
	燃料移送装置制御設備	装置点検	高	1C	○	2 3		一部プラント運転中
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	2 3		
	燃料取替クレーン制御設備	装置点検	高	1C	○	2 3		
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M	○	2 3		一部プラント運転中
	使用済燃料ピットクレーン制御設備	装置点検	高	1C	○	2 3		一部プラント運転中
	新燃料取扱クレーン	分解点検	低	—	—	2 0		クレーン休止中
	新燃料取扱クレーン制御設備	装置点検	低	—	—	2 0		クレーン休止中
	新燃料エレベータ	分解点検	低	13M	○	2 3		一部プラント運転中
	新燃料エレベータ制御設備	装置点検	低	1C	○	2 3		一部プラント運転中
	燃料取扱建屋クレーン	分解点検	低	1V	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
	燃料取扱建屋クレーン制御設備	装置点検	低	1F	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
	1. 燃料移送装置（リフティングフレーム） 2. 燃料取替クレーン（ホイスト、グリッパ） 3. 使用済燃料ピットクレーン （No. 1ホイスト, No. 2ホイスト）	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱建屋クレーン	機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-75 燃料取扱設備検査	
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-95 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	4. 新燃料エレベータ 5. 燃料取扱建屋クレーン		低					
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 制御棒取替装置	外観点検	低	1C	○	2 3	SN2-95 燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	2号 原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2号 燃料取替用キャナル	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2号 キャスクピット	外観点検	高	1C	○	2 3		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化・冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット他含む
	2A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	○	2016年度		
	2A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	○	2016年度		
	2B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	—	2019年度		
	2B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中 (振動診断:1ヶ月)
		分解点検		4Y	—	2019年度		
	2C 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2017年度		
	2C 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2017年度		
	2号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2016年度		
	2号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンクポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2014年度		
	使用済燃料ピット水タンクポンプ用電動機	分解点検	低	10Y	—	2014年度		プラント運転中
	2A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	2B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	低	10Y	○	2011年度		プラント運転中
	2C 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	低	10Y	○	2010年度		プラント運転中
	2A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2019年度		プラント運転中
	2B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2017年度		プラント運転中
	2号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンクフィルタ	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	使用済燃料ピット水タンク	開放点検	低	10Y	—	2015年度		プラント運転中
	2A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	2B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	使用済燃料ピット水タンク脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
2V-SF-059 2号 SFP DW供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	2018年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第23回定検より点検頻度変更	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SFT-101 2号 使用済燃料ピット水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2015年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-SFT-102 2号 使用済燃料ピット水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2015年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	2A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	2Y	○	2019年度	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断:切替毎)
		分解点検		4Y	○	2017年度		
		機能・性能試験		4F	○	2017年度		
	2A 燃料取替用水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		プラント運転中 (振動診断:切替毎)
		分解点検		3Y	—	2019年度		
	2B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	2Y	○	2018年度	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断:切替毎)
		分解点検		4Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		4F	—	2018年度		
	2B 燃料取替用水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		プラント運転中 (振動診断:切替毎)
		分解点検		3Y	○	2017年度		
	2号 燃料取替用水タンク基礎 1式(土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	23		
	2号 燃料取替用水タンク加熱器	開放点検	低	130M	—	21		
	2V-RF-016 2号 RWS T加熱器逃がし弁	分解点検	低	130M	—	22	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	22		
機能・性能試験		10C		—	22			
2RFT1-A 2A 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	22	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
2RFT1-B 2B 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	22	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
2RFT1-C 2C 燃料取替用水タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	22	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備)	2A 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	23		
	2B 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	23		
	2C 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	23		
	2A 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	—	23	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	2B 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	—	23	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	2C 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	○	—	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体積検査	
	2A 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	21	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	23		一部定検起動後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	2 3		
		分解点検		39M	○	2 1		
		非破壊試験		39M	○	2 1		
	2 B 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	1 7	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	2 3		一部定検起動後
	2 B 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	2 3		
		分解点検		39M	—	2 3		
		非破壊試験		39M	—	2 3		
	2 C 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	—	2 3	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	2 3		一部定検起動後
	2 C 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	2 3		
		分解点検		39M	—	2 2		
		非破壊試験		39M	—	2 2		
	2 A 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	○	2 2	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	2 B 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	○	2 2	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	2 C 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	—	2 3	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	加圧器本体	開放点検	高	13M	○	2 3		
	炉内計装用シンプルチューブ 50本	非破壊試験	高	52M	○	2 0	SN2-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
	2V-RC-055 2号 加圧器A安全弁	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査	
機能・性能試験		1C		○	2 3	SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2V-RC-056 2号 加圧器B安全弁	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-10 加圧器安全弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2V-RC-057 2号 加圧器C安全弁	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-10 加圧器安全弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2-PCV-454C 2号 加圧器B逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 2			
	分解点検		13M	○	2 3	SN2-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-11 加圧器逃がし弁機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2-PCV-455 2号 加圧器A逃がし弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-11 加圧器逃がし弁機能検査	
2V-RC-054A 2号 加圧器A逃がし弁元弁		簡易点検(グラッドパッキン取替)	高	65M	○	1 9		
		駆動部点検		130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 9		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
2V-RC-054B 2号 加圧器B逃がし弁元弁		簡易点検(グラッドパッキン取替)	高	65M	—	2 3		
		駆動部点検		130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
2-PCV-454A 2号 加圧器Aスプレイ弁		簡易点検(グラッドパッキン取替)	高	13M	○	2 3		
		駆動部点検		52M	—	2 1		
		分解点検		26M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
2-PCV-454B 2号 加圧器Bスプレイ弁		簡易点検(グラッドパッキン取替)	高	13M	○	2 3		
		駆動部点検		52M	—	2 2		
		分解点検		26M	○	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	2 2		
2V-RC-077 2号 P R Tガス分析ライン隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	1 5		
2V-RC-078 2号 P R Tガス分析ライン隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-RC-084 2号 加圧器逃がしタンク窒素隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 7		
		分解点検		130M	—	1 7		
2V-RC-095 2号 加圧器逃がしタンク補給水隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 8		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-RC-088 2号 加圧器逃がしタンク窒素逆止弁	分解点検	低	130M	○	—	SN2-87 1次系逆止弁検査	第15回定検より追加
	加圧器ヒータ 1式	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	2 3		
	2V-BD-001A 2 A S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-BD-001B 2 B S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-BD-001C 2 C S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-BD-016A 2 A S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	2 2		
	2V-BD-016B 2 B S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-BD-016C 2 C S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-BD-033 2号 S/Gブローダウン放射線計出口逃がし弁	取替	低	130M	—	1 6		
		漏えい試験		10C	—	1 6	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 6		
	2V-BD-045 2号 S/Gブローダウンタンク廃棄物処理系入口逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-BD-003A 2 A S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	1 5		
	2V-BD-003B 2 B S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-BD-003C 2 C S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	2-PCV-3610 2 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	
	2-PCV-3620 2 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	
	2-PCV-3630 2 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		漏えい試験		1C	○	2 3	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	
2-HCV-3615 2 A 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	26M	○	2 2			
	駆動部点検		52M	—	2 2			
	分解点検		52M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		4C	—	2 2			
2-HCV-3625 2 B 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	26M	—	2 3			
	駆動部点検		52M	—	2 3			
	分解点検		52M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		4C	—	2 3			
2-HCV-3635 2 C 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	26M	○	2 2			
	駆動部点検		52M	—	2 2			
	分解点検		52M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		4C	—	2 2			
2V-MS-523A 2 A 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	65M	—	2 2			
	駆動部点検		130M	—	2 2			
	分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-MS-523B 2 B 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検（グランドパッキン取替）	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	2V-MS-523C 2 C 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検（グランドパッキン取替）	高	65M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 2		
	2V-MS-526A 2 A-1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	2 2	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	2 2		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-526B 2 B-1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-526C 2 C-1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-527A 2 A-2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	2 2	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	2 2		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-527B 2 B-2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-527C 2 C-2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2V-MS-528A 2 A-3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	2 2	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査 SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	2 2		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-MS-528B 2B-3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-528C 2C-3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-529A 2A-4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	22		
		漏えい試験		2C	○	22	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-529B 2B-4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-529C 2C-4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-530A 2A-5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	22		
		漏えい試験		2C	○	22	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-530B 2B-5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-530C 2C-5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-531A 2A-6 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	22		
		漏えい試験		2C	○	22	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	
2V-MS-531B 2B-6 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	23		
		漏えい試験		2C	—	23	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-MS-531C 2 C-6 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3			
		漏えい試験		2C	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査		
	2V-MS-532A 2 A-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	2 2			
		漏えい試験		2C	○	2 2	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査		
	2V-MS-532B 2 B-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3			
		漏えい試験		2C	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査		
	2V-MS-532C 2 C-7 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	2 3			
		漏えい試験		2C	—	2 3	SN2-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-25 主蒸気安全弁機能検査		
	2V-MS-533A 2 A 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 2			
		分解点検		26M	○	2 2	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	2V-MS-533B 2 B 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 3			
		分解点検		26M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	2V-MS-533C 2 C 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	2 3			
		分解点検		26M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	2-PCV-5085 2号 T/D AFWP駆動用蒸気弁	簡易点検（クランドパッキン取替）	高	26M	—	2 3			
		駆動部点検		52M	○	2 0			
		分解点検		52M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査		
機能・性能試験		4C		—	2 3				
2V-MS-620A 2 A T/D AFWP蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5				
	分解点検		130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	1 5				
	電動機簡易点検		2C	—	2 3				
	電動機分解点検		130M	—	1 5				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-MS-620B 2 B T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-MS-575A 2号 T/D AFWP A 蒸気元弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
	2V-MS-575B 2号 T/D AFWP B 蒸気元弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
	2V-MS-583A 2 A 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
		電動機簡易点検		130M	—	1 5		
2V-MS-583B 2 B 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査		
	駆動部点検		65M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 3			
	機能・性能試験		10C	—	2 3			
2V-MS-583C 2 C 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査		
	駆動部点検		65M	—	2 0			
	分解点検		130M	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-MS-584A 2 A C/V出口主蒸気管ドレン元弁（外隔離弁）		簡易点検（グラッドバッキン取替）	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	第2 0回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
2V-MS-584B 2 B C/V出口主蒸気管ドレン元弁（外隔離弁）		簡易点検（グラッドバッキン取替）	高	65M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
2V-MS-588A 2 A 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁（外隔離弁）		簡易点検（グラッドバッキン取替）	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	第2 0回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
2V-MS-588B 2 B 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁（外隔離弁）		簡易点検（グラッドバッキン取替）	高	65M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
2V-MS-588C 2 C 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁（外隔離弁）		簡易点検（グラッドバッキン取替）	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	第2 0回定検で駆動部取替
		駆動部点検		130M	—	—		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
タービンバイパス弁 8個		機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-62 タービンバイパス弁機能検査	
2-TCV-500A 2 A タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3		
2-TCV-500B 2 B タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2-TCV-500C 2 C タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 2		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 2		
	2-TCV-500D 2 D タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	○	2 0		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	○	2 0		
	2-TCV-500E 2 E タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 2		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 2		
	2-TCV-500F 2 F タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	○	2 0		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	○	2 0		
	2-TCV-500G 2 G タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 3		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 3		
	2-TCV-500H 2 H タービンバイパス弁	駆動部点検	低	52M	—	2 3		
		簡易点検（グランドパッキン取替）		13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 3		
	2V-MS-536A 2 A 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	—	2 3		
	2V-MS-536B 2 B 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	○	2 2		
	2V-MS-536C 2 C 主蒸気逆止弁	分解点検	高	26M	○	2 2		
	2V-MS-576A 2 A T/D AFWP蒸気逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2V-MS-576B 2 B T/D AFWP蒸気逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2V-FW-520A 2 A 主給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドパッキン取替）	高	39M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
駆動部点検		130M		—	2 2			
分解点検		130M		—	2 2			
電動機分解点検		130M		—	2 1			
2V-FW-520B 2 B 主給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドパッキン取替）	高	39M	○	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	駆動部点検		130M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 1			
	電動機分解点検		130M	—	1 8			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
	2V-FW-520C 2 C 主給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グラッドベッキン取替）	高	39M	○	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		駆動部点検		130M	—	2 3			
		分解点検		130M	—	2 1			
		電動機分解点検		130M	○	1 4			
	2-FCV-460 2 A 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M	—	2 3			
		分解点検		13M	○	2 3			
	2-FCV-470 2 B 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M	—	2 3			
		分解点検		13M	○	2 3			
	2-FCV-480 2 C 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M	—	2 3			
		分解点検		13M	○	2 3			
	2-FCV-461 2 A 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 3			
		分解点検		52M	—	2 3			
	2-FCV-471 2 B 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 0			
		分解点検		52M	○	2 0			
2-FCV-481 2 C 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 2				
	分解点検		52M	—	2 2				
原子炉冷却系統施設 （余熱除去設備）	2 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	1 5	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
	2 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	○	1 4			
	2 A 余熱除去ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3			(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 3			
	2 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3			(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		65M	—	2 0			
	2 B 余熱除去ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3			(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	2 0			
	2 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3			(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		65M	—	2 1			
	2V-RH-021A 2 A R H R S - C H / S I ポンプ連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5			
		分解点検		130M	—	1 5			
		電動機分解点検		130M	—	1 5			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-RH-021B 2 B RHR S - C H / S I ポンプ連絡弁	駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4		
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2-HCV-603 2 A RHR クーラ出口流量制御弁	簡易点検 (グランドバッキン取替)	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2-FCV-604 2 A RHR クーラバイパス流量制御弁	簡易点検 (グランドバッキン取替)	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2-HCV-613 2 B RHR クーラ出口流量制御弁	簡易点検 (グランドバッキン取替)	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	○	1 4		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2-FCV-614 2 B RHR クーラバイパス流量制御弁	簡易点検 (グランドバッキン取替)	高	65M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	○	1 4		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-RH-001A 2 A RHR S 入口隔離弁	駆動部点検	高	104M	—	2 0	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		104M	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	2V-RH-001B 2 B RHR S 入口隔離弁	駆動部点検	高	104M	—	2 0	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		104M	—	2 0		
電動機分解点検		130M		—	2 2			
2V-RH-003A 2 A RHR S 入口弁 (内隔離弁)	簡易点検 (グランドバッキン取替)	高	52M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
	駆動部点検		104M	—	2 2			
	分解点検		104M	—	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-RH-003B 2 B RHR S入口弁（内隔離弁）	簡易点検（グラッドベッキン取替）	高	52M	○	2 0	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		駆動部点検		104M	○	1 6		
		分解点検		104M	○	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-RH-024A 2 A RHR クーラ出口連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-RH-024B 2 B RHR クーラ出口連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2-FCV-601 2 A RHR ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2-FCV-611 2 B RHR ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	○	1 4	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	1 4		
		機能・性能試験		10C	○	1 4		
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2V-RH-020A 2 A RHR S-CVCS抽出弁	駆動部点検	高	130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
	2V-RH-020B 2 B RHR S-CVCS抽出弁	駆動部点検	高	130M	○	1 4	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	1 4		
		機能・性能試験		10C	○	1 4		
	2V-RH-035 2号 AM用代替再循環ライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
機能・性能試験		10C		—	2 0			
電動機分解点検		130M		—	2 0			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-RH-005A 2A RHR S入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	1 5	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
	2V-RH-005B 2B RHR S入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	1 8	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
	2V-RH-025A 2A RHR S低温側入口配管逃がし弁	分解点検	高	130M	—	1 7	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 7		
		機能・性能試験		10C	—	1 7		
	2V-RH-025B 2B RHR S低温側入口配管逃がし弁	分解点検	高	130M	—	1 6	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 6		
		機能・性能試験		10C	—	1 6		
	2V-RH-010A 2A RHRポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 5		
	2V-RH-010B 2B RHRポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 6		
	2V-RH-033A 2A RHRポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
分解点検		130M		—	2 0			
機能・性能試験		10C		—	2 0			
2V-RH-033B 2B RHRポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0			
	分解点検		130M	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2V-RH-036 AM用代替再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 0			
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	高圧及び低圧注入系 充てん/高圧注入ポンプ：3台 余熱除去ポンプ：2台 モード切替弁：3 8個 蓄圧注入系 蓄圧タンク：3基	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-16 非常用炉心冷却系機能検査	
		2A 充てん/高圧注入ポンプ	高	13M	○	2 3	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
	分解点検	39M		—	2 3			
	2A 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 1		
	2B 充てん/高圧注入ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	○	2 1		
	2B 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 2		
	2C 充てん/高圧注入ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 2		
	2C 充てん/高圧注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2号 蓄圧タンク充てんポンプ		簡易点検（油入替他）	低	39M	○	23		
		分解点検		78M	—	20		
2号 蓄圧タンク充てんポンプ用電動機		分解点検	低	78M	○	2015年度		第21回定検で点検頻度変更
ほう酸注入タンク		開放点検	高	130M	—	21		
2A 蓄圧タンク		開放点検	高	65M	—	20		
2B 蓄圧タンク		開放点検	高	65M	—	23		
2C 蓄圧タンク		開放点検	高	65M	○	20		
2A 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	23		
2B 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	23		
2A 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	23		
2B 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	23		
2V-SI-023A 2号 ほう酸注入タンクA入口弁		駆動部点検	高	130M	○	14	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	○	20		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-023B 2号 ほう酸注入タンクB入口弁		駆動部点検	高	130M	○	14	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	○	20		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-042A 2号 ほう酸注入タンクA出口弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	○	14	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	○	14		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-042B 2号 ほう酸注入タンクB出口弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	○	14	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	○	14		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-082 2号 高温側高圧補助注入弁（ほう酸注入タンク側）		駆動部点検	高	130M	—	22		
		分解点検		65M	—	22		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-094 2号 低温側高圧補助注入弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	23		
		分解点検		65M	—	23		
		電動機分解点検		130M	—	21		
2V-SI-101 2号 高温側高圧補助注入弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	23		
		分解点検		65M	—	23		
		電動機分解点検		130M	—	21		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SI-301 2号高温側高圧補助注入弁（ほう酸注入タンク側）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—		第20回定検で設置
		分解点検		65M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
	2V-SI-302 2号低温側高圧補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—		第20回定検で設置
		分解点検		65M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
	2V-SI-303 2号高温側高圧補助注入弁（外隔離弁）前弁	駆動部点検	高	130M	—	—		第20回定検で設置
		分解点検		65M	—	—		
		電動機分解点検		130M	—	—		
	2V-SI-191A 2 A 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
		分解点検		130M	—	1 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-SI-191B 2 B 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
		分解点検		130M	—	1 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-SI-193A 2 A R H R S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-SI-193B 2 B R H R S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
		分解点検		130M	—	1 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-SI-197A 2 A 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 5		
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2V-SI-197B 2 B 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4		
電動機分解点検		130M		○	1 4			
2V-SI-206 2号 高温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2			
	分解点検		130M	—	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 2			
2V-SI-132A 2 A 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M	—	2 3			
	電動機分解点検		130M	—	2 3			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2V-SI-132B 2 B 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
2V-SI-132C 2 C 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
2V-SI-143 2号 蓄圧タンクテストライン隔離弁 (内隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
2V-SI-144 2号 蓄圧タンクテストライン隔離弁 (外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
2V-SI-165 2号 蓄圧タンクN2ライン隔離弁 (外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
2V-SI-048A 2 A ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	—	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加 第2 4回定検で取替
2V-SI-048B 2 B ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加
2V-SI-048C 2 C ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加
2V-SI-087A 2 A 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-087B 2 B 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-087C 2 C 高温側補助注入ライン (BIタンク側) 逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-088 2号 Aループ高温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-099A 2 A 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	○	—	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加
2V-SI-099B 2 B 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	○	—	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加
2V-SI-099C 2 C 低温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	○	—	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1 5回定検より追加
2V-SI-106A 2 A 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	1 9	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-106B 2 B 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	1 9	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-106C 2 C 高温側補助注入ライン逆止弁 (内隔離弁)		分解点検	高	130M	—	1 9	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
2V-SI-133A 2 A 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
2V-SI-133B 2 B 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 4		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-SI-133C 2 C 蓄圧タンク出口第1逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
2V-SI-134A 2 A 蓄圧タンク出口第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-134B 2 B 蓄圧タンク出口第1逆止弁	分解点検	高	130M	○	1 4	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-134C 2 C 蓄圧タンク出口第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 5	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-135A 2 A 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査
分解点検	130M	—	2 3					
機能・性能試験	10C	—	2 3					
2V-SI-135B 2 B 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	○	1 4	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	1 4		
		機能・性能試験		10C	○	1 4		
2V-SI-135C 2 C 蓄圧タンク出口第2逆止弁用テスト弁		駆動部点検	高	130M	—	1 5	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 5		
		機能・性能試験		10C	—	1 5		
2V-SI-136A 2 A 蓄圧タンク出口第2逆止弁		分解点検	高	65M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-136B 2 B 蓄圧タンク出口第2逆止弁	分解点検	高	65M	○	1 9	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-136C 2 C 蓄圧タンク出口第2逆止弁		分解点検	高	65M	—	2 0	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-202A 2号 C ループ低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-202B 2号 B ループ低温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	—	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	第18回定検で取替
		2V-SI-202C 2号 A ループ低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	○	1 4	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-203A 2号 C ループ低温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-203B 2号 B ループ低温側注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 7	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-203C 2号 A ループ低温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	1 5	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-208A 2号 C ループ高温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 0	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-208B 2号 B ループ高温側低圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 7	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-209A 2号 C ループ高温側注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査
2V-SI-209B 2号 B ループ高温側注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		2V-SI-007 2号 蓄圧タンク充てんポンプ出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 6	SN2-86 1次系安全弁検査
漏えい試験	10C	—	1 6					
機能・性能試験	10C	—	1 6					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SI-041 2号 ほう酸注入ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	—	20		第24回定検で取替
		漏えい試験		10C	○	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	20		
	2V-SI-169 2号 蓄圧タンクN2ライン安全弁	分解点検	低	130M	—	21		SN2-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	21		
		機能・性能試験		10C	—	21		
	2V-SI-172A 2A 蓄圧タンク安全弁	分解点検	高	130M	—	23		SN2-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	23		
		機能・性能試験		10C	—	23		
	2V-SI-172B 2B 蓄圧タンク安全弁	分解点検	高	130M	○	14		SN2-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	○	14		
		機能・性能試験		10C	○	14		
	2V-SI-172C 2C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	高	130M	—	15		SN2-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	15		
		機能・性能試験		10C	—	15		
	2V-SI-204 2号 高温側低圧注入ライン逃がし弁	分解点検	高	130M	—	22		SN2-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	22		
		機能・性能試験		10C	—	22		
	2V-SI-001 2号 RWS T-C H/S I 供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	16		
	2V-SI-024 2号 ほう酸注入タンク循環ライン入口弁	駆動部点検	高	130M	○	14		SN2-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	○	14		
		機能・性能試験		10C	○	14		
	2V-SI-038 2号 ほう酸注入タンク循環ライン第1出口弁	駆動部点検	高	130M	○	14		SN2-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	○	14		
機能・性能試験		10C		○	14			
2V-SI-039 2号 ほう酸注入タンク循環ライン第2出口弁	駆動部点検	高	130M	○	14		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	○	14			
	機能・性能試験		10C	○	14			
2V-SI-140A 2A 蓄圧タンク充てん弁	駆動部点検	高	130M	—	18			
	分解点検		130M	—	18			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SI-140B 2 B 蓄圧タンク充てん弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
	2V-SI-140C 2 C 蓄圧タンク充てん弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
	2V-SI-170A 2 A 蓄圧タンク N2供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
	2V-SI-170B 2 B 蓄圧タンク N2供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9		
	2V-SI-170C 2 C 蓄圧タンク N2供給弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-SI-192A 2 A RHR 供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	2V-SI-192B 2 B RHR 供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 0		
	2V-SI-196A 2 A RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 5		
	2V-SI-196B 2 B RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 5		
	2V-SI-199A 2 A 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 5		
2V-SI-199B 2 B 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9			
2号 燃料取替用水タンク	開放点検	高	130M	—	2 2			
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備)	化学体積制御系	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-138 化学体積制御系機能検査	
	体積制御タンク	開放点検	高	130M	—	2 1		
	2号 1次系薬品タンク	外観点検	低	1C	○	2 3		
	非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	2 0		
	余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M	—	2 0		
	再生熱交換器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	封水冷却器	開放点検	高	130M	—	2 2		
	冷却材フィルタ	開放点検	高	26M	—	2 3		
	2 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	2 2		
	2 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	2 3		
	封水フィルタ	開放点検	高	26M	—	2 3		
	2 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	2 3		
	冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A ほう酸除去脱塩塔	外観点検	高	1C	○	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2 B ほう酸除去脱塩塔	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2V-CS-004A 2 A 抽出オリフィス隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		104M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CS-004B 2 B 抽出オリフィス隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		104M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CS-004C 2 C 抽出オリフィス隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
		分解点検		104M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CS-007 2号 抽出オリフィス出口隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CS-219 2号 充てんライン第2隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2V-CS-270A 2 A R C P 封水注入ライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CS-270B 2 B R C P 封水注入ライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CS-270C 2 C R C P 封水注入ライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CS-275A 2 A R C P 封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-275B 2 B R C P 封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-275C 2 C R C P 封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-276A 2 A R C P 封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-276B 2 B R C P 封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-276C 2 C R C P 封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	—	—	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検より追加
	2V-CS-308 2号 R C P 封水戻りライン第1隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	2V-CS-310 2号 R C P 封水戻りライン第2隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	1 4		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2-FCV-138 2号 充てん流量調節弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
2-FCV-140 2号 封水注入流量調節弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		13M	○	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
2-HCV-102 2号 低圧抽出流量制御弁		簡易点検 (グラッドベッキン取替)	高	65M	—	2 1		
		駆動部点検		130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2-HCV-108 2号 冷却材陽イオン脱塩塔流量制御弁		簡易点検 (グラッドベッキン取替)	高	65M	—	2 2		
		駆動部点検		130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2-HCV-190 2号 余剰抽出流量制御弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2-LCV-121A 2号 体積制御タンク入口3方弁		簡易点検 (グラッドベッキン取替)	高	65M	—	2 1		
		駆動部点検		130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2-LCV-121B 2号 体積制御タンク第1出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
2-LCV-121C 2号 体積制御タンク第2出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
2-LCV-121D 2号 CH/S 1ポンプB非常用補給弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 8		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2-LCV-121E 2号 CH/S1ポンプA非常用補給弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
2-LCV-451 2号 加圧器水位第1制御弁		駆動部点検	高	52M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
2-LCV-452 2号 加圧器水位第2制御弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
2-PCV-104 2号 抽出ライン圧力調節弁		駆動部点検	高	52M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		13M	○	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
2-TCV-104 2号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁		簡易点検（クランプボック取替）	高	65M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-043A 2 A 冷却材混床式脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-043B 2 B 冷却材混床式脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-048A 2 A 冷却材混床式脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-048B 2 B 冷却材混床式脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-052 2号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-CS-057 2号 冷却材陽イオン脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-CS-078 2号 ほう酸除去脱塩塔バイパス3方弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-CS-152A 2 A, 2 B C H / S I ポンプ入口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-CS-152B 2 B, 2 C C H / S I ポンプ入口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-CS-153A 2 A, 2 B C H / S I ポンプ入口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	○	1 4		
	2V-CS-153B 2 B, 2 C C H / S I ポンプ入口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	2V-CS-161A 2 A C H / S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	2V-CS-161B 2 B C H / S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
機能・性能試験		10C		—	2 0			
電動機分解点検		130M		—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-CS-161C 2C CH/S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	20	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
		電動機分解点検		130M	—	21		
	2V-CS-162 2号 CH/S I ポンプミニマムフロー元弁	駆動部点検	高	130M	—	20	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
		電動機分解点検		143M	—	20		
	2V-CS-165A 2A, 2B CH/S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	○	18	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	18		
		機能・性能試験		10C	○	18		
		電動機分解点検		130M	—	18		
	2V-CS-165B 2B, 2C CH/S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	—	22	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	22		
		機能・性能試験		10C	—	22		
		電動機分解点検		130M	—	16		
	2V-CS-166A 2A, 2B CH/S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	○	18	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	20		
		機能・性能試験		10C	○	20		
		電動機分解点検		130M	—	20		
	2V-CS-166B 2B, 2C CH/S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	—	22	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
		電動機分解点検		130M	—	16		
	2V-CS-213 2号 充てん流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M	—	21	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	21		
		機能・性能試験		10C	—	21		
	2V-CS-218 2号 充てんライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	21	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M		—	21			
機能・性能試験		10C		—	21			
電動機分解点検		130M		—	23			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-CS-225 2号 加圧器補助スプレイ弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	○	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 3		
		分解点検		65M	—	2 2		
		機能・性能試験		5C	—	2 2		
2V-CS-226 2号 加圧器補助スプレイ逆止弁		分解点検	高	130M	○	—	SN2-85 1次系弁検査	第19回定検で取替
2V-CS-227 2号 Cループ充てん弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	2 2		
		分解点検		65M	—	2 3		
		機能・性能試験		5C	—	2 3		
2V-CS-228 2号 Cループ充てん第1逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
2V-CS-229 2号 Cループ充てん第2逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
2V-CS-301 2号 余剰抽出第1隔離弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M	○	2 0		
		駆動部点検		52M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-302 2号 余剰抽出第2隔離弁		簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	○	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M	—	2 1		
		駆動部点検		52M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-305 2号 余剰抽出ライン3方弁		駆動部点検	高	130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	1 8		
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
2V-CS-352A 2 A ほう酸除去脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-352B 2 B ほう酸除去脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-CS-359A 2 A ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-359B 2 B ほう酸除去脱塩塔出口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-005 2号 抽出オリフィス出口逃がし弁		分解点検	高	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2V-CS-024 2号 抽出ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-121 2号 体積制御タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-170A 2 A C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-170B 2 B C H / S 1 ポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-283 2号 R C P ページ水ヘッドタンク逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2V-CS-306 2号 R C P 封水戻りライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2V-CS-321 2号 封水冷却器管側入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 0		
		漏えい試験		10C	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-127 2号 体積制御タンクガス供給逆止弁		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-87 1次系逆止弁検査	
2D-CS-121 2号 体積制御タンク安全弁前破壊板		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-89 1次系破壊板検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-CS-041 2号 冷却材混床式脱塩塔入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	2V-CS-090 2号 体積制御タンク入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 0		
	2V-CS-151 2号 体積制御タンク出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 1		
	2V-CS-160A 2 A C H / S 1 ボンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 3		
	2V-CS-160B 2 B C H / S 1 ボンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M	○	1 8		
	2V-CS-160C 2 C C H / S 1 ボンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	2V-CS-163A 2 A C H / S 1 ボンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 3		
	2V-CS-163B 2 B C H / S 1 ボンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	○	1 8		
	2V-CS-163C 2 C C H / S 1 ボンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	2V-CS-221 2号 充てんライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	1 9		
	2V-CS-232 2号 C ループ充てんラインバイパス逆止弁	分解点検	高	65M	—	2 3		
	2V-CS-251 2号 R C P 封水注入流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検			—	2 2		
	2V-CS-290A 2 A R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	○	2 1		
		簡易点検（グランドパッキン取替）			—	2 1		
		駆動部点検			—	2 1		
		分解点検			—	2 1		
	2V-CS-290B 2 B R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	○	2 1		
		簡易点検（グランドパッキン取替）			—	2 1		
		駆動部点検			—	2 1		
		分解点検			—	2 1		
	2V-CS-290C 2 C R C P N o . 1 シール出口弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	○	2 1		
		簡易点検（グランドパッキン取替）			—	2 1		
		駆動部点検			—	2 1		
		分解点検			—	2 1		
	2V-CS-300 2号 R C P N o . 1 シールバイパス弁	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検			—	2 2		
	2V-CS-774 2号 C H / S 1 ボンプ入口ペントライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検			—	2 0	SN2-85 1 次系弁検査	
		機能・性能試験			—	2 0		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
	2V-CS-775A 2号 CH/S1ポンプ入口ペントライン第2-A隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	20			
		分解点検		130M	—	20	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	20			
	2V-CS-775B 2号 CH/S1ポンプ入口ペントライン第2-B隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	20			
		分解点検		130M	—	20	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	20			
	2V-CS-775C 2号 CH/S1ポンプ入口ペントライン第2-C隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	20			
		分解点検		130M	—	20	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	20			
原子炉冷却系統施設 （原子炉補機冷却水設備）	原子炉補機冷却水系 弁10個	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-15 原子炉補機冷却系機能検査		
	2A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		(振動診断：切替毎)	
		分解点検		52M	○	22			
		機能・性能試験		4C	○	22	SN2-84 1次系ポンプ機能検査		
	2A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断：切替毎)	
		普通点検		39M	—	22			
		分解点検		78M	—	20			
	2B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		(振動診断：切替毎)	
		分解点検		52M	—	22			
		機能・性能試験		4C	—	22	SN2-84 1次系ポンプ機能検査		
	2B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断：切替毎)	
		普通点検		39M	—	22			
		分解点検		78M	—	20			
	2C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		(振動診断：切替毎)	
		分解点検		52M	—	23			
		機能・性能試験		4C	—	23	SN2-84 1次系ポンプ機能検査		
	2C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断：切替毎)	
		普通点検		39M	○	22			
		分解点検		78M	○	22			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2D 原子炉補機冷却水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		52M	—	2 3		
		機能・性能試験		4C	—	2 3		
2D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：切替毎)
		普通点検		39M	○	2 2		
		分解点検		78M	○	2 2		
2A 原子炉補機冷却水冷却器		簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	○	2 3	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	—	2 3		
		非破壊試験		65M	—	2 1		
2B 原子炉補機冷却水冷却器		簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	○	2 3	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	—	2 3		
		非破壊試験		65M	—	2 3		
2C 原子炉補機冷却水冷却器		簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	○	2 3	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	○	2 2		
		非破壊試験		65M	—	2 2		
2D 原子炉補機冷却水冷却器		簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	○	2 3	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M	○	2 2		
		非破壊試験		65M	—	2 1		
2号 原子炉補機冷却水サージタンク		開放点検	高	65M	—	2 2		
2CCT1-V-3 2号 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁		取替	低	130M	—	2 0	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
2V-CC-192A 2A 2B C/V再循環ユニット冷却水入口弁		駆動部点検	高	130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
2V-CC-192B 2C 2D C/V再循環ユニット冷却水入口弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-CC-199A 2 A C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-CC-199B 2 B C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-CC-199C 2 C C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	2V-CC-199D 2 D C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 1		
	2V-CC-482 2号 C R D M冷却水入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-CC-489A 2号 C R D M冷却水A出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 7		
	2V-CC-489B 2号 C R D M冷却水B出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 7		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-CC-503 2号 余剰抽出冷却器冷却水第2入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CC-509 2号 余剰抽出冷却器冷却水第1出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	2V-CC-521 2号 R C P冷却水第1入口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 7		
	2V-CC-523 2号 R C P冷却水第2入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 7		
	2V-CC-544 2号 R C P冷却水第1出口弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-CC-546 2号 R C P冷却水第2出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-CC-706 2号 冷却材ドレン冷却器冷却水隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2-PCV-1202 2号 補機冷却水サージタンクN2供給圧力制御弁	駆動部点検	低	130M	—	2 0			
	分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2-RCV-056 2号 補機冷却水サージタンクVENT弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1			
	分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2-TCV-103 2号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	駆動部点検	低	52M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 0			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-CC-042 2号 補機冷却水戻りCヘッド止弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 2		
	2V-CC-064 2号 補機冷却水供給Cヘッド止弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 2		
	2V-CC-171A 2号 SFP冷却器冷却水供給Aヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CC-171B 2号 SFP冷却器冷却水供給Bヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-CC-180A 2号 SFP冷却器冷却水戻りAヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CC-180B 2号 SFP冷却器冷却水戻りBヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-CC-228A 2 A 余熱除去冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-CC-228B 2 B 余熱除去冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-CC-248A 2 A スプレイ冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	—	1 9		
	2V-CC-248B 2 B スプレイ冷却器冷却水第2出口弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
2V-CC-006 2号 補機冷却水サージタンク安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1			
	漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-CC-164A 2 A 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
	漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-CC-164B 2 B 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
	漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-CC-164C 2 C 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
	漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-CC-164D 2 D 補機冷却水ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
	漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-CC-177A 2 A ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	1 9			
	2V-CC-177B 2 B ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	1 8			
	2V-CC-177C 2 C ビット冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	1 9			
	2V-CC-185A 2 B, C 主蒸気給水貫通孔冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	1 9			
	2V-CC-185B 2 A 主蒸気給水貫通孔冷却水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	1 8			
	2V-CC-196A 2 A C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 1			第2 2回定検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CC-196B 2 B C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 1			第2 2回定検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CC-196C 2 C C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CC-196D 2 D C/V再循環ユニット冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-CC-214A 2 A 制御用空気圧縮機冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9				
	漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	1 9				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-CC-214B 2 B 制御用空気圧縮機冷却水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1次系安全弁検査		
	2V-CC-226A 2 A 余熱除去冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	—	1 9	1次系安全弁検査		
	2V-CC-226B 2 B 余熱除去冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1次系安全弁検査		
	2V-CC-238A 2 A 余熱除去ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	—	1 9	1次系安全弁検査		
	2V-CC-238B 2 B 余熱除去ポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1次系安全弁検査		
	2V-CC-246A 2 A スプレイ冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	—	1 9	1次系安全弁検査		
	2V-CC-246B 2 B スプレイ冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1次系安全弁検査		
	2V-CC-258A 2 A スプレイポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9			
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	—	1 9	1次系安全弁検査		
	2V-CC-258B 2 B スプレイポンプモータ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8			
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86		
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1次系安全弁検査		
2V-CC-291A 2 A C H / S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9				
	漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86			
	機能・性能試験		10C	—	1 9	1次系安全弁検査			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-CC-291B 2 B C H / S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 2	1 次系安全弁検査	
2V-CC-291C 2 C C H / S 1 ポンプ封水冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	○	1 8		
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1 次系安全弁検査	
2V-CC-294A 2 A C H / S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁		取替	低	130M	—	1 9		
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	1 9	1 次系安全弁検査	
2V-CC-294B 2 B C H / S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁		取替	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 2	1 次系安全弁検査	
2V-CC-294C 2 C C H / S 1 ポンプモータ冷却水逃がし弁		取替	低	130M	○	1 8		
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	○	1 8	1 次系安全弁検査	
2V-CC-323 AM用窒素マニホールド出口ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	2 1		第 2 2 回定検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1 次系安全弁検査	
2V-CC-353A A ガスサンプル冷却管冷却水出口逃がし弁		取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1 次系安全弁検査	
2V-CC-353B B ガスサンプル冷却管冷却水出口逃がし弁		取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1 次系安全弁検査	
2V-CC-358A A 事故後サンプル冷却管冷却水出口逃がし弁		取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1 次系安全弁検査	
2V-CC-358B B 事故後サンプル冷却管冷却水出口逃がし弁		取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1 次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-CC-382 2 A 廃液蒸発装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-385 2 A 廃液蒸発装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-390 2 A 廃液蒸発装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-397 2 B 廃液蒸発装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-400 2 B 廃液蒸発装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-405 2 B 廃液蒸発装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-432 2号 ほう酸回収装置コンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-435 2号 ほう酸回収装置蒸留水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-440 2号 ほう酸回収装置ベントコンデンサ冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2			
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
2V-CC-487A 2号 CRDM冷却水A逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3				
	漏えい試験		10C	—	2 3	SN2-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	2 3				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-CC-487B 2号 CRDM冷却水B逃がし弁	取替	低	130M	—	2 3		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 3			
		機能・性能試験		10C	—	2 3			
	2V-CC-508 2号 余剰抽出冷却器冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 1		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 2回定検より点検項目変更
		漏えい試験		10C	—	2 1			
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CC-527 2号 RCP冷却水入口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 2		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2			
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-538A 2A RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	1 8			
		機能・性能試験		10C	○	1 8			
	2V-CC-538B 2B RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	1 8			
		機能・性能試験		10C	○	1 8			
	2V-CC-538C 2C RCP熱しゃへい冷却水逃がし弁	分解点検	低	130M	○	1 8		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	1 8			
		機能・性能試験		10C	○	1 8			
	2V-CC-586 2号 非再生冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2			
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-596 2号 封水冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2			
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-CC-602 2号 サンプル冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2			
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
2V-CC-612 2号 ブローダウンサンプル冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2		SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 2				
	機能・性能試験		10C	—	2 2				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-CC-624 2号 補助蒸気復水モータ冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 2	1次系安全弁検査	
	2V-CC-704 2号 冷却材ドレン冷却器冷却水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86	
		機能・性能試験		10C	—	2 1	1次系安全弁検査	
	2V-CC-051A 2 A C C Wポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 1		
2V-CC-051B 2 B C C Wポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 3			
2V-CC-051C 2 C C C Wポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 2			
2V-CC-051D 2 D C C Wポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	○	1 9			
原子炉冷却系統施設 （原子炉補機冷却海水設備）	2 A 海水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		26M	—	2 3	SN2-121	(振動診断；切替毎)
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-122	
	2 A 海水ポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 1		(振動診断；切替毎)
	2 B 海水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		26M	—	2 3	SN2-121	(振動診断；切替毎)
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-122	
	2 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 2		(振動診断；切替毎)
	2 C 海水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		26M	○	—	SN2-121	第2 2 回定検で取替 (振動診断；切替毎)
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-122	
	2 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 3		(振動診断；切替毎)
	2 D 海水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	高	13M	○	2 3		
		分解点検		26M	○	—	SN2-121	第2 2 回定検で取替 (振動診断；切替毎)
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-122	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2D 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	23		(振動診断：切替毎)
		分解点検		52M	○	21		
	2A-SWS 2A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	23		
	2E-SWS 2B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	23		
	2C-SWS 2C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	23		
	2D-SWS 2D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	23		
	2V-SW-570A 2A 原子炉補機冷却水冷却器海水第2出口弁	駆動部点検	高	156M	—	20	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		78M	—	22		
		機能・性能試験		6C	—	22		
		電動機分解点検		130M	—	20		
	2V-SW-570B 2B 原子炉補機冷却水冷却器海水第2出口弁	駆動部点検	高	156M	—	22	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		78M	—	22		
		機能・性能試験		6C	—	22		
		電動機分解点検		130M	—	20		
	2V-SW-570C 2C 原子炉補機冷却水冷却器海水第2出口弁	駆動部点検	高	156M	—	19	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		78M	—	21		
		機能・性能試験		6C	—	21		
		電動機分解点検		130M	—	23		
	2V-SW-570D 2D 原子炉補機冷却水冷却器海水第2出口弁	駆動部点検	高	156M	—	19	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		78M	—	21		
機能・性能試験		6C		—	21			
電動機分解点検		130M		—	23			
2V-SW-534A 2A D/G海水逃がし弁	取替	低	130M	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	20			
	機能・性能試験		10C	—	20			
2V-SW-534B 2B D/G海水逃がし弁	取替	低	130M	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	20			
	機能・性能試験		10C	—	20			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SW-553A 2 A 空調用冷凍機海水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-SW-553B 2 B 空調用冷凍機海水逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1		
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-SW-568A 2 A 補機冷却クーラ海水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8		
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
	2V-SW-568B 2 B 補機冷却クーラ海水逃がし弁	取替	低	130M	○	1 8		
		漏えい試験		10C	○	1 8	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		
	2V-SW-568C 2 C 補機冷却クーラ海水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9		
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-SW-568D 2 D 補機冷却クーラ海水逃がし弁	取替	低	130M	—	1 9		
		漏えい試験		10C	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-SW-502A 2 A 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	2 3		
	2V-SW-502B 2 B 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	2 3		
	2V-SW-502C 2 C 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M	○	2 0		
	2V-SW-502D 2 D 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M	○	2 0		
	2V-SW-602A 2 A、B海水ポンプ軸冷海水供給逆止弁	取替	高	26M	○	2 2		
	2V-SW-602B 2 C、D海水ポンプ軸冷海水供給逆止弁	取替	高	26M	○	2 2		
2V-SW-612A 2 A 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M	○	2 2			
2V-SW-612B 2 B 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M	○	2 2			
2V-SW-612C 2 C 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M	○	2 2			
2V-SW-612D 2 D 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M	○	2 2			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2号 A系海水供給母管(屋内)	開放点検	高	78M	—	20		
	2号 B系海水供給母管(屋内)	開放点検	高	78M	—	20		
	2号 A系海水供給母管(屋外)	開放点検	高	13M	○	23		
	2号 B系海水供給母管(屋外)	開放点検	高	13M	○	23		
	2号 A系CCWクーラ入口配管	開放点検	高	78M	○	20		
	2号 B系CCWクーラ入口配管	開放点検	高	78M	○	20		
	2号 C系CCWクーラ入口配管	開放点検	高	78M	○	20		
	2号 D系CCWクーラ入口配管	開放点検	高	78M	○	20		
	2号 A系海水管マンホール(クーラ入口側)	開放点検	高	13M	○	23		
	2号 B系海水管マンホール(クーラ入口側)	開放点検	高	13M	○	23		
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置)	格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	低	1C	○	23	SN2-79 格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
計測制御系統施設 (制御材)	停止グループ制御棒クラスタ 16体 制御グループ制御棒クラスタ 32体	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-30 制御棒駆動系機能検査 SN2-107 制御棒クラスタ動作検査	
	1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルボイズン 3. 2次中性子源 4. ブラギングデバイス } ※1式	外観点検	高	1C	○	23	SN2-108 制御棒クラスタ検査	※: 炉心設計による
計測制御系統施設 (制御棒駆動装置)	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	○	23	SN2-109 制御棒位置指示装置設定値検査	
	2A MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	23		
		普通点検(軸受点検)		26M	○	22		
		分解点検		52M	○	21		
	2B MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	23		
		普通点検(軸受点検)		26M	—	23		
		分解点検		52M	—	21		
	2A MGセット用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		
		分解点検		26M	○	22		
	2B MGセット用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		
分解点検		26M		—	23			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	2A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	2 2	SN2-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	2A ほう酸ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	2 3		
	2B ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1	SN2-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-56 ほう酸ポンプ機能検査	
	2B ほう酸ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1		
	2A ほう酸タンク	開放点検	高	130M	—	2 1		
	2A 1 ほう酸タンクヒータ	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	2 3		
	2A 2 ほう酸タンクヒータ	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	2 3		
	2B ほう酸タンク	開放点検	高	130M	—	2 1		
	2B 1 ほう酸タンクヒータ	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	2 3		
	2B 2 ほう酸タンクヒータ	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	2 3		
	2号 ほう酸補給タンク	開放点検	低	10Y	○	2 0 1 0年度		プラント運転中
	ほう酸フィルタ	開放点検	高	65M	—	2 1		
	2-FCV-220A 2号 ほう酸補給水流量制御弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1		SN2-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2-FCV-220B 2号 体積制御タンク出口補給水弁	駆動部点検	低	130M	—	2 2		SN2-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	2 2		
機能・性能試験		10C		—	2 2			
2-FCV-223A 2号 原子炉補給水流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2-FCV-223B 2号 体積制御タンク入口補給弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1		SN2-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2-HCV-216 2 A ほう酸タンク循環流量制御弁	駆動部点検	低	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2-HCV-217 2 B ほう酸タンク循環流量制御弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-CS-465A 2 A ほう酸タンク入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 2		
		機能・性能試験		10C	○	2 2		
	2V-CS-465B 2 B ほう酸タンク入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-CS-467A 2 A ほう酸タンク循環入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-CS-467B 2 B ほう酸タンク循環入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	2 1		
		機能・性能試験		10C	○	2 1		
	2V-CS-484A 2 A ほう酸タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-CS-484B 2 B ほう酸タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-506A 2 A ほう酸ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 2			
	機能・性能試験		10C	—	2 2			
2V-CS-506B 2 B ほう酸ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-CS-519 2号 急速ほう酸補給弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
2V-CS-488 2号 ほう酸補給タンク補助蒸気安全弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2V-CS-569A 2 A 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-CS-569B 2 B 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CS-569C 2 C 冷却材貯蔵タンク逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
2V-CS-496 2号 ほう酸補給タンク出口逆止弁 2号 1次系純水タンク		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-87 1次系逆止弁検査	
		開放点検	低	65M	—	2 3		
2 A 1次系補給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
2 A 1次系補給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	—	2 2		
2 B 1次系補給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
2 B 1次系補給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1		
2PMT-2V-1 2号 1次系純水タンクバキュームリリーフ弁		分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
2PMT-2V-3 2号 1次系純水タンクアトモス弁		分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
2V-PM-553 2号 1次系純水タンク補給水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2 0 1 7年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-PM-558 2号 1次系純水タンクバイパス補給水逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-DW-508 2号 A/B内2次系純水切替逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用バックアップ弁 1台 3. IASヘッダ連絡管ヘッダ隔離弁 2台 4. IAS格納容器隔離弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-32 制御用空気圧縮系機能検査	
	2A 制御用空気圧縮機	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	13M 26M	○ ○	23 22		(振動診断：切替毎)
	2A 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検		高	1C 39M	○ —	23 23	
	2B 制御用空気圧縮機	簡易点検（油入替他） 分解点検	高		13M 26M	○ —	23 23	
	2B 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検		高	1C 39M	○ —	23 22	
	2A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高		52M	—	22	
	2B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	23		
	2A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M	○	22		
	2B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M	—	23		
	2A 制御用空気だめ	開放点検	高	91M	—	20		
	2B 制御用空気だめ	開放点検	高	91M	—	20		
	2A1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M	—	23		
	2A2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M	—	22		
	2B1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M	—	23		
	2B2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M	—	22		
	2A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	13M 52M	○ —	23 22		
	2A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検		高	52M	—	23	
	2B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	13M 52M	○ —	23 23		
	2B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検		高	52M	—	22	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M	○	2 3		
	2 B 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M	○	2 3		
	2V-IA-508A 2 A I A S 格納容器隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-IA-508B 2 B I A S 格納容器隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	○	1 8	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-IA-212A 2 A インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-IA-212B 2 B インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-IA-217A 2 A ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-IA-217B 2 B ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-IA-221A 2 A 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-IA-221B 2 B 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2IAC-RV-1A 2 A 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	1 9	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	1 9		
		機能・性能試験		10C	—	1 9		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
2TAC-RV-1B 2 B 制御用空気除湿装置送風機出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-IA-501A 2号 IASヘッダ連絡管2Aヘッダ隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	○	1 8		
2V-IA-501B 2号 IASヘッダ連絡管2Bヘッダ隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
2V-IA-505A 2A IAS主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9		
		電動機分解点検		130M	○	1 8		
2V-IA-505B 2B IAS主蒸気逃がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
2V-IA-510A 2A IAS格納容器隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	○	1 8		
2V-IA-510B 2B IAS格納容器隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8		
		電動機分解点検		130M	○	1 8		
2V-IA-824 事故後サンプリングライン隔離弁用制御用空気供給ライン安全弁		取替	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第21回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2TAC-2CV-1A 2A 制御用空気除湿装置2A1吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	2 2		
2TAC-2CV-1B 2B 制御用空気除湿装置2B1吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	2 2		
2TAC-2CV-2A 2A 制御用空気除湿装置2A2吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	2 2		
2TAC-2CV-2B 2B 制御用空気除湿装置2B2吸着塔出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2TAC-PV-C1A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 1 吸着塔入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-PV-C1B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 1 吸着塔入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-PV-C2A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 2 吸着塔入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-PV-C2B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 2 吸着塔入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-2PV-1A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 1 吸着塔再生空気出口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-2PV-1B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 1 吸着塔再生空気出口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-2PV-2A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 2 吸着塔再生空気出口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-2PV-2B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 2 吸着塔再生空気出口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
		分解点検		39M	—	2 2		
	2TAC-2CCV-1A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2TAC-2CCV-1B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2TAC-2CCV-2A 2 A 制御用空気除湿装置 2 A 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2TAC-2CCV-2B 2 B 制御用空気除湿装置 2 B 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
2TAC-2NDV-1A 2 A 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2			
	分解点検		39M	—	2 2			
2TAC-2NDV-1B 2 B 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	駆動部点検	高	39M	—	2 2			
	分解点検		39M	—	2 2			
2V-NM-251 主蒸気逃がし弁用 2 次側安全弁	取替	低	130M	—	—	SN2-86 1 次系安全弁検査	第 2 1 回定検より追加	
	漏えい試験		10C	—	—			
	機能・性能試験		10C	—	—			
計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉トリップ遮断器盤	外観点検	高	1C	○	2 3		
	原子炉トリップ遮断器 (RTA)	普通点検	高	13M	○	2 3		
	原子炉トリップ遮断器 (RTB)	普通点検	高	13M	○	2 3		
	原子炉トリップバイパス遮断器 (BYA)	普通点検	高	13M	○	2 3		
	原子炉トリップバイパス遮断器 (BYB)	普通点検	高	13M	○	2 3		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1. 原子炉保護系ロジック回路 34回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 28回路	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-33 安全保護系機能検査	
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 62個 設定器(保護継電器含む) 172個 (2) 核計装装置 設定器 20個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 16個 現場指示計 9個 (2) 核計装装置 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	13M	○	23	SN2-34 安全保護系設定値確認検査	第24回定検で取替
	1. パーミッシブロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミッシブロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック関連)	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-111 安全保護系機能検査(パーミッシブロジック検査)	
	事故時監視計器 指示計 48個	特性試験	高	13M	○	23	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	第24回定検で取替
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気試料採取設備	機能・性能試験	低	1C	○	23		
	2V-SS-648A 自動遠隔試料採取装置2A入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M 130M	— —	23 23		
	2V-SS-648B 自動遠隔試料採取装置2B入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M 130M	— —	21 21		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中
	原子炉、タービンおよび発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子源領域計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	○	23	SN2-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計測装置 1式	機能・性能試験	低	1C	○	23	SN2-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護盤 (中央盤デマルチブプレクサ含む) 1式	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	原子炉保護系計器ラック 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	安全保護系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	原子炉制御系計器ラック 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	安全保護系シーケンスキャビネット 1式	機能・性能試験	高	1C	—	23		第24回定検で取替
	1次系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	換気系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	放射線監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	制御用空気圧縮機盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	制御用空気除湿装置盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	計装用電源装置(後備電源装置・自動切換器盤・分電盤含む) 1式	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	ディーゼル発電機盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	23		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	中央制御室逃避時換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	安全系A系ヒートトレース設備 1式	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	2F	○	2019年度		プラント運転中
	安全系B系ヒートトレース設備 1式	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	2F	○	2018年度		プラント運転中
	炉外核計装盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	6.6kV非常用母線電圧保護継電器 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	RCP母線計測盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	主盤 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	空調用冷凍機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	換気空調系集中現場盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M	○	23		
	運転指令設備(ベージング装置) (1,2号機共用)	外観点検	低	1C	○	23		
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPDS) (1,2号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	23		
計測制御系統施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	中央制御室外原子炉停止盤機器制御回路 33回路	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	屋外ITV監視装置(1,2号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	ガス圧縮機 2台	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-42 気体廃棄物処理系機能検査	
	2A ガス減衰タンク	開放点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	2B ガス減衰タンク	開放点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
	2C ガス減衰タンク	開放点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中
	2D ガス減衰タンク	開放点検	高	10Y	○	2011年度		プラント運転中
	2E ガス減衰タンク	外観点検	高	1C	○	23		
	2F ガス減衰タンク	外観点検	高	1C	○	23		
	2G ガス減衰タンク	外観点検	高	1C	○	23		
	2H ガス減衰タンク	外観点検	高	1C	○	23		
	2V-WG-031 2号 ガス減衰タンク窒素バージ逆止弁	分解点検	低	130M	—	21	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WG-333 2号 冷却材貯蔵タンク窒素供給圧力調整弁後逆止弁	分解点検	低	130M	—	21	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WG-018A 2A ガス減衰タンク放出弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2018年度		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-WG-018B 2 E ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2019年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2019年度		
2V-WG-018C 2 C ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	○	2010年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	○	2010年度		
2V-WG-018D 2 D ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2011年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2011年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2011年度		
2V-WG-018E 2 E ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2014年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2014年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2014年度		
2V-WG-018F 2 F ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2015年度		
2V-WG-018G 2 G ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
2V-WG-018H 2 H ガス減衰タンク放出弁		駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2017年度		
2V-WG-016A 2 A ガス減衰タンク安全弁		分解点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2018年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2018年度		
2V-WG-016B 2 B ガス減衰タンク安全弁		分解点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2019年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2019年度		
2V-WG-016C 2 C ガス減衰タンク安全弁		分解点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	○	2010年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	○	2010年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-WG-016D 2D ガス減衰タンク安全弁	分解点検	高	10Y	—	2011年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2011年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2011年度		
	2V-WG-016E 2E ガス減衰タンク安全弁	分解点検	高	10Y	—	2014年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2014年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2014年度		
	2V-WG-016F 2F ガス減衰タンク安全弁	分解点検	高	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2015年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2015年度		
	2V-WG-016G 2G ガス減衰タンク安全弁	分解点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
	2V-WG-016H 2H ガス減衰タンク安全弁	分解点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2017年度		
	2V-WG-166 2E~2Hガス減衰タンク窒素バージ逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2D-WG-016A 2A ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2018年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中
	2D-WG-016B 2B ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2019年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中
	2D-WG-016C 2C ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	○	2010年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中
	2D-WG-016D 2D ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2011年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中
2D-WG-016E 2E ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2014年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中	
2D-WG-016F 2F ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2015年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中	
2D-WG-016G 2G ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2016年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中	
2D-WG-016H 2H ガス減衰タンク安全弁前破壊板	分解点検	高	10Y	—	2017年度	SN2-89 1次系破壊板検査	プラント運転中	
2V-WG-022A 2A ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2018年度			
2V-WG-022B 2B ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2019年度			
2V-WG-022C 2C ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	○	2010年度			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-WG-022D 2 D ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2011年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2011年度		
	2V-WG-022E 2 E ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2014年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2014年度		
	2V-WG-022F 2 F ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
	2V-WG-022G 2 G ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度		
	2V-WG-022H 2 H ガス減衰タンクカバーガス出口弁	駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
	2-PCV-1144A 2 A ガス減衰タンク圧力制御弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
	2-PCV-1144B 2 A ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2018年度		
	2-PCV-1145A 2 B ガス減衰タンク圧力制御弁	駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2019年度		
	2-PCV-1145B 2 B ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2019年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2019年度		
	2-PCV-1146A 2 C ガス減衰タンク圧力制御弁	駆動部点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	○	2010年度		
2-PCV-1146B 2 C ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	○	2010年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	○	2010年度			
2-PCV-1147A 2 D ガス減衰タンク圧力制御弁	駆動部点検	高	10Y	—	2011年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2011年度			
2-PCV-1147B 2 D ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2011年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2011年度			
2-PCV-1173A 2 E ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y	—	2014年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2014年度			
2-PCV-1173B 2 E ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2014年度		プラント運転中	
	分解点検		10Y	—	2014年度			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2-PCV-1174A 2 F ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
	2-PCV-1174B 2 F ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2015年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
	2-PCV-1175A 2 G ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度		
	2-PCV-1175B 2 G ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2016年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度		
	2-PCV-1176A 2 H ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
	2-PCV-1176B 2 H ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y	—	2017年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
	2 A ガス圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 3		
	2 A ガス圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	2 3		
	2 B ガス圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 1		
	2 B ガス圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	2 0		
	2 A ガス圧縮装置封水循環ポンプ	分解点検	低	52M	—	2 1		
	2 B ガス圧縮装置封水循環ポンプ	分解点検	低	52M	—	2 2		
	2 A ガス圧縮装置気水分離器	開放点検	低	13M	○	2 3		
	2 B ガス圧縮装置気水分離器	開放点検	低	13M	○	2 3		
	2 A ガス圧縮装置封水冷却器	開放点検	低	78M	○	2 0		
	2 B ガス圧縮装置封水冷却器	開放点検	低	78M	—	2 0		
2V-GC-007A 2 A ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-GC-007B 2 B ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-WG-040 2号 ガス圧縮装置窒素バージ逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2 A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	○	2 1	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
	2 A 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
	2 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	2 2	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
	2 B 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
	2 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	78M	○	2 0	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		6C	○	2 0		
	2 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1		
	2 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	78M	—	2 0	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		6C	—	2 0		
	2 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2		
	2 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検	低	91M	—	2 0	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		7C	—	2 0		
	2 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1		
	2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検	低	91M	—	2 0	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		7C	—	2 0		
	2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2 A 格納容器冷却材ドレンポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	○	2 0		
		機能・性能試験		6C	○	2 0		
2 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1		
2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	2 0		
		機能・性能試験		6C	—	2 0		
2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2		
2 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	○	2 0		
		機能・性能試験		6C	○	2 0		
2 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1		
2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M	—	2 0		
		機能・性能試験		6C	—	2 0		
2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2		
2 A 燃料取扱建屋サンプポンプ		分解点検	低	10Y	○	2 0 1 1 年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	○	2 0 1 1 年度		
2 A 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2 0 1 9 年度		
		機能・性能試験		4F	—	2 0 1 9 年度		
2 B 燃料取扱建屋サンプポンプ		分解点検	低	10Y	—	2 0 1 4 年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 4 年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		
		分解点検		4Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		4F	○	2016年度		
A 廃棄物処理建屋サンプポンプ		分解点検	低	5Y	—	2018年度		定検停止中又はプラント運転中
		機能・性能試験		5F	—	2018年度		
A 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機		分解点検	低	10Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2019年度		
B 廃棄物処理建屋サンプポンプ		分解点検	低	5Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		機能・性能試験		5F	—	2019年度		
B 廃棄物処理建屋サンプポンプ用電動機		分解点検	低	10Y	○	17		定検停止中又はプラント運転中 2017年度より点検頻度変更
		機能・性能試験		10F	○	17		
2 A 廃液給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
2 A 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2017年度		
		機能・性能試験		4F	○	2017年度		
2 B 廃液給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2015年度		
		機能・性能試験		6F	○	2015年度		
2 B 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		4F	—	2019年度		
2 C 廃液給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
2 C 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2 A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度		
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
2 A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		4F	—	2018年度		
2 B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2014年度		
		機能・性能試験		10F	—	2014年度		
2 B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		4Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		4F	○	2016年度		
2 A 廃液蒸留水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		10Y	○	2010年度		
		機能・性能試験		10F	○	2010年度		
2 A 廃液蒸留水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		4F	—	2018年度		
2 B 廃液蒸留水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		10Y	—	2014年度		
		機能・性能試験		10F	—	2014年度		
2 B 廃液蒸留水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		4Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		4F	○	2016年度		
2 A 湧水サンパポンプ		分解点検	低	3Y	—	2019年度		プラント運転中
2 A 湧水サンパポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	○	2016年度		プラント運転中
2 B 湧水サンパポンプ		分解点検	低	3Y	○	2017年度		プラント運転中
2 B 湧水サンパポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
2 A 屋外タンクエアドレンサンパポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
2 A 屋外タンクエアドレンサンパポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2 B 屋外タンクエアアドレンサンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2014年度		プラント運転中
	2 B 屋外タンクエアアドレンサンプポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
	2号 補助建屋サンプタンク	開放点検	低	39M	—	22		
	2号 補助建屋冷却材ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	22		
	2号 補助建屋機器ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	22		
	2 A 廃液貯蔵タンク	開放点検	低	10Y	—	2012年度		プラント運転中
	2 B 廃液貯蔵タンク	開放点検	低	10Y	—	2013年度		プラント運転中
	2 A 廃液蒸留水タンク	開放点検	低	10Y	—	2017年度		プラント運転中
	2 B 廃液蒸留水タンク	開放点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	2号 加圧器逃がしタンク	開放点検	低	39M	—	23		
	2号 格納容器冷却材ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	22		
	2 A 廃液蒸留水モニタタンク	開放点検	低	5Y	○	2016年度		プラント運転中
	2 B 廃液蒸留水モニタタンク	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	2 A ドラム詰バッチタンク	開放点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	2 B ドラム詰バッチタンク	開放点検	低	10Y	○	2010年度		プラント運転中
	2号 燃料取扱建屋サンプタンク	開放点検	低	10Y	○	2010年度		プラント運転中
	廃棄物処理建屋サンプタンク	開放点検	低	2Y	○	2018年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 格納容器冷却材ドレン冷却器	開放点検	低	130M	—	23		
	2 A 廃液フィルタ	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	2 B 廃液フィルタ	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	2号 廃液蒸留水モニタフィルタ	開放点検	低	5Y	—	2017年度		プラント運転中
	2号 廃液蒸留水フィルタ	開放点検	低	5Y	○	2016年度		プラント運転中
	2号 補助建屋サンプフィルタ	開放点検	低	5Y	○	2016年度		プラント運転中
	2号 燃料取扱建屋サンプフィルタ	開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
	2 A 廃液蒸留水モニタ脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	2 B 廃液蒸留水モニタ脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	2 A 廃液蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	2 B 廃液蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C	○	23		
	2V-WL-018	駆動部点検	高	52M	—	23		
	2号 C/V冷却材ドレン冷却器出口第1隔離弁	分解点検		130M	—	21	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-WL-019 2号 C/V冷却材ドレン冷却器出口第2隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
2V-WL-055 2号 C V D T G Aライン第1隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8		
2V-WL-056 2号 C V D T G Aライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8		
2V-WL-060 2号 C V D T ベントライン第1隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-WL-061 2号 C V D T ベントライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-WL-070 2号 C V D T 窒素供給隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
2V-WL-354 2号 C/V サンプポンプ出口ライン第1隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	○	1 8		
2V-WL-355 2号 C/V サンプポンプ出口ライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 8	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	○	1 8		
2-FCV-1034 2号 廃棄物処理設備排水モニタ出口流量制御弁		駆動部点検	低	10Y	—	2 0 1 2年度	SN2-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2 0 1 2年度		
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 2年度		
2-RCV-0035 2号 廃棄物処理設備排水モニタ出口隔離弁		駆動部点検	低	10Y	—	2 0 1 2年度	SN2-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2 0 1 2年度		
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 2年度		
2V-WL-044 2号 C V D T 逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-WL-049 2号 C/V冷却材ドレンポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
2V-WL-086 2号 A B D T 逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-WL-220 2 A ドラム詰バッチタンク安全弁	分解点検	低	130M	—	20		
		漏えい試験		10C	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	20		
	2V-WL-564 2 B ドラム詰バッチタンク安全弁	分解点検	低	130M	—	20		
		漏えい試験		10C	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	20		
	2V-WL902A 2 A 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2016年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WL902B 2 B 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2015年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WL907A 2 A 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	—	2016年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WL907B 2 B 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	—	2015年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-WL-067 2号 CVD T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	21	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WL-084 2号 A B D T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	21	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-WL-212 2 A ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	○	23	SN2-87 1次系逆止弁検査	第24回定検で取替
	2V-WL-556 2 B ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	○	23	SN2-87 1次系逆止弁検査	第24回定検で取替
	2 A ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		
		分解点検		6Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		6F	—	2019年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	2 A ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		
		分解点検		4Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		4F	—	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
2 B ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度			
	分解点検		6Y	—	2018年度		プラント運転中	
	機能・性能試験		6F	—	2018年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査		
2 B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	23			
	分解点検		4Y	—	2019年度		プラント運転中	
	機能・性能試験		4F	—	2019年度	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査		
2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	23			
	分解点検		78M	—	20			
2号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	22			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2A ほう酸濃縮液ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	○	2011年度		
2A ほう酸濃縮液ポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
2B ほう酸濃縮液ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
2B ほう酸濃縮液ポンプ用電動機		分解点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
2A モニタタンクポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2015年度		
		機能・性能試験		6F	○	2015年度		
2A モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		4F	—	2019年度		
2B モニタタンクポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2018年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
2B モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
2A 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M	—	20		
2B 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M	—	20		
2C 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M	—	20		
2号 ほう酸濃縮液タンク		開放点検	低	10Y	○	2010年度		プラント運転中
2A モニタタンク		開放点検	低	5Y	—	2019年度		プラント運転中
2B モニタタンク		開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
2号 ほう酸濃縮液フィルタ		開放点検	低	5Y	○	2015年度		プラント運転中
2号 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ		開放点検	低	5Y	○	2016年度		プラント運転中
2号 ほう酸蒸留水フィルタ		開放点検	低	5Y	○	2016年度		プラント運転中
2A ほう酸回収装置混床式脱塩塔		外観点検	低	1C	○	23		
2B ほう酸回収装置混床式脱塩塔		外観点検	低	1C	○	23		
2号 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔		外観点検	低	1C	○	23		
2A ほう酸蒸留水脱塩塔		外観点検	低	1C	○	23		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2 B ほう酸蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C	○	2 3		
	2V-CST302A 2 A モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2 0 1 4 年度	SN2-88 1 次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST302B 2 B モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	—	2 0 1 5 年度	SN2-88 1 次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST307A 2 A モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	—	2 0 1 4 年度	SN2-88 1 次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	2V-CST307B 2 B モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	—	2 0 1 5 年度	SN2-88 1 次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	ほう酸回収装置 1 基	機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-65 液体廃棄物処理系機能検査	
	2 号 ほう酸回収装置 1 式	分解・開放点検	低	3Y~10Y	—	2 0 1 9 年度		プラント運転中
	2V-BE-035 2 号 ほう酸回収装置ほう酸蒸発器コンデンサ安全弁	分解点検	低	10Y	—	2 0 1 2 年度		プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2 0 1 2 年度	SN2-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 2 年度		
	2V-BE-028 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 0 1 2 年度	SN2-87 1 次系逆止弁検査	第 2 3 回定検より点検頻度変更
	2V-BE-037 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 0 1 2 年度	SN2-87 1 次系逆止弁検査	第 2 3 回定検より点検頻度変更
	廃液蒸発装置 2 基	機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-65 液体廃棄物処理系機能検査	プラント運転中又は定検停止中
	2 A 廃液蒸発装置 1 式	分解・開放点検	低	39M~130M	○	2 3		今回、65Mで実施
	2 B 廃液蒸発装置 1 式	分解・開放点検	低	39M~130M	○	2 2		今回、65Mで実施
	2 号 廃液蒸発装置中和剤注入装置 1 式	分解・開放点検	低	10Y	—	2 0 1 8 年度		プラント運転中
	2 号 廃液蒸発装置消泡剤注入装置 1 式	分解・開放点検	低	10Y	—	2 0 1 8 年度		プラント運転中
	2V-WE-135 2 A 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1		SN2-86 1 次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-WE-174 か性ソーダ注入ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y	—	2 0 1 1 年度		SN2-86 1 次系安全弁検査
		漏えい試験		10F	—	2 0 1 1 年度		
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 1 年度		
	2V-WE-233 2 B 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁	分解点検	低	130M	—	2 0		SN2-86 1 次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-WE-274 消泡剤注入ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y	—	2 0 1 1 年度		SN2-86 1 次系安全弁検査
		漏えい試験		10F	—	2 0 1 1 年度		
		機能・性能試験		10F	—	2 0 1 1 年度		
	2V-WE-127 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 0 1 1 年度	SN2-87 1 次系逆止弁検査	第 2 3 回定検より点検頻度変更 第 2 4 回定検で取替
	2V-WE-137 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	2 3	SN2-87 1 次系逆止弁検査	第 2 4 回定検で取替

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2V-WE-175 か性ソーダ注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2019年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-WE-222 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁	分解点検	低	130M	—	2018年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第23回定検より点検頻度変更 第24回定検で取替
	2V-WE-235 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	23	SN2-87 1次系逆止弁検査	第24回定検で取替
	2V-WE-275 消泡剤注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	低	10Y	○	2010年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2 A 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 B 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 C 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 D 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 E 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 F 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 G 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 H 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2 J 使用済樹脂貯蔵タンク	外観点検	低	1C	○	23		
	2V-WS-074A 2 A S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074B 2 B S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074C 2 C S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074D 2 D S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074E 2 E S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
	2V-WS-074F 2 F S R S T安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	低	10Y 10F 10F	— — —	2017年度 2017年度 2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
	2V-WS-074G 2G S R S T安全弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中	
		漏えい試験		10F	—	2018年度	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10F	—	2018年度			
	2V-WS-074H 2H S R S T安全弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中	
		漏えい試験		10F	—	2018年度	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10F	—	2018年度			
	2V-WS-074J 2J S R S T安全弁	分解点検	低	10Y	—	2018年度		プラント運転中	
		漏えい試験		10F	—	2018年度	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10F	—	2018年度			
	2V-WS-054 2号 S R S T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	—	2013年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第23回定検より点検頻度変更	
	雄固体焼却設備 1基	機能・性能試験	低	1F	○	2019年度	SN2-67 固体廃棄物処理系統焼却炉機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
	雄固体焼却設備 1式	分解・開放点検	低	1Y~10Y	○	2018年度		定検停止中又はプラント運転中 今回、1Y、3Y、4Y、5Y、6Y、10Yで実施	
	ZNP-006 雄固体焼却炉設備冷水膨張タンク真空破壊弁	取替	低	10Y	—	2018年度	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	定検停止中又はプラント運転中	
	ZCA-007 予熱器出口逃がし弁	分解点検	低	10Y	—	—		SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中 2017年度取替 2017年度より点検頻度変更
		漏えい試験		10F	—	2017年度			
		機能・性能試験		10F	—	2017年度			
	ZIE-008 焼却炉逃がし弁	分解点検	低	10Y	—	—		SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中 2017年度取替 2017年度より点検頻度変更
		漏えい試験		10F	—	2017年度			
		機能・性能試験		10F	—	2017年度			
	ZPG-002 プロパンボンベ安全弁	取替	低	10Y	—	2017年度		SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2017年度			
		機能・性能試験		10F	—	2017年度			
	ZNP-010 窒素供給ライン安全弁	取替	低	10Y	○	15		SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中 2017年度より点検頻度変更
		漏えい試験		10F	○	15			
機能・性能試験		10F		○	15				
ZNP-005 冷水膨張タンク安全弁	分解点検	低	10Y	—	16		SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中 2017年度より点検頻度変更	
	漏えい試験		10F	—	16				
	機能・性能試験		10F	—	16				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	アスファルト固化装置 1基	機能・性能試験	低	1F	○	2019年度	SN2-115 液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中
	アスファルト固化装置 1式	分解・開放点検	低	1Y~10Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 今回、1Y、2Y、4Y、5Y、6Y、10Yで実施
V-DM-303 熱媒供給ポンプ逃がし弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2017年度		
		機能・性能試験		10F	—	2017年度		
V-DM-370A A軸封油ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	—	2016年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度		
		機能・性能試験		10F	—	2016年度		
V-DM-370B B軸封油ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	—	2012年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2012年度		
		機能・性能試験		10F	—	2012年度		
V-DM-482 熱媒ドレンタンク安全弁		取替	低	10Y	—	2018年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2018年度		
		機能・性能試験		10F	—	2018年度		
V-DM-491A A廃液受入れタンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2011年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2011年度		
		機能・性能試験		10F	—	2011年度		
V-DM-491B B廃液受入れタンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2017年度		
		機能・性能試験		10F	—	2017年度		
V-DM-491C C廃液受入れタンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2019年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2019年度		
		機能・性能試験		10F	—	2019年度		
V-DM-206A Aアスファルト移送ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	—	2012年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2012年度		
		機能・性能試験		10F	—	2012年度		
V-DM-206B Bアスファルト移送ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	—	2013年度	SN2-86 1次系安全弁検査	定検停止中又はプラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2013年度		
		機能・性能試験		10F	—	2013年度		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
	V-DM-217A Aアスファルト供給ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
		漏えい試験		10F	—	2019年度	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10F	—	2019年度			
	V-DM-217B Bアスファルト供給ポンプ逃がし弁	取替	低	10Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
		漏えい試験		10F	—	2019年度	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10F	—	2019年度			
		ベイヤ装置 1式	分解点検他	低	1Y~10Y	○	2019年度		プラント運転中 今回、1Y、2Y、5Yで実施
	放射性廃棄物の廃棄施設 (原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性 廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装 置)	補助建屋サンブタンク水位計	機能・性能試験	低	1C	○	23	SN2-69 流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装 置機能検査	
		廃液貯蔵タンク室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	○	23		
冷却材貯蔵タンク室漏えい検出装置		機能・性能試験	低	1C	○	23			
使用済樹脂貯蔵タンク室漏えい検出装置		機能・性能試験	低	1C	○	23			
燃料取扱建屋サンブタンク水位計		機能・性能試験	低	1C	○	23			
アスファルト固化装置廃液供給タンク室漏洩検出装置		機能・性能試験	低	1C	○	23			
アスファルト固化装置廃液受入タンク室漏洩検出装置		機能・性能試験	低	1C	○	23			
廃棄物処理建屋サンブタンク水位計		機能・性能試験	低	1C	○	23			
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	格納容器内高レンジエリアモニタ 4台	特性試験	高	13M	○	23	SN2-209 エリアモニタ機能検査		
	1. エリアモニタ 13台 2. プロセスモニタ 25台	特性試験 機能・性能試験	低	13M 1C	○ ○	23 23	SN2-77 放射線監視装置機能検査		
放射線管理施設 (換気設備)	2V-HC-303A 2A C/V水素バージ用空気入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M	—	23			
		機能・性能試験		10C	—	23			
	2V-HC-303B 2B C/V水素バージ用空気入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M	—	23			
		機能・性能試験		10C	—	23			
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-78 1次系換気空調設備検査		
	2A 格納容器給気ファン	分解点検	低	8Y	—	2015年度		プラント運転中	
	2A 格納容器給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中	
		分解点検		4Y	—	2019年度			
2B 格納容器給気ファン	分解点検	低	8Y	—	2019年度		プラント運転中		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 B 格納容器給気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	○	2017年度		
2 A 格納容器排気ファン		分解点検	低	6Y	○	2015年度		プラント運転中
2 A 格納容器排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	—	2019年度		
2 B 格納容器排気ファン		分解点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
2 B 格納容器排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	○	2016年度		
2 A 格納容器給気ユニット		開放点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
2 B 格納容器給気ユニット		開放点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
2 A 格納容器排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		5C	—	2 1		
2 B 格納容器排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	○	2017年度		プラント運転中
		機能・性能試験		5C	—	2 1		
2V-VS-053 2号 格納容器給気外側隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-VS-054 2号 格納容器給気内側隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-VS-061 2号 格納容器排気内側隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-VS-062 2号 格納容器排気外側隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
2V-VS-071 2号 格納容器内作業用排気内側隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 9		
		分解点検		130M	○	1 9		
2V-VS-072 2号 格納容器内作業用排気外側隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	1 9		
		分解点検		130M	○	1 9		
2D-VS-063A 2 A 格納容器排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	2 3		
2D-VS-063B 2 B 格納容器排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	2 1		
格納容器再循環装置		機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
格納容器空気浄化装置		機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
2 A 格納容器空気浄化ファン		分解点検	低	78M	—	2 1		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 A 格納容器空気浄化ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		78M	—	2 0		
2 B 格納容器空気浄化ファン		分解点検	低	78M	—	2 1		
2 B 格納容器空気浄化ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		78M	—	2 1		
2 A 格納容器空気浄化フィルタユニット		開放点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
2 B 格納容器空気浄化フィルタユニット		開放点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	○	2 2		
原子炉キャビティ換気装置		機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
2号 キャビティ給気ファン		分解点検	低	52M	—	2 1		
2号 キャビティ給気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 1		
2号 キャビティ排気ファン		分解点検	低	52M	—	2 1		
2号 キャビティ排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 2		
事故後サンプリングエリア空調系		機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
A 事故後サンプリングエリア給気ファン		分解点検	低	8Y	○	2 0 1 2年度		プラント運転中
A 事故後サンプリングエリア給気ファン用電動機		簡易点検	低	1F	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2 0 1 8年度		
B 事故後サンプリングエリア給気ファン		分解点検	低	8Y	—	2 0 1 4年度		プラント運転中
B 事故後サンプリングエリア給気ファン用電動機		簡易点検	低	1F	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2 0 1 8年度		
A 事故後サンプリングエリア排気ファン		分解点検	低	8Y	○	2 0 1 2年度		プラント運転中
A 事故後サンプリングエリア排気ファン用電動機		簡易点検	低	1F	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 1 8年度		
B 事故後サンプリングエリア排気ファン		分解点検	低	8Y	—	2 0 1 5年度		プラント運転中
B 事故後サンプリングエリア排気ファン用電動機		簡易点検	低	1F	○	2 0 1 9年度		プラント運転中
		分解点検		2Y	○	2 0 1 9年度		
事故後サンプリングエリアよう素除去フィルタユニット		開放点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	事故後サンプリングエリア給気ユニット	開放点検	低	1Y	○	2019年度		プラント運転中
	事故後サンプリングエリア排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
	2D-VS-365 2号 格納容器排気筒放出第1ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	23		
	2D-VS-366 2号 格納容器排気筒放出第2ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	23		
	2V-VS-104A 2A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニットバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	21		
		分解点検		52M	—	22		
	2V-VS-104B 2B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニットバイパス弁	駆動部点検	高	130M	—	22		
		分解点検		52M	—	23		
	2V-DP-005A 2A C/V圧力逃がし装置ドレンライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	23		
		機能・性能試験		10C	—	23		
	2V-DP-005B 2B C/V圧力逃がし装置ドレンライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	23		
		機能・性能試験		10C	—	23		
	補助建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	23	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2A 補助建屋給気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	—	2019年度		
	2A 補助建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2018年度		
	2B 補助建屋給気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	○	2015年度		
	2B 補助建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2019年度		
	2A 補助建屋排気ファン	簡易点検（油入替他）	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	—	2019年度		
	2A 補助建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2018年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 B 補助建屋排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	○	2015年度		
2 B 補助建屋排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	—	2019年度		
2 C 補助建屋排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2019年度		プラント運転中
		分解点検		5Y	—	2019年度		
2 C 補助建屋排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C	○	23		プラント運転中
		分解点検		4Y	○	2016年度		
2 A 補助建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		5C	—	21		
2 B 補助建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		5C	—	21		
2 A 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y	○	2019年度		プラント運転中
2 B 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y	○	2019年度		プラント運転中
安全補機室空調装置		機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
2 A 安全補機室給気ファン		分解点検	高	39M	—	22		
2 A 安全補機室給気ファン用電動機		簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	22		
2 B 安全補機室給気ファン		分解点検	高	39M	—	23		
2 B 安全補機室給気ファン用電動機		簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	23		
2号 安全補機室給気ユニット		開放点検	高	26M	—	23		
2 A 安全補機室排気フィルタヒータ		一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	23		
2 B 安全補機室排気フィルタヒータ		一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	23		
2D-VS-203 2 A 安全補機室補助建屋側排気ダンパ		駆動部点検	高	78M	—	20		
2D-VS-204 2 B 安全補機室補助建屋側排気ダンパ		駆動部点検	高	78M	—	21		
2D-VS-301A 2 A 安全補機室給気ユニット入口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	22		
2D-VS-301B 2 B 安全補機室給気ユニット入口ダンパ		駆動部点検	高	52M	—	21		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2D-VS-304A 2 A 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-304B 2 B 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-305A 2 A 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-305B 2 B 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-306A 2 A 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-306B 2 B 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2F-VS-T408F 2号 安全補機室給気ユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T414F 2 A 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T423F 2 A 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T426F 2 B 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T435F 2 B 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U1088F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1091F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1092F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1094F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1100F 2 B 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1106F 2 A 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1116F 2 B 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-U1123F 2 A 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2 A 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 A 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 B 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M	—	2 2		
	2 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 2		
	2 A 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M	—	2 3		
	2 B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-532A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-532B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-533A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-533B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2D-VS-534A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-534B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-535A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-535B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P106F 2号 原子炉コントロールセンター室（C）出口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P111F 2号 原子炉コントロールセンター室（C）入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P151F 2 B 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P195F 2 B 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P237F 2 A 安全補機開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P281F 2 A 安全補機開閉器室入口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P8F 2 B インバータ室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P40F 2号 C R D M開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P57F 2 A インバータ室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P69F 2号 C R D M開閉器室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P76R-1 2 A インバータ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	中央制御室	漏えい試験	高	6F	—	2 1（2号）	SN2-214 中央制御室の居住性確認検査	
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2 A 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M	○ —	2 2 2 2		(振動診断：切替毎)
	2 A 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M	○ —	2 3 2 2		(振動診断：切替毎)
	2 B 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M	— —	2 3 2 3		(振動診断：切替毎)
	2 B 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M	○ —	2 3 2 3		(振動診断：切替毎)
	2 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	2 2		
	2 A 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M	○ —	2 3 2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	2 3		
	2 B 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		
		分解点検		52M	—	2 3		
	2 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M	—	2 3		
	2 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-601A 2 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-601B 2 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-602A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-602B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-607A 2 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-607B 2 B 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-608A 2 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-608B 2 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-609A 2 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-609B 2 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-610A 2 A 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-610B 2 B 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2F-VS-M72F 2号 1次系継電器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M75F 2号 1次系継電器室入口給気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M97F 2号 1次系継電器室入口給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M134F 2号 中央制御室給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M503F 2号 運転工具倉庫入口給気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M511F 2号 運転工具倉庫入口給気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U270F 2号 1次系継電器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U278F 2号 中央制御室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U281F 2号 中央制御室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U284F 2号 中央制御室出口排気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-U806F 2号 運転工具倉庫入口給気第3防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	2 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M	—	2 0		
	2 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M	—	2 0		
	2 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M	—	2 1		
	2 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M	—	2 1		
	2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	2D-VS-603A 2 A 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-603B 2 B 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-604A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-604B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-605A 2 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
	2D-VS-605B 2 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
	2D-VS-606A 2 A 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
	2D-VS-606B 2 B 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 3		
	2D-VS-611A 2 A 中央制御室通常時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-611B 2 B 中央制御室通常時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-612A 2 A 中央制御室事故時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-612B 2 B 中央制御室事故時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2F-VS-N71F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-N76F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-N77F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-N99F 2 B 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2F-VS-N113F 2 A 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	2 3		
	2 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 1		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	2 3		
	2 B ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 3		
	2 C ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 C ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 D ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	2 3		
	2 D ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	2 3		
	2D-VS-401A 2 A ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-401B 2 B ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-401C 2 C ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-401D 2 D ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M	—	2 2		
	2D-VS-402A 2 A ディーゼル発電機室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	2 2		
	2D-VS-402B 2 B ディーゼル発電機室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	2 2		
	使用済燃料ピット換気装置	機能・性能試験	低	1C	○	2 3	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2号 使用済燃料ピット給気ファン	分解点検	低	6Y	○	2 0 1 5年度		プラント運転中
	2号 使用済燃料ピット給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		3Y	○	2 0 1 8年度		プラント運転中
	2 A 使用済燃料ピット排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2 0 1 9年度		プラント運転中
	2 A 使用済燃料ピット排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	○	2 0 1 7年度		プラント運転中
	2 B 使用済燃料ピット排気ファン	分解点検	低	6Y	○	2 0 1 4年度		プラント運転中
	2 B 使用済燃料ピット排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	—	2 0 1 8年度		プラント運転中
	2号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	開放点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
				5C	—	2 1		
	ペイラ排気系	機能・性能試験	低	4F	—	2 0 1 9年度	SN2-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	2号 ペイラ排気ファン	分解点検	低	8Y	—	2 0 1 5年度		プラント運転中
	2号 ペイラ排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		4Y	○	2 0 1 6年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2号 ベイラ排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
	2C 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M	—	23		
	2C 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	23		
	2D 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M	—	21		
	2D 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	21		
	2C 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M	—	23		
	2C 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	23		
	2D 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M	—	21		
	2D 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	21		
	2D-VS-411C 2C 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	23		
	2D-VS-411D 2D 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	21		
	2D-VS-412C 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	23		
	2D-VS-412D 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	21		
	2F-VS-Z142F 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-Z149F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-Z151F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-Z161F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第3防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2A 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	21		
	2A 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	21		
	2B 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	22		
	2B 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	22		
	2A 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M	—	21		
	2A 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	21		
	2B 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M	—	22		
	2B 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	22		
	2D-VS-431A 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	21		
	2D-VS-431B 2B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	22		
	2D-VS-432A 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	21		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2D-VS-432B 2 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-433A 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-433B 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2D-VS-434A 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1		
	2D-VS-434B 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2		
	2F-VS-1A176F 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A199F 2 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A153F 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	廃棄物処理建屋換気空調系	機能・性能試験	低	1F	○	2019年度	SN2-78 1次系換気空調設備検査	定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	4Y	—	2018年度		定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 2018年度取替
		分解点検		4Y	—	—		
	B 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	B 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 2019年度取替
		分解点検		4Y	—	—		
	A 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2018年度		定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 2018年度取替
		分解点検		4Y	—	—		
	B 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	○	2016年度		定検停止中又はプラント運転中
	B 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 2017年度取替
		分解点検		4Y	○	—		
	C 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	C 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 2019年度取替
		分解点検		4Y	—	—		
	A オフガス排気ファン	簡易点検（油入替他）	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y	○	2017年度		
	A オフガス排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y	○	2017年度		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
B オフガス排気ファン		簡易点検（油入替他）	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y	○	2018年度		定検停止中又はプラント運転中
B オフガス排気ファン用電動機		簡易点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y	○	2018年度		
A 廃棄物処理建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
B 廃棄物処理建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
A 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	○	2016年度		定検停止中又はプラント運転中
B 廃棄物処理建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y	○	2016年度		定検停止中又はプラント運転中
A オフガスフィルタ		開放点検	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
B オフガスフィルタ		開放点検	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
2 A 空調用冷凍機		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		第21回定検で取替 第22回定検で点検頻度変更
		分解点検		65M	○	—		
		非破壊試験		39M	○	—		
2 A 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	65M	○	—		第21回定検で取替 第22回定検で点検頻度変更
2 B 空調用冷凍機		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		
		分解点検		65M	—	22		
		非破壊試験		39M	○	21		
2 B 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	65M	—	22		
2 A 空調用冷水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	○	21		
2 A 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	—	23		(振動診断；切替毎)
2 B 空調用冷水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	23		(振動診断；切替毎)
		分解点検		39M	—	22		
2 B 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	52M	—	21		(振動診断；切替毎)
2 A 空調用冷水膨張タンク		外観点検	高	1C	○	23		
2 B 空調用冷水膨張タンク		外観点検	高	1C	○	23		
2CHT1-V-4A		取替	低	130M	—	21	SA2-88	
2 A 空調用冷水膨張タンクバキュームリリーフ弁		取替	低	130M	—	21	1次系真空破壊弁検査	
2CHT1-V-4B		取替	低	130M	—	21	SA2-88	
2 B 空調用冷水膨張タンクバキュームリリーフ弁		取替	低	130M	—	21	1次系真空破壊弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-CH-353 2号 DRP1 盤冷水系入口C/V隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9			
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	1 9			
	2V-CH-360 2号 DRP1 盤冷水系出口C/V隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	1 9			
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	1 9			
	2V-CH-253A 2 A 空調用冷水膨張タンク逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 1			
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CH-253B 2 B 空調用冷水膨張タンク逃がし弁	分解点検	低	130M	—	2 1			
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-CH-358 2号 制御棒位置指示表示盤冷却ユニット逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1			
		漏えい試験		10C	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2-TCV-2780 2 A SWGR室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1			
	2-TCV-2790 2 B SWGR室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0			
分解点検		130M		—	2 0				
2-TCV-2847 2 A 中央制御室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0				
	分解点検		130M	—	2 0				
2-TCV-2857 2 B 中央制御室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0				
	分解点検		130M	—	2 0				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	T信号により隔離される弁 7 3個 P信号により隔離される弁 7 9個	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		漏えい試験	高	3C	○	2 3	SN2-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査		
	外観点検 (フェルトを含む)	1C		○	2 3				
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	2 3	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	2 3			
		分解点検 (タイミングギア及び駆動部)		65M	—	2 2			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	2 3	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3 Cで2回実施
		開放点検		13M	○	2 3		
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	2 2		
	アニュラスシール	外観点検	高	1C	○	2 3		
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	○	2 3	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3 Cで2回実施
		開放点検		13M	○	2 3		
	配管貫通部 30個, 電線貫通部 53個	漏えい試験	高	1C	○	2 3	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3 Cで2回実施
	燃料移送管	漏えい試験	高	1C	○	2 3	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3 Cで2回実施
		開放点検		13M	○	2 3		
	原子炉格納容器隔離弁 79個	漏えい試験	高	1C	—	2 2	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3 Cで2回実施
	2V-PP-005 2号 C/V貫通部加圧試験装置第1安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査	
漏えい試験		10C		—	2 1			
機能・性能試験		10C		—	2 1			
2V-PP-009 2号 C/V貫通部加圧試験装置第2安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-PP-037 2号 C/V貫通部加圧試験装置電線PEN加圧ライン安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 1			
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系及び代替原子炉格納容器スプレイ系格納容器スプレイポンプ: 2台 常設電動注入ポンプモード切替弁 8個	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-48 原子炉格納容器安全系機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 格納容器スプレイポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	分解点検	130M		—	1 9			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	2 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検		52M	—	2 3		
		分解点検		91M	—	2 3		
	2 B 格納容器スプレイポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	2 3	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		130M	—	2 0		
	2 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検		52M	—	2 1		
		分解点検		91M	—	1 8		
	2 A 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M	○	1 8		
	2 B 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M	—	1 9		
	2号 よう素除去薬品タンク	開放点検	高	130M	—	2 0		
	2CPT1-V-4A よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2CPT1-V-4B よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	—	2 0	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2V-CP-001A 2 A スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
分解点検		130M		—	1 6			
電動機簡易点検		2C		○	2 2			
電動機分解点検		130M		—	1 6			
2V-CP-001B 2 B スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M	—	1 6			
	分解点検		130M	—	1 6			
	電動機簡易点検		2C	○	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	1 6			
2V-CP-003A 2 A C S S C/V再循環弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 3			
	分解点検		130M	—	2 3			
	電動機簡易点検		2C	—	2 3			
	電動機分解点検		130M	—	2 3			
2V-CP-003B 2 B C S S C/V再循環弁(外隔離弁)	駆動部点検	高	130M	—	2 2			
	分解点検		130M	—	2 2			
	電動機簡易点検		2C	○	2 2			
	電動機分解点検		130M	—	2 2			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-CP-024A 2 A スプレイクーラ出口弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	1 5		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
2V-CP-024B 2 B スプレイクーラ出口弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
2V-CP-054A 2 A よう素除去薬注弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
2V-CP-054B 2 B よう素除去薬注弁		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
2V-CP-068 2号 よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	2 0		
		漏えい試験		10C	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CP-072 AM用C S Sスプレイライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	2 0		
		漏えい試験		10C	—	2 0	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
2V-CP-060A 2 A よう素除去薬注逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 3	SN2-87 1次系逆止弁検査	
2V-CP-060B 2 B よう素除去薬注逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 0	SN2-87 1次系逆止弁検査	
2V-CP-002A 2 A スプレイラインR W S T出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 9		
2V-CP-002B 2 B スプレイラインR W S T出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 0		
2V-CP-014A 2 A スプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	1 9		
2V-CP-014B 2 B スプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 0		
2V-CP-026A 2 A スプレイライン逆止弁（内隔離弁）		分解点検	高	130M	—	2 3		
2V-CP-026B 2 B スプレイライン逆止弁（内隔離弁）		分解点検	高	130M	○	—		第19回定検より追加
2V-CP-029A 2 A C S S - C / V再循環ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	1 9		
2V-CP-029B 2 B C S S - C / V再循環ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	2 0		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-CP-070 AM用消火水注入ラインスプレイ系側第1 仕切弁	分解点検	高	130M	—	2 0		
	2V-CP-071 AM用消火水注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	2 1		
	2V-RM-001 2号 格納容器空気サンプル取出弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-RM-002 2号 格納容器空気サンプル取出弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-RM-016 2号 格納容器空気サンプル戻りライン隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-IG-002 2号 1 C I G S 格納容器第1 隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-FS-503 2号 消火用水格納容器入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
	2V-GF-605 2号 R C P 用 C O 2 消火設備 C / V 隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1		
	2V-FS-504 2号 消火用水格納容器入口逆止弁（内隔離弁）	分解点検	高	130M	—	2 1	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-FS-681 AM用消火水注入ライン第1 隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
	2V-FS-682 AM用消火水注入ライン第2 隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
		電動機分解点検		130M	—	2 0		
	2 B 試料採取設備サンプル冷却器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 C 試料採取設備サンプル冷却器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2V-SS-503 2号 加圧器蒸気部サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-SS-504 2号 加圧器蒸気部サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-518 2号 加圧器液相部サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-519 2号 加圧器液相部サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-534 2号 C ループ高温側サンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2			
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 2			
	2V-SS-553A 2 A 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-553B 2 B 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-553C 2 C 蓄圧タンクサンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2V-SS-554 2号 蓄圧タンクサンプル弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1			
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
2V-SS-561 2号 B ループ高温側サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 1				
	分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	2 1				
	電動機分解点検		130M	—	2 0				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-SS-564 2号 C ループ高温側サンプル弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-SS-661A 2 A 自動遠隔試料採取装置C/V戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-SS-661B 2 B 自動遠隔試料採取装置C/V戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-SS-675A 2 A C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-SS-675B 2 B C/V雰囲気サンプル取出弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	1 5		
	2V-SS-676A 2 A C/V雰囲気サンプル取出弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	1 9		
		分解点検		130M	—	1 9	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 9		
	2V-SS-676B 2 B C/V雰囲気サンプル取出弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
	2V-SS-679A 2 A C/V雰囲気サンプル戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-SS-679B 2 B C/V雰囲気サンプル戻り弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 8		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-SS-538A 2 A RHR ループサンプル隔離弁	駆動部点検	高	130M	○	1 8		
		分解点検		130M	○	1 8		
	2V-SS-538B 2 B RHR ループサンプル隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3		
	2V-SS-649A 2 A 1 次冷却材サンプル元弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
	2V-SS-649B 2 B 1 次冷却材サンプル元弁	駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		130M	—	2 2		
	2V-SS-593 2号 体積制御タンクサンプリング元弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1	SN2-85 1 次系弁検査	
		分解点検		130M	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-SS-602 2号 サンプル戻りライン逃がし弁	取替	低	130M	—	2 1	SN2-86 1 次系安全弁検査	
漏えい試験		10C		—	2 1			
機能・性能試験		10C		—	2 1			
2V-SS-618 2号 加圧器蒸気部バージライン逃がし弁	取替	低	130M	—	—	SN2-86 1 次系安全弁検査	第 2 2 回定検にて設置	
	漏えい試験		10C	—	—			
	機能・性能試験		10C	—	—			
2V-SE-017 自動減圧装置出口逃し弁	取替	低	130M	—	2 0	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2V-SE-029 気水分離器安全弁	取替	低	130M	—	2 0	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2V-SE-067 B サンプルライン逃し弁	取替	低	130M	—	2 0	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			
2V-SE-084 廢液回収タンク逃し弁	取替	低	130M	—	2 0	SN2-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	2 0			
	機能・性能試験		10C	—	2 0			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術	
	2Y-SE-128 希釈器圧力発信器安全弁	取替	低	130M	—	2 1		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1			
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2Y-SE-129 希釈器安全弁	取替	低	130M	—	2 1		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1			
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2Y-SE-136 中間タンク安全弁	取替	低	130M	—	2 1		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1			
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2Y-SE-142 希釈器真空ポンプ入口安全弁	取替	低	91M	—	2 0 1 2年度		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検で点検頻度変更
		漏えい試験		7C	—	2 0 1 2年度			
		機能・性能試験		7C	—	2 0 1 2年度			
	2Y-SE-159 水サンプル滞留タンク安全弁	取替	低	130M	—	2 1		SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1			
		機能・性能試験		10C	—	2 1			
	2Y-SE-210A Aガスサンプリング圧縮装置吸入ライン安全弁	取替	低	91M	—	2 0 1 3年度		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検で点検頻度変更
		漏えい試験		7C	—	2 0 1 3年度			
		機能・性能試験		7C	—	2 0 1 3年度			
	2Y-SE-210B Bガスサンプリング圧縮装置吸入ライン安全弁	取替	低	91M	—	2 0 1 3年度		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検で点検頻度変更
		漏えい試験		7C	—	2 0 1 3年度			
		機能・性能試験		7C	—	2 0 1 3年度			
	2Y-SE-217A Aガスサンプリング圧縮装置吐出ライン安全弁	取替	低	91M	—	2 0 1 3年度		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検で点検頻度変更
		漏えい試験		7C	—	2 0 1 3年度			
		機能・性能試験		7C	—	2 0 1 3年度			
	2Y-SE-217B Bガスサンプリング圧縮装置吐出ライン安全弁	取替	低	91M	—	2 0 1 3年度		SN2-86 1次系安全弁検査	第2 1回定検で点検頻度変更
		漏えい試験		7C	—	2 0 1 3年度			
		機能・性能試験		7C	—	2 0 1 3年度			
2Y-SS-925 2号 R C S 導電率計、PH計洗浄ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-87 1次系逆止弁検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-SE-028 気水分離器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	—	2 3	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SE-090 廃液回収タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	—	2 3	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SE-112 希釈器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	○	2 0 1 1年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SE-131 希釈器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	○	2 0 1 1年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SE-138 中間タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	—	2 0 1 2年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SE-157 水サンプル滞留タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	—	2 0 1 2年度	SN2-87 1次系逆止弁検査	第21回定検で点検頻度変更
	2V-SS-724 ガスサンプルラインN2供給逆止弁	分解点検	低	91M	—	2 2	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2D-SE-128 希釈器圧力発信器安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	—	2 0 1 2年度	SN2-89 1次系破壊板検査	第21回定検で点検頻度変更
	2D-SE-129 希釈器安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	—	2 0 1 2年度	SN2-89 1次系破壊板検査	第21回定検で点検頻度変更
	2D-SE-136 中間タンク安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	—	2 0 1 2年度	SN2-89 1次系破壊板検査	第21回定検で点検頻度変更
	事故時試料採取装置	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	2 3		
	2 A 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		39M	—	2 3		
	2 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	2 1		
	2 B 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		39M	○	2 1		
	2 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	2 3		
	2 C 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		39M	—	2 3		
	2 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	2 1		
	2 D 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		
		分解点検		39M	○	2 1		
	2 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	2 3		
	2 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	2 3		
	2 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	低	26M	—	2 3		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-38 アニュラス循環排気系機能検査	
	2A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	78M	—	20		
	2A アニュラス空気浄化ファン用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		
		分解点検		78M	—	20		
	2B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	78M	—	21		
	2B アニュラス空気浄化ファン用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		
		分解点検		78M	—	21		
	2A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	23	SN2-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
		機能・性能試験		2C	—	23		
	2A アニュラス空気浄化フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定）	高	1C	○	23		
	2B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	22	SN2-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
		機能・性能試験		2C	○	22		
	2B アニュラス空気浄化フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定）	高	1C	○	23		
	2A アニュラス空気浄化微粒子除去フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	23		
		機能・性能試験		5C	—	21		
	2B アニュラス空気浄化微粒子除去フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	22		
		機能・性能試験		5C	—	21		
	2V-VS-101A 2A アニュラス出口弁	駆動部点検	高	130M	—	21	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	23		
	2V-VS-101B 2B アニュラス出口弁	駆動部点検	高	130M	—	22	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	21		
	2V-VS-102A 2A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	駆動部点検	高	130M	—	21	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	23		
	2V-VS-102B 2B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	駆動部点検	高	130M	—	22	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	21		
	2V-VS-103A 2A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	駆動部点検	高	130M	—	21	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	23		
	2V-VS-103B 2B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	駆動部点検	高	130M	—	22	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検		52M	—	21		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-VS-105A 2 A アンモニア全量排気弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		52M	—	2 2	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
2V-VS-105B 2 B アンモニア全量排気弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		52M	—	2 3	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
2V-VS-106A 2 A アンモニア少量排気弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		52M	—	2 2	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
2V-VS-106B 2 B アンモニア少量排気弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		52M	—	2 3	SN2-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
2-PCV-2334 2 A アンモニア戻り弁		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		26M	—	2 3		
2-PCV-2344 2 B アンモニア戻り弁		駆動部点検	高	130M	—	2 2		
		分解点検		26M	—	2 3		
2V-DP-001A 2 A C/V圧力逃がし装置第1隔離弁（内隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	1 7		
2V-DP-001B 2 B C/V圧力逃がし装置第1隔離弁（内隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
2V-DP-003A 2 A C/V圧力逃がし装置第2隔離弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
2V-DP-003B 2 B C/V圧力逃がし装置第2隔離弁（外隔離弁）		駆動部点検	高	130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
2 A 安全補機室排気ファン		分解点検	高	52M	—	2 3		
2 A 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 3		
2 B 安全補機室排気ファン		分解点検	高	52M	—	2 1		
2 B 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 1		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術		
	2号 安全補機室排気フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	2 3				
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-94 1次系換気空調設備検査（換気空調系の分解等）			
				5C	—	2 1				
	2D-VS-307A 2 A 安全補機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2				
	2D-VS-307B 2 B 安全補機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1				
	2D-VS-308A 2 A 安全補機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 2				
	2D-VS-308B 2 B 安全補機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	2 1				
	2V-VR-001A 2号 格納容器真空逃がし装置A第1弁	作動確認	高	1C	○	2 3				
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査			
		分解点検		130M	○	1 8	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	2V-VR-001B 2号 格納容器真空逃がし装置B第1弁	作動確認	高	1C	○	2 3				
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査			
分解点検		130M		—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査				
2V-VR-002A 2号 格納容器真空逃がし装置A第2弁	作動確認	高	1C	○	2 3					
	機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査				
	分解点検		130M	—	2 1	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査				
2V-VR-002B 2号 格納容器真空逃がし装置B第2弁	作動確認	高	1C	○	2 3					
	機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査				
	分解点検		130M	—	2 2	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査				
原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器（供用期間中検査対象）1式	非破壊試験	高	7年間	○	2 3		第2 4回定検より点検頻度変更		
		漏えい試験		1C	○	2 3			ISIプログラムによる。[別紙-1]	
	Ni 基合金溶接部 1式	非破壊試験		7年間	○	2 3	SN2-1 クラス1 機器供用期間中検査		第2 4回定検より点検頻度変更	
		ベアメタル検査		3, 5年間, 7年間	○	2 2		第2 4回定検より点検頻度変更		
	クラス2機器（供用期間中検査対象）1式	非破壊試験		高	10年間	○	2 3	SN2-5 クラス2 機器供用期間中検査		ISIプログラムによる。[別紙-2]
		漏えい試験				○	2 3			
	クラス2管（原子炉格納容器内）のうち一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1式	非破壊試験				○	2 3	SN2-99 クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査		ISIプログラムによる。[別紙-3]

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	機器搬入口	非破壊試験	高	10年間	—	20	SN2-80 原子炉格納容器供用期間中検査	
	C/V E.L. -9.4m以下 【管内】	外観点検	高	10C	—	22	SN2-103 耐震健全性検査	
	C/V E.L. -2.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	23	SN2-103 耐震健全性検査	
	C/V E.L. 5.0m 【管内】	外観点検	高	10C	○	17	SN2-103 耐震健全性検査	
	C/V E.L. 13.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	18	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. -15.0m以下 【管内】	外観点検	高	10C	—	19	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. -9.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. -2.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 5.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 13.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 20.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-103 耐震健全性検査	
	FH/B（全城） 【管内】	外観点検	高	10C	—	19	SN2-103 耐震健全性検査	
	非管理区域（全城） 【管外】	外観点検	高	10C	—	21	SN2-103 耐震健全性検査	
	WD/B（全城） 【管内】	外観点検	低	10C	—	21	SN2-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	—
	余熱除去冷却器（胴側） 胴と当板脚の溶接継手	非破壊試験	高	10年間	—	21	SN2-104 構造健全性検査	
	余熱除去冷却器（胴側） 当板脚	非破壊試験	高	10年間	—	21	SN2-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器（胴側） 胴と当板脚の溶接継手	非破壊試験	高	10年間	—	22	SN2-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器（胴側） 当板脚	非破壊試験	高	10年間	—	22	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器（胴側） 胴と当板脚の溶接継手	非破壊試験	高	10年間	—	23	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器（胴側） 当板脚	非破壊試験	高	10年間	—	23	SN2-104 構造健全性検査	
	D/G 清水冷却器 胴と当板脚の溶接継手	非破壊試験	高	10年間	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	D/G 清水冷却器 当板脚	非破壊試験	高	10年間	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	D/G 潤滑油冷却器 胴と当板脚の溶接継手	非破壊試験	高	10年間	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	D/G 潤滑油冷却器 当板脚	非破壊試験	高	10年間	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水ポンプ ポンプ台板脚	非破壊試験	高	10年間	○	20	SN2-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	配管	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	2 2	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	2 3	SN2-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	2 3	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	2 3	SN2-104 構造健全性検査	
	漏えい検査	—	—	—	—	—	—	—
	2 A 使用済燃料ピットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 1	SN2-104 構造健全性検査	
	2 B 使用済燃料ピットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 C 使用済燃料ピットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 1	SN2-104 構造健全性検査	
	2 A 使用済燃料ピットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 2	SN2-104 構造健全性検査	
	2 B 使用済燃料ピットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 C 使用済燃料ピットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 2	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク及び出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 A, 2 B 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 3	SN2-104 構造健全性検査	
	2 C, 2 D 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	1 8	SN2-104 構造健全性検査	
	2 A, 2 B 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 A ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	○	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 B ディーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	○	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 A ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	2 B ディーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	
	外観点検	—	—	—	—	—	—	—
	C/V E.L. - 9.4 m以下 【管内】	外観点検	高	10C	—	2 2	SN2-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. - 2.0 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	2 3	SN2-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 5.0 m 【管内】	外観点検	高	10C	○	1 7	SN2-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 13.3 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	1 8	SN2-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. - 15.0 m以下 【管内】	外観点検	高	10C	—	1 9	SN2-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. - 9.0 m 【管内】	外観点検	高	10C	—	2 0	SN2-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	A/B E.L. -2.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 5.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 13.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 20.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	20	SN2-104 構造健全性検査	
	FH/B（全域） 【管内】	外観点検	高	10C	—	19	SN2-104 構造健全性検査	
	非管理区域（全域） 【管外】	外観点検	高	10C	—	21	SN2-104 構造健全性検査	
	WD/B（全域） 【管内】	外観点検	低	10C	—	21	SN2-104 構造健全性検査	
	格納容器排気筒	外観点検	高	10C	—	16	SN2-104 構造健全性検査	
	補助建屋排気筒	外観点検	低	10C	—	16	SN2-104 構造健全性検査	
	1次冷却材管レストレイント 25箇所	外観点検	高	10C	—	21	SN2-114 レストレイント検査	
	主蒸気配管レストレイント 18箇所	外観点検	高	10C	—	22	SN2-114 レストレイント検査	
	主給水配管レストレイント 20箇所	外観点検	高	10C	—	23	SN2-114 レストレイント検査	
	2次系配管等	外観点検	低	1C	○	23	SN2-127 2次系配管検査	一部定検起動後
	2次系配管	非破壊試験	低	余寿命による	○	23	SN2-127 2次系配管検査	
	主給水配管（主給水隔離弁～S/G） 主蒸気配管（S/G～主蒸気隔離弁）	非破壊試験	高	余寿命による	○	23	SN2-135 主蒸気・主給水配管検査	
	油圧防振器 1式	分解点検	高	65M～130M	○	23		
蒸気タービン （車室、円板、隔板、噴口）	高圧タービン	開放点検（目視）	低	39M	—	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第19回定検で取替
		開放点検（非破壊）		39M	—	23		
		開放点検（組立状況）		117M	—	—		
				1C	○	23		
				3C	—	23		
	第1低圧タービン	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第19回定検で取替
		外観点検		39M	○	21		
		開放点検（非破壊）		1C	○	23		
				39M	○	21		
				39M	○	21		
				117M	—	—		
	第2低圧タービン	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第19回定検で取替
		外観点検		39M	—	23		
		開放点検（非破壊）		1C	○	23		
				39M	—	23		
				39M	—	23		
				117M	—	—		
		開放点検（組立状況）		1C	○	23		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	第3低圧タービン	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第19回定検で取替
		外観点検		39M	—	22		
		開放点検（非破壊）		1C	○	23		
				39M	—	22		
				39M	—	22		
				117M	—	—		
	開放点検（組立状況）	1C	○	23				
	スラスト軸受	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		39M	—	23		
	蒸気タービン本体及びその附属設備	機能・性能試験（保安装置）	低	1C	○	23	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
		総合性能試験（負荷）		1C	○	23	SN2-65 総合負荷性能検査	定検起動後
	蒸気タービン （調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	調速装置（非常調速装置）	開放点検（目視）	低	39M	—	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査
	No.1 主蒸気止め弁	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	23		
				13M	○	23		
				52M	—	23		
				1C	○	23		
	機能・性能試験（保安装置）	1C	○	23	SN2-130 蒸気タービン性能検査			
	No.2 主蒸気止め弁	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	23		
				13M	○	23		
				52M	—	23		
				1C	○	23		
	機能・性能試験（保安装置）	1C	○	23	SN2-130 蒸気タービン性能検査			
	No.3 主蒸気止め弁	開放点検（目視）	低	13M	○	23	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	23		
				13M	○	23		
				52M	—	23		
1C				○	23			
機能・性能試験（保安装置）	1C	○	23	SN2-130 蒸気タービン性能検査				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	No.4 主蒸気止め弁	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 3		
		開放点検（組立状況）		13M	○	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		52M	—	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		1C	○	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
	No.1 蒸気加減弁	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 0		
		開放点検（組立状況）		13M	○	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		52M	—	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		1C	○	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
	No.2 蒸気加減弁	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 0		
		開放点検（組立状況）		13M	○	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		52M	—	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		1C	○	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
	No.3 蒸気加減弁	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 0		
		開放点検（組立状況）		13M	○	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		52M	—	2 3		
		機能・性能試験（保安装置）		1C	○	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
No.4 蒸気加減弁	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査		
	開放点検（非破壊）		65M	—	2 0			
	開放点検（組立状況）		13M	○	2 3			
	機能・性能試験（保安装置）		52M	—	2 3			
	機能・性能試験（保安装置）		1C	○	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	A 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	○	2 1	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	B 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	○	2 1	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	C 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	—	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	D 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	—	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	E 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	—	2 2	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	F 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		65M	—	2 3		
		機能・性能試験(保安装置)		39M	—	2 2	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
A インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		65M	—	2 2			
	機能・性能試験(保安装置)		39M	○	2 1	SN2-130 蒸気タービン性能検査		
			1C	○	2 3			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	B インターセプト弁	開放点検（目視）	低	39M	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 2		
		機能・性能試験（保安装置）		39M	○	2 1	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	C インターセプト弁	開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 2		
		機能・性能試験（保安装置）		39M	—	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
	D インターセプト弁	開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		65M	—	2 2		
		機能・性能試験（保安装置）		39M	—	2 3	SN2-130 蒸気タービン性能検査	
				1C	○	2 3		
E インターセプト弁	開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		65M	—	2 2			
	機能・性能試験（保安装置）		39M	—	2 2	SN2-130 蒸気タービン性能検査		
			1C	○	2 3			
F インターセプト弁	開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		65M	—	2 2			
	機能・性能試験（保安装置）		39M	—	2 2	SN2-130 蒸気タービン性能検査		
			1C	○	2 3			
蒸気タービン (復水器)	A 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	—	1 9		
	B 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 3		
	C 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 2		
	D 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 0		
	E 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 1		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	F 復水器水室	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		開放点検（非破壊）		78M	○	1 8		
	A 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	B 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	C 復水器ホットウェル	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン （蒸気タービンに附属する熱交換器）	2 A 第1段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	—	—		
	2 B 第1段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	○	—	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	—	—		
	2 C 第1段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M	—	2 3		
	2 D 第1段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	○	—	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	○	—		
	2 A 第2段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	—	—		
	2 B 第2段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	○	—	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	—	—		
	2 C 第2段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M	—	2 3		
	2 D 第2段 湿水分離加熱器	開放点検（目視）	低	26M	○	—	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2回定検で取替
		開放点検（非破壊）		104M	○	—		
	2 A 湿水分離器	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	2 B 湿水分離器	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	2 A 低圧第1給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 2		
2 B 低圧第1給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		78M	—	2 3			
2 C 低圧第1給水加熱器	開放点検（目視）	低	39M	○	2 1	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検（非破壊）		78M	—	2 1			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2 A 低圧第2 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 2		
2 B 低圧第2 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 3		
2 C 低圧第2 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	○	2 1	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 1		
2 A 低圧第3 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 2		
2 B 低圧第3 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 3		
2 C 低圧第3 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	○	—	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施 第2 1回定検で取替
		開放点検（非破壊）		78M	○	—		
2 A 低圧第4 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	1 9		
2 B 低圧第4 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 0		
2 C 低圧第4 給水加熱器		開放点検（目視）	低	39M	○	2 1	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		78M	—	2 1		
2号 グランド蒸気復水器		開放点検（目視）	低	39M	—	2 2	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		39M	—	2 2		
2号 脱気器		開放点検	低	13M	○	2 3	SN2-125 2次系容器検査	
2 A 高圧第6 給水加熱器		開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M	—	1 8		
2 B 高圧第6 給水加熱器		開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-126 2次系熱交換器検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		104M	—	1 9		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び 貯水設備並びに給水処理設備)	2 A 復水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	—	2 2		定検起動後
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
	2 A 復水ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	2 2		(振動診断：切替毎)
	2 B 復水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	—	2 3		定検起動後
		機能・性能試験		3C	—	2 3		
	2 B 復水ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	2 3		(振動診断：切替毎)
	2 C 復水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1		定検起動後
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
	2 C 復水ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	2 1		(振動診断：切替毎)
	2 A 復水プースタポンプ	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	○	2 1		定検起動後
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
	2 A 復水プースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	2 2		(振動診断：切替毎)
	2 B 復水プースタポンプ	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	—	2 2		定検起動後
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
	2 B 復水プースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	2 2		(振動診断：切替毎)
2 C 復水プースタポンプ	簡易点検 (油入替他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)	
	分解点検		39M	—	2 3		定検起動後	
	機能・性能試験		3C	—	2 3			
2 C 復水プースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	2 3		(振動診断：切替毎)	
2 A 復水器真空ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)	
	分解点検		39M	○	2 1		定検起動後	
	機能・性能試験		3C	○	2 1			
2 A 復水器真空ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	2 1		(振動診断：切替毎)	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2B 復水器真空ポンプ		簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	○	23	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	—	23		
		機能・性能試験		3C	—	23		
2B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	23		(振動診断：切替毎)
2C 復水器真空ポンプ		簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	○	23	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M	—	22		
		機能・性能試験		3C	—	22		
2C 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	22		(振動診断：切替毎)
A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	—	23	SN2-125 2次系容器検査	
B 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	—	23	SN2-125 2次系容器検査	
C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	—	23	SN2-125 2次系容器検査	
D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	—	23	SN2-125 2次系容器検査	
E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	—	23	SN2-125 2次系容器検査	
2号 復水フィルタ		開放点検	低	195M	—	20		
2号 電動主給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	23	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M	—	23		
		機能・性能試験		39M	—	23		
2号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	21		(振動診断：1ヶ月)
2A タービン動主給水ポンプ		簡易点検（ストレーナ清掃他）	低	13M	○	23	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M	○	22		
		機能・性能試験		2C	○	22		
2B タービン動主給水ポンプ		簡易点検（ストレーナ清掃他）	低	13M	○	23	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
分解点検	26M	—		23				
機能・性能試験	2C	—		23				
2A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	23	SN2-121 2次系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M	○	22		
		機能・性能試験		2C	○	22		
2B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検（油入替他）	低	13M	○	23	SN2-121 2次系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M	—	23		
		機能・性能試験		2C	—	23		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 給水ブースタポンプ	簡易点検（ゲランドパッキン取替他）	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月) 定検起動後
		分解点検		39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1		
	2 A 給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	○	2 2		
	2 B 給水ブースタポンプ	簡易点検（ゲランドパッキン取替他）	低	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2		
	2 B 給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	低	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 2		
	2 C 給水ブースタポンプ	簡易点検（ゲランドパッキン取替他）	低	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 3		
		機能・性能試験		3C	—	2 3		
	2 C 給水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 A 循環水ポンプ	簡易点検（ゲランドパッキン取替他）	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月) 定検起動後
		分解点検		26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
	2 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		普通点検		26M	—	2 3		
		分解点検		52M	—	2 1		
	2 B 循環水ポンプ	簡易点検（ゲランドパッキン取替他）	低	13M	○	2 3	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月) 定検起動後
		分解点検		26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2		
	2 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
普通点検		26M		○	2 2			
分解点検		52M		○	2 0			
2 A 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 2			
2 B 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 3			
2 C 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 3			
2 D 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 2			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2 A 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 B 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 C 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 D 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 A 湿分離器ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 B 湿分離器ドレンタンク	開放点検	低	26M	—	2 3		
	2 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 3		
	2 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 2		
	2 C 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M	—	2 3		
	2V-RS-120 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-121 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-122 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-123 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-124 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-125 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-126 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-127 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-128 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-129 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-AS-350A 脱気器A逃し弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-AS-350B 脱気器B逃し弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-AS-351A 脱気器A逃し弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-AS-351B 脱気器B逃し弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-730A 2 A低圧第3 給水加熱器 2 A逃し弁		分解点検	低	39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-730B 2 B低圧第3 給水加熱器 2 B逃し弁		分解点検	低	39M	—	2 3		
		機能・性能試験		3C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-730C 2 C低圧第3 給水加熱器 2 C逃し弁		分解点検	低	39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-731A 2 A低圧第4 給水加熱器 2 A逃し弁		分解点検	低	52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-731B 2 B低圧第4 給水加熱器 2 B逃し弁		分解点検	低	52M	—	2 3		
		機能・性能試験		4C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-731C 2 C低圧第4 給水加熱器 2 C逃し弁		分解点検	低	52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-732A 2 A高圧第6 給水加熱器 2 A逃し弁		分解点検	低	39M	—	2 3		
		機能・性能試験		3C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-BS-732B 2 B高圧第6 給水加熱器 2 B逃し弁		分解点検	低	39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-039 A低圧第1 ヒータ入口主復水リリーフ弁		分解点検	低	39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-040 B低圧第1 ヒータ入口主復水リリーフ弁		分解点検	低	39M	—	2 3		
		機能・性能試験		3C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-041 C低圧第1 ヒータ入口主復水リリーフ弁		分解点検	低	39M	○	2 1		
		機能・性能試験		3C	○	2 1	SN2-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
2V-CW-219 A復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	—	2 2		
		機能・性能試験		4C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-220 B復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	—	2 3		
		機能・性能試験		4C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-221 C復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	—	2 1		
		機能・性能試験		4C	—	2 1	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-CW-251 グラウンド蒸気復水器出口主復水リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	2 2		
		機能・性能試験		2C	○	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-FW-012 A高圧第6ヒータ入口リリーフ弁		分解点検	低	39M	—	2 3		
		機能・性能試験		3C	—	2 3	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-FW-013 B高圧第6ヒータ入口リリーフ弁		分解点検	低	39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-FW-121 給水ポンプバイパス管リリーフ弁		分解点検	低	39M	—	2 2		
		機能・性能試験		3C	—	2 2	SN2-124 2次系安全弁検査	
2V-AS-005A 脱気器加熱蒸気逃がし弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
2V-AS-005B 脱気器加熱蒸気逃がし弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
2V-SC-300 スチームコンバータ安全弁		分解点検	低	26M	—	2 3		
		機能・性能試験		2C	—	2 3		
2V-AS-508 2号 補助蒸気圧力調節安全弁		取替	低	130M	—	2 2		
		漏えい試験		10C	—	2 2	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
補助給水系		機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-23 補助給水系機能検査	
2 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	2 0	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	
2 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 2		
2 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 3	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2 B 電動補助給水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	—	2 3		
	2号タービン動補助給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	2 0		
	2号タービン動補助給水ポンプタービン	簡易点検（油入替他）	高	13M	○	2 3	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M	○	2 0		
		機能・性能試験		4C	○	2 0		
	2号復水タンク	開放点検	高	26M	—	2 3		
	2V-FW-574A 2 A 補助給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	65M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検で取替
		駆動部点検		130M	—	2 0		
		分解点検		130M	—	2 0		
		機能・性能試験		10C	—	2 0		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	—		
	2V-FW-574B 2 B 補助給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	65M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検で取替
		駆動部点検		130M	—	1 8		
		分解点検		130M	—	1 8		
		機能・性能試験		10C	—	1 8		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	—		
	2V-FW-574C 2 C 補助給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバッキン取替）	高	65M	○	1 9	SN2-85 1次系弁検査	第20回定検で取替
		駆動部点検		130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4		
		機能・性能試験		10C	○	1 4		
電動機簡易点検		2C		○	2 2			
電動機分解点検		130M		○	—			
2-HCV-3715 2号 T/D AFWP 出口A流量制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 0	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		104M	—	2 0			
	機能・性能試験		8C	—	2 0			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2-HCV-3725 2号 T/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 2		
		分解点検		104M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		8C	—	2 2		
	2-HCV-3735 2号 T/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	65M	—	2 2		
		分解点検		104M	—	2 2	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		8C	—	2 2		
	2V-FW-557A 2号 M/D AFWP出口A流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	2 3		
		分解点検		130M	—	2 3	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 3		
		電動機簡易点検		2C	—	2 3		
		電動機分解点検		130M	—	2 3		
	2V-FW-557B 2号 M/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	1 6		
		分解点検		130M	—	1 6	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	1 6		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 6		
	2V-FW-557C 2号 M/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	130M	○	1 4		
		分解点検		130M	○	1 4	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	1 4		
		電動機簡易点検		2C	○	2 2		
		電動機分解点検		130M	—	1 8		
	2V-DW-100 2 A 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1		
		分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
電動機分解点検		130M		—	1 7			
2V-DW-102 2 B 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	—	2 1			
	分解点検		130M	—	2 1	SN2-85 1次系弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	2 1			
	電動機分解点検		130M	—	1 7			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-DW-104 2号タービン動補助給水ポンプ純水入口弁		駆動部点検	低	130M	—	21	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	21		
		機能・性能試験		10C	—	21		
		電動機簡易点検		2C	—	23		
		電動機分解点検		130M	—	17		
2V-DW-106 2号電動補助給水ポンプ復水タンク元弁		駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-123 2次系弁検査	
		分解点検		130M	—	23		
		機能・性能試験		10C	—	23		
		電動機簡易点検		2C	—	23		
		電動機分解点検		130M	—	20		
2V-DW-113 2号タービン動補助給水ポンプ復水タンク元弁		駆動部点検	高	130M	—	23	SN2-123 2次系弁検査	
		分解点検		130M	—	23		
		機能・性能試験		10C	—	23		
		電動機簡易点検		2C	—	23		
		電動機分解点検		130M	—	20		
2V-DW-117 2A電動補助給水ポンプ給水リリーフ弁		分解点検	低	130M	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
2V-DW-118 2B電動補助給水ポンプ給水リリーフ弁		分解点検	低	130M	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
2V-DW-119 2号タービン動補助給水ポンプ給水リリーフ弁		分解点検	低	130M	—	20	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	20		
		機能・性能試験		10C	—	20		
2V-FW-553A 2A M/D AFWP 出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		
2V-FW-553B 2B M/D AFWP 出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		
2V-FW-559A 2A M/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		
2V-FW-559B 2B M/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		
2V-FW-559C 2C M/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		
2V-FW-568A 2A T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	22		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2V-FW-568B 2 B T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2V-FW-568C 2 C T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2V-FW-573A 2 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	2V-FW-573B 2 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 3		
	2V-FW-573C 2 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	2 2		
	スチームコンバータ	開放点検	低	13M	○	2 3		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		39M	—	2 3		
	低温再熱蒸気管（A湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M	—	2 3		
	低温再熱蒸気管（A湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M	—	2 1		
	低温再熱蒸気管（B湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M	○	2 0		
	低温再熱蒸気管（B湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M	—	2 2		
	高温再熱蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	○	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第1抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第2抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第3抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	○	2 1	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第4抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	—	2 2	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第5抽気管	開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
	第6抽気管	開放点検（目視）	低	39M	—	2 3	SN2-129 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)	1.ディーゼル発電機 2台 2.安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を求める機器 43台	機能・性能試験	高	1C	○	2 3	SN2-53-1 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機の作動検査)	
	2 A ディーゼル発電機	簡易点検	高	1C	○	2 3		
		普通点検(軸受点検)		26M	○	2 2		
		分解点検		78M	—	2 2		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-53-2 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機定格容量検査)	
	2 A ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A ディーゼル発電機CT取納盤	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B ディーゼル発電機	簡易点検	高	1C	○	2 3		
		普通点検(軸受点検)		26M	○	2 2		
		分解点検		78M	—	2 2		
		機能・性能試験		1C	○	2 3	SN2-53-2 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機定格容量検査)	
	2 B ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B ディーゼル発電機CT取納盤	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A No1, 9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 2	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A No2, 10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A No3, 11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	○	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A No4, 12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A No5, 13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
2 A No6, 14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査		
2 A No7, 15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 1	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査		
2 A No8, 16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 1	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B No1, 9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 1	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No2, 10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 1	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No3, 11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No4, 12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No5, 13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No6, 14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	○	2 0	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No7, 15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No8, 16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	—	2 2	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 吸気弁 (3 2台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 吸気弁 (3 2台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 排気弁 (3 2台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 排気弁 (3 2台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 燃料噴射弁 (1 6台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 燃料噴射弁 (1 6台)	分解点検	高	13M	○	2 3	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	○	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 潤滑油プライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 A 潤滑油プライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 B 潤滑油プライミングポンプ	分解点検	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 B 潤滑油プライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	2 2		(振動診断：1ヶ月)
	2 A 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 A 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	—	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 B 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
	2 B 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M	○	2 2		(振動診断：1ヶ月)
	2 A シリンダ冷却水ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 B シリンダ冷却水ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	2 2		
	2 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検 (ガラスドレン取替 他)	高	13M	○	2 3		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 2	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	2 2		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替他)	高	13M	○	2 3		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	—	2 2	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	2 2		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	2 1		
	2 B 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	52M	—	2 2		
	2 A 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	78M	—	2 3		
	2 B 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	78M	○	2 0		
	2 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検 (センターリング他)	高	13M	○	2 3		
		分解点検		78M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	78M	—	2 3		
	2 B 燃料油移送ポンプ	簡易点検 (センターリング他)	高	13M	○	2 3		
		分解点検		78M	—	2 0	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	78M	—	2 0		
	2 A 過給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 3		
		分解点検		130M	○	1 8		
	2 B 過給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	2 3		
		分解点検		130M	○	1 8		
	2 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M	○	2 3		
		非破壊試験		26M	—	2 3	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2A-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	23		
		非破壊試験		13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
2A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	23		
		非破壊試験		13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
2B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	23		
		非破壊試験		13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
2B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	23		
		非破壊試験		13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
2A 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	23		
2B 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	23		
2A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	23		
2B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	23		
2A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	23		
2A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	23		
2B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	23		
2B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	23		
2A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	23		
2B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	23		
2A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	22		
2A 潤滑油タンクヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	23		
2B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	22		
2B 潤滑油タンクヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	23		
2A 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	21		
2B 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	21		
2A シリンダ油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	22		
2B シリンダ油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	22		
2A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	23		
2B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	23		
2A 潤滑油主こし器（4基）		開放点検	高	13M	○	23		
2B 潤滑油主こし器（4基）		開放点検	高	13M	○	23		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2A 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	13M	○	23		
	2B 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	13M	○	23		
	2A 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	13M	○	23		
	2B 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	13M	○	23		
	2A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	20	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	20		
	2B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	—	20	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	20		
	2A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	19	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	19		
		漏えい試験		10C	—	19		
	2B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	19	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C	—	19		
		漏えい試験		10C	—	19		
	2A 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	23		
		分解点検		39M	—	22		
	2A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	21		
	2B 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	23		
		分解点検		39M	—	23		
	2B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	22		
	2A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2A 軸受	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	2B 軸受	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	2A 調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	2B 調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	23		
	2A 計測装置	特性試験	高	13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2B 計測装置	特性試験	高	13M	○	23	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2A 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	23		
	2A 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	23		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回数）	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
	2 B 1 主始動弁	分解点検	高	13M	○	2 3		
	2 B 2 主始動弁	分解点検	高	13M	○	2 3		
	2 A 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	2 3		
	2 B 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	2 3		
	2 A 燃料油貯油そう	開放点検	高	78M	—	2 1		
		気密試験		2C	—	2 3		
	2 A 燃料油貯油そう基礎 1 式（土木建築設備）	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B 燃料油貯油そう	開放点検	高	78M	—	2 1		
		気密試験		2C	—	2 3		
	2 B 燃料油貯油そう基礎 1 式（土木建築設備）	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A 燃料油貯蔵タンク	開放点検	高	78M	○	—		第20回定検より追加
		気密試験		2C	○	2 2		
	2 A 燃料油貯蔵タンク基礎（土木建築設備）	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B 燃料油貯蔵タンク	開放点検	高	78M	○	—		第20回定検より追加
		気密試験		2C	○	2 2		
	2 B 燃料油貯蔵タンク基礎（土木建築設備）	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2V-DG-628A 2 A 空気圧縮機出口安全弁	分解点検	低	130M	—	2 2	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-DG-628B 2 B 空気圧縮機出口安全弁	分解点検	低	130M	—	2 1	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-DG-630A 2 A 空気だめ安全弁 a	分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-DG-630B 2 B 空気だめ安全弁 a	分解点検	高	130M	—	2 1	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		
	2V-DG-631A 2 A 空気だめ安全弁 b	分解点検	高	130M	—	2 2	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 2		
		機能・性能試験		10C	—	2 2		
	2V-DG-631B 2 B 空気だめ安全弁 b	分解点検	高	130M	—	2 1	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	2 1		
		機能・性能試験		10C	—	2 1		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	1C	○	2 3		第20回定検で固定子コイル巻替、回転子取替
		普通点検		26M	—	2 3		
		精密点検(内部点検)		78M	—	—		
		機能・性能試験(組立状況)		1C	○	2 3		
	発電機保護継電装置 1式	特性試験	低	6C	—	—		第23回定検で取替 第24回定検より点検頻度変更
	励磁機	簡易点検	低	1C	○	2 3		第20回定検で取替
		普通点検		26M	—	2 3		
		精密点検		78M	—	—		
	主変圧器	普通点検(外部点検、測定試験)	低	1C	○	2 3		第19回定検で取替
		内部点検		130M	—	—		
	主変圧器保護継電装置 1式	特性試験	低	6C	—	—		第23回定検で取替 第24回定検より点検頻度変更
	所内変圧器	普通点検(外部点検、測定試験)	低	1C	○	2 3		第19回定検で取替
		内部点検		130M	—	—		
	所内変圧器保護継電装置 1式	特性試験	低	6C	—	—		第23回定検で取替 第24回定検より点検頻度変更
	予備変圧器(1,2号機共用)	普通点検(外部点検、測定試験)	低	2C	—	2 3 (2号)		送電系との調整による 定検停止中又はプラント運転中
		内部点検		130M	—	1 9 (2号)		
	予備変圧器(1,2号機共用)保護継電装置 1式	特性試験	低	6C	—	—		1号第24回定検で取替 1号第25回定検より点検頻度変更 送電系との調整による 定検停止中又はプラント運転中
	50-30(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C	—	2 3 (2号)		送電系との調整による
		普通点検		3C	—	2 3 (1号)		
		精密点検(内部点検)		18Y	—	2 0 (1号)		
50-40(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C	—	2 3 (2号)		送電系との調整による	
	普通点検		3C	—	2 3 (1号)			
	精密点検(内部点検)		18Y	—	1 8 (2号)			
50-120	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	1C	○	2 3			
	普通点検		3C	○	2 1			
	精密点検(内部点検)		18Y	—	2 0			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	20-50(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C	—	23(2号)		送電系との調整による 定検停止中又はプラント運転中
		普通点検		3C	—	23(2号)		
		精密点検(内部点検)		18Y	—	18(2号)		
	50T-10(1,2号機共用)	簡易点検(外部点検、測定試験)	低	2C	—	24(1号)		送電系との調整による
		普通点検		3C	—	24(1号)		
		精密点検(内部点検)		18Y	—	18(1号)		
	500kV母線保護継電装置 1式	特性試験	低	6C	—	—		送電系との調整による 1号第21回定検で取替
	500kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	6Y	—	21(1号)		送電系との調整による
	220kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	26M	—	24(1号)		送電系との調整による 定検停止中又は定検起動後
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-2AEG	普通点検	高	13M	○	23		
	遮断器 4-2BEG	普通点検	高	13M	○	23		
	6.6kV 4-2C母線	簡易点検	高	1C	○	23		
		精密点検		52M	—	22		
	6.6kV 4-2C母線PT	普通点検	高	1C	○	23		
	6.6kV 4-2D母線	簡易点検	高	1C	○	23		
		精密点検		52M	—	23		
	6.6kV 4-2D母線PT	普通点検	高	1C	○	23		
	受電遮断器 4-2HC	普通点検	高	13M	○	23		
	受電遮断器 4-2HD	普通点検	高	13M	○	23		
	受電遮断器 4-2EC	普通点検	高	13M	○	23		
	受電遮断器 4-2ED	普通点検	高	13M	○	23		
	遮断器 3-2CH	普通点検	高	13M	○	23		
	遮断器 3-2DH	普通点検	高	13M	○	23		
	補機用遮断器 4-2C補機(安全系補機)	普通点検	高	13M	○	23		
補機用遮断器 4-2D補機(安全系補機)	普通点検	高	13M	○	23			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
440V 3-2C母線		簡易点検	高	1C	○	23			
		精密点検		52M	—	22			
440V 3-2D母線		簡易点検	高	1C	○	23			
		精密点検		52M	—	23			
遮断器 3-2CL		普通点検	高	13M	○	23			
遮断器 3-2DL		普通点検	高	13M	○	23			
3-2C 動力変圧器		普通点検	高	1C	○	23			
3-2D 動力変圧器		普通点検	高	1C	○	23			
補機用遮断器 3-2C補機(安全系補機)		普通点検	高	13M	○	23			
補機用遮断器 3-2D補機(安全系補機)		普通点検	高	13M	○	23			
2C1 原子炉コントロールセンタ母線(限流リアクトル含む)		普通点検	高	78M	—	20			
2C2 原子炉コントロールセンタ母線(限流リアクトル含む)		普通点検	高	78M	—	22			
2D1 原子炉コントロールセンタ母線(限流リアクトル含む)		普通点検	高	78M	—	20			
2D2 原子炉コントロールセンタ母線(限流リアクトル含む)		普通点検	高	78M	—	22			
2A ディーゼル発電機コントロールセンタ母線		普通点検	高	65M	—	—		第22回定検で取替	
2B ディーゼル発電機コントロールセンタ母線		普通点検	高	65M	—	23			
2A 直流コントロールセンタ母線		外観点検	高	3C	○	21			
2A 充電器盤		普通点検	高	13M	○	23			
2A 後備充電器盤		普通点検	高	13M	○	23			
2A ドロップ盤		普通点検	高	13M	○	23			
2A 蓄電池(安全防護系用)		普通点検	高	13M	○	23	SN2-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	23			SN2-223 直流電源系作動検査
				1C	○	23			
2B 直流コントロールセンタ母線		外観点検	高	3C	○	21			
2B 充電器盤		普通点検	高	13M	○	23			
2B 後備充電器盤		普通点検	高	13M	○	23			
2B ドロップ盤		普通点検	高	13M	○	23			
2B 蓄電池(安全防護系用)		普通点検	高	13M	○	23	SN2-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	23			SN2-223 直流電源系作動検査
				1C	○	23			
タービン動補助給水ポンプ電動弁盤		普通点検	高	1C	○	23			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	電動補助給水ポンプ電動弁盤	普通点検	高	1C	○	23		
	計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-112 インバータ機能検査	
	無停電電源装置（照明用） 2台	特性試験	低	26M	○	22		
火災防護設備 (消火設備)	水噴霧消火設備（WD/B）	機能・性能試験	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプ用二酸化炭素自動消火設備	機能・性能試験	低	1C	○	23		
	ハロン消火設備（選択弁、ボンベ等含む）	機能・性能試験	低	1C	○	23		
火災防護設備 (その他設備)	2F-VS-L12F 2A フェラス空気浄化よう素除去フィルタエント入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	23		
	2F-VS-L26F 2B フェラス空気浄化よう素除去フィルタエント入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	23		
	2F-VS-L31F 2A フェラス空気浄化よう素除去フィルタエント出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	23		
	2F-VS-L41F 2B フェラス空気浄化よう素除去フィルタエント出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	23		
	2F-VS-U1031F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第1防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1036F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1038F 2B 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1047F 2C 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1055F 2号 ほう酸注入タンク室出口防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1002F 2号 安全補機室排気系第1防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1005F 2号 安全補機室排気系第2防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1017F 2A CVAスプレイ及び余熱除去冷却器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1020F 2B CVAスプレイ及び余熱除去冷却器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U91-1F 2号 安全補機室排気系第3防火ダンパ	機能点検	高	26M	—	23		
	2F-VS-U1201F 2号 体積制御タンク室排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-U1202F 2号 ベネトレーション室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	22		
	2F-VS-U1203F 2号 充てん/高圧注入ポンプバルブ室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	22		
	2F-VS-U1204F 2号 A余熱除去冷却器室排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	22		
	2F-VS-U1205F 2号 A余熱除去冷却器室排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	22		
	2F-VS-U1206F 2号 A余熱除去冷却器室排気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	22		
	2F-VS-U1207F 2号 AC/Vスプレイ冷却器室排気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-U1208F 2号 AC/Vスプレイ冷却器室排気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-U1209F 2号 AC/Vスプレイ冷却器室排気第3防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		
	2F-VS-Z79F 2D 補助給水ポンプ室給気フィルタ入口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	22		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2F-VS-Z86F 2 C 補助給水ポンプ室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-Z99F 2 A 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-Z115F 2 B 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-Z130F 2 D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-R321F 2号 補助建屋給気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R350F 2号 補助建屋給気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R201F 2号 補助建屋給気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R232F 2号 補助建屋給気第6防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R157F 2号 補助建屋給気第4防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R165F 2号 補助建屋給気第7防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R55F 2号 補助建屋給気第5防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R66F 2号 補助建屋給気第8防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-R129F 2 B 制御用空気圧縮機室給・排気ファン入口給気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S1619F 2号 補助建屋排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S2499F 2号 補助建屋排気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S2500F 2号 補助建屋排気第4防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S1041F 2号 補助建屋排気第5防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S 1168F 2号 補助建屋排気第6防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S1174F 2号 補助建屋排気第7防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S606F 2号 補助建屋排気第8防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S623F 2号 FH/B出口排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S797F 2号 ほう酸タンク室出口排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S914F 2号 補助建屋排気第9防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S242F 2号 補助建屋排気第10防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S455F 2号 補助建屋排気第11防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S485F 2号 FH/B工具倉庫室出口排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S21F 2号 原子炉補機冷却水冷却器室排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S22F 2号 原子炉補機冷却水冷却器室排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S26F 2号 原子炉補機冷却水冷却器室排気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S27F 2号 原子炉補機冷却水冷却器室排気第4防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2F-VS-S2601F 2号 ハロンボンベ室排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S2602F 2号 ハロンボンベ室排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S 2603F 2号 ハロンボンベ室排気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-S 2604F 2号 ハロンボンベ室排気第4防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-T201R-1 2 A 充てん/高圧注入ポンプ室給気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T 212R-1 2 B 充てん/高圧注入ポンプ室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T224R-1 2 C 充てん/高圧注入ポンプ室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T210F 2 A 充てん/高圧注入ポンプ室給気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T247F 2号 ほう酸注入タンク室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T168F 2号 安全補機室給気系第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T176F 2号 安全補機室給気系第2防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T193F 2号 安全補機室給気系第3防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T196-1F 2号 安全補機室給気系第4防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T501F 2号 体積制御タンク室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-T502F 2号 ペネトレーション室給気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-T503F 2号 充てん/高圧注入ポンプバルブ室給気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-T504F 2号 A C/V スプレー冷却器室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B146F 2号 中間建屋排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B140F 2号 中間建屋給気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B142F 2号 中間建屋給気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B151F 2号 中間建屋排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B15F 2 B 空調用冷凍機室給気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B203F 2号 中間建屋給気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B204F 2号 海水管室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B205F 2号 中間建屋給気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1B202F 2号 重大事故等対処用蓄電池室排気ファン出口第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-Q153F 2 C 蓄電池室出口第2防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-Q157F 2 A 蓄電池室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-Q202F 2 B 蓄電池室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-P115F 2 B 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2F-VS-P160F 2 B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P201F 2 A 安全補機開閉器室空調ファン防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P245F 2 A 安全補機開閉器室出口排気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P29F 2 B インバータ室入口給気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P371F 2 B LVP盤室出口排気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P375F 2 B LVP盤室入口給気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P379F 2 A LVP盤室入口給気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P384F 2 A LVP盤室出口排気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-P1R-1 2 B インバータ室出口排気第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M1F 2号 通信機械室出口排気防火ダンプ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-M25F 2号 通信機械室入口給気防火ダンプ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-M61F 2号 配線処理室出口排気第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M88F 2号 1次系継電器室出口給気防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M94F 2号 中央制御室空調系入口給気第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M117F 2号 中央制御室空調系入口給気第2防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M127F 2号 中央制御室空調系入口給気第3防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M141F 2号 1次系継電器室排気系第2防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M144F 2号 1次系継電器室排気系第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-M207F 2号 第2計器室出口排気防火ダンプ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-M401F 2号 2次系継電器室入口給気系防火ダンプ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-M471F 2号 2次系継電器室出口排気系防火ダンプ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A173F 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A188F 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口第2防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A189F 2 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A214F 2 B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A230F 2 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A3F 2号 EP盤室(B) 入口給気第2防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A12F 2号 EP盤室(B) 入口給気第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A24F 2号 EP盤室(B) 出口排気第1防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2F-VS-1A32F 2号 EP盤室(B) 出口排気第2防火ダンプ	機能点検	高	39M	—	2 2		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2F-VS-1A42F 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口第1防火ダンパ	機能点検	高	39M	—	2 2		
	2PFD-027 2 B 制御用圧縮機室給気系第1ガス圧連動ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2PFD-028 2 B 制御用圧縮機室排気系第1ガス圧連動ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1D301F 事故後サンプリングエリア給気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2F-VS-1D302F 事故後サンプリングエリア排気防火ダンパ	機能点検	低	39M	—	2 2		
	2号 原子炉建屋 防火扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 原子炉補助建屋 防火扉 40箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 制御建屋 防火扉 7箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 中間建屋 防火扉 28箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 燃料取扱建屋 防火扉 8箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (外部浸水防護設備) (内部浸水防護設備)	2号 海水管ダクト堅坑蓋	外観点検	低	1C	○	2 3		
	2号 原子炉補助建屋 水密扉	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 中間建屋 水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 燃料取扱建屋 堰 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 原子炉補助建屋 管理区域外伝ば防止堰 6箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	2号 燃料取扱建屋 管理区域外伝ば防止堰 4箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	廃棄物処理建屋 管理区域外伝ば防止堰 (1,2号機共用) 5箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備)	2号 床ドレンライン逆止弁 (中間建屋) 1式	分解点検	低	10Y	—	—		定検停止中又はプラント運転中 第20回定検より追加
非常用取水設備 (取水設備)	2号 取水路 1式	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		
	2号 取水ビット	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		
土木建築設備	2号 原子炉建屋 1式	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		
	2号 原子炉補助建屋 (主蒸気管室建屋含む) 1式	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		
	2号 制御建屋 1式	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		
	2号 中間建屋 1式	外観点検	高	1C	○	2 3		
		非破壊試験		3C	○	2 1		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2号 ディーゼル建屋 1式	外観点検	高	1C	○	23		
		非破壊試験		3C	○	21		
	2号 燃料取扱建屋 1式	外観点検	高	1C	○	23		
	廃棄物処理建屋(1,2号機共用) 1式	外観点検	低	1C	○	23		
	2号 屋外タンクエリア防護壁 1式	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
プラント総合全般機器	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用電源設備を除く)	総合性能試験	高	1C	○	23	SN2-55 総合負荷性能検査	定検起動後
竜巻防護設備	2号 屋外タンクエリア竜巻防護ネット	外観点検	低	1C	○	23		
	2号 主蒸気管室建屋竜巻防護ネット	外観点検	低	1C	○	23		
	2号 ディーゼル建屋 水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設(使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ビット水位(SA) 2台	特性試験	高	13M	○	23	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット水位(広域) 4台	特性試験	高	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ビット温度(SA) 2台	特性試験	高	13M	○	23	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット状態監視カメラ 2台	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設(使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ビットスプレイライン集水分岐管送水用 1 2 mホース 2本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイライン集水分岐管送水用 2 2 mホース 4本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイライン使用済燃料ビットスプレイヘッド 送水用6 mホース 3本(予備含む)	外観点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉冷却系統施設(原子炉補機冷却設備)	2 A 可搬型ガスサンプリング冷却器用冷却ポンプ(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
		分解点検		52M	—	22		
		機能・性能試験		1C	○	23		
	2 B 可搬型ガスサンプリング冷却器用冷却ポンプ(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
		分解点検		52M	—	23		
		機能・性能試験		1C	○	23		
	2 C 可搬型ガスサンプリング冷却器用冷却ポンプ(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	第20回定検より追加
		分解点検		52M	○	—		
		機能・性能試験		1C	○	23		
	No. 1 原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	23		
	No. 2 原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	23		
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 4 mフレキシブルホース 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
	原子炉補機海水冷却ライン排水用4 mフレキシブルホース (オス型継手) 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
	原子炉補機海水冷却ライン排水用4 mフレキシブルホース (メス型継手) 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
	可搬型ガスサンプリング冷却器用冷却ポンプ出入口ライン 2 0 mフレキシブルホース(1,2号機共用) 3本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
A ガスサンプリング冷却水屋外放出ライン排水用 4 mフレキシブルホース(1,2号機共用) 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23			
A ガスサンプリング冷却水屋外放出ライン排水用 2 0 mフレキシブルホース(1,2号機共用) 2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設(計測装置)	S A用低圧炉心注入及びスプレイ積算流量	特性試験	高	13M	○	2 3	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	2 A 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量	特性試験	高	13M	○	2 3		
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M	○	2 3		
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M	○	2 3		
	重大事故等対処用入出力盤	特性試験	高	13M	○	2 3		
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M	○	2 3		
計測制御系統施設(工学的安全施設等の作動信号)	多様化自動作動設備(ATWS緩和設備)	特性試験	高	13M	○	2 3	SN2-207 重大事故時安全停止回路機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	2 3		
計測制御系統施設(制御用空気設備)	2 A-1 加圧器逃がし弁用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 A-2 加圧器逃がし弁用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	2 3		
	加圧器逃がし弁用予備窒素ポンプ(A系)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B-1 加圧器逃がし弁用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	2 3		
	2 B-2 加圧器逃がし弁用窒素ポンプ	外観点検	高	1C	○	2 3		
	加圧器逃がし弁用予備窒素ポンプ(B系)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンプ (2V-VS-101B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンプ (2V-VS-102B/103B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ポンプ (2V-VS-105B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンプ (2V-VS-101B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンプ (2V-VS-102B/103B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	アニュラス空気浄化ファン弁用予備窒素ポンプ (2V-VS-105B)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	事故後サンプリング設備弁用窒素ポンプ (2V-SS-676A/679A)	外観点検	高	1C	○	2 3		
	事故後サンプリング設備弁用予備窒素ポンプ (2V-SS-676A/679A)	外観点検	高	1C	○	2 3		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-NM-208 加圧器逃がし弁用(A系)2次側安全弁		取替	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-NM-218 加圧器逃がし弁用(B系)2次側安全弁		取替	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-NM-268 加圧器逃がし弁用2次側安全弁(予備)		取替	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-IA-825 A事故後サンプリングライン隔離弁用制御用空気供給ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-IA-627-2 アニュラス空気浄化ファン弁室供給ライン安全弁 (2V-VS-102B/103B用)		分解点検	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-IA-632-3 アニュラス空気浄化ファン弁室供給ライン安全弁 (2V-VS-101B用)		分解点検	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
2V-IA-1006-2 アニュラス空気浄化ファン弁室供給ライン安全弁 (2V-VS-105B用)		分解点検	低	130M	—	—	SN2-86 1次系安全弁検査	第20回定検より追加
		漏えい試験		10C	—	—		
		機能・性能試験		10C	—	—		
加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 3mフレキシブルホース	3本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
アニュラス空気浄化ファン弁室供給用 10mフレキシブルホース	6本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		
事故後サンプリング設備弁用制御用空気ライン窒素供給用 2.5mフレキシブルホース	2本(予備含む)	外観点検	高	1C	○	23		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設(その他設備)	格納容器水素濃度(1,2号機共用) 3台(予備含む)	特性試験(検出器等)	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
		特性試験		13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)(1,2号機共用) 4台	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力(SA)(1,2号機共用)	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	可搬型計測器(1,2号機共用) 34台	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉容器水位	特性試験	高	13M	○	23	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	アニュラス水素濃度推定用可搬型線量率(1,2号機共用)	特性試験	低	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	A ガスサンプリング圧縮装置(1,2号機共用)	簡易点検	高	26M	○	23		
		分解点検		130M	○	2009年度		
	A ガスサンプリング冷却器(1,2号機共用)	外観点検	高	1C	○	23		
	A 水素サンプリング湿分離器(1,2号機共用)	外観点検	高	1C	○	23		
	2 A 可搬型格納容器水素濃度計測装置接続用6mフレキシブルホース(カップラーカップラ型)(1,2号機共用) 2本	外観点検	高	1C	○	23		
	2 B 可搬型格納容器水素濃度計測装置接続用6mフレキシブルホース(カップラーカップラ型)(1,2号機共用) 2本	外観点検	高	1C	○	23		
	2 A 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置接続用6mフレキシブルホース(フランジカップラ型)(1,2号機共用) 2本	外観点検	高	1C	○	23		
	2 B 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置接続用6mフレキシブルホース(フランジカップラ型)(1,2号機共用) 2本	外観点検	高	1C	○	23		
	2 A 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23		
		分解点検		52M	—	22		
		機能・性能試験		1C	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
	2 B 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23		
		分解点検		52M	—	23		
機能・性能試験		1C		○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査		
2 C 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置(1,2号機共用)	簡易点検	高	13M	○	23			
	分解点検		52M	○	—		第20回定検より追加	
	機能・性能試験		1C	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査		
放射線管理施設(放射線管理用計測装置)	使用済燃料ビット周辺線量率(1,2号機共用) 2台	特性試験	低	13M	○	23	SN2-77 放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設(圧力低減設備)	炉心注入、代替炉心注入及び代替再循環系 充てん/高圧注入ポンプ: 3台 余熱除去ポンプ: 2台 A格納容器スプレイポンプ 常設電動注入ポンプ モード切替弁: 47個 蓄圧注入系 蓄圧タンク: 3基 蓄圧タンク出口弁: 3個	機能・性能試験	高	1C	○	23	SN2-205 その他原子炉注水系機能検査	
	常設電動注入ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	23	SN2-49 原子炉格納容器安全システム分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月) 第20回定検より追加
		分解点検		52M	○	—		
	常設電動注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	23		(振動診断: 1ヶ月) 第20回定検より追加
		分解点検		52M	○	—		
	2A 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		3C	—	23		
	2B 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		3C	—	23		
	2C 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		3C	—	23		
	2D 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		3C	—	23		
	2E 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		3C	—	23		
	電気式水素燃焼装置 13個(予備含む)	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	23	SN2-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	23		
	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
	電気式水素燃焼装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	23	SN2-73 計測制御系監視機能検査	
	2A-VS-001A 2A C/V再循環系第1ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-001B 2B C/V再循環系第1ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-002A 2A C/V再循環系第2ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-002B 2B C/V再循環系第2ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-003A 2A C/V再循環系第3ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-003B 2B C/V再循環系第3ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-004A 2A C/V再循環系第4ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加
	2A-VS-004B 2B C/V再循環系第4ダクト開放機構	機能点検	高	130M	—	—		第20回定検より追加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉施設(その他設備)	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	7年間 10年間	○	23	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-4]	
		漏えい試験							
	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象) 1式	漏えい試験	高	10年間	○	2019年度	SN2-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。[別紙-5] 定検停止中又はプラント運転中	
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	○	23		第20回定検より追加	
		普通点検		39M	—	22			
		精密点検		130M	—	—			SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検
		機能・性能試験		1C	○	23			SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	○	23		第20回定検より追加	
		普通点検		65M	—	23			
		分解点検		130M	—	—			SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検
		機能・性能試験		1C	○	23			SN2-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	外観点検	高	1C	○	23			
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	分解点検	高	130M	—	21		(振動診断:1ヶ月)	
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検	高	52M	—	22		(振動診断:1ヶ月)	
	N o. 2 可搬型直流変換器(1,2号機共用)	普通点検	高	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	N o. 3 可搬型直流変換器(1,2号機共用)	普通点検	高	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	N o. 4 可搬型直流変換器(1,2号機共用)	普通点検	高	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	N o. 6 可搬型直流変換器(1,2号機共用)	普通点検	高	1Y	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	蓄電池(重大事故等対処用)	普通点検	高	13M	○	23			
		機能・性能試験		1C	○	23			SN2-222 直流電源系機能検査 SN2-223 直流電源系作動検査
	可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)(1,2号機共用) 4個(予備含む)	簡易点検	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中	
	重大事故等対処用変圧器盤	普通点検	高	1C	○	23			
	重大事故等対処用変圧器受電盤	普通点検	高	13M	○	23			
号炉間電力融通ケーブル(1,2号機共用)	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	N o . 3 変圧器車 (1,2号機共用)	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 第20回定検より追加	
		開放点検		10Y	—	—			
	N o . 4 変圧器車 (1,2号機共用)	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中 第20回定検より追加	
		開放点検		10Y	—	—			
	可搬型分電盤 (1,2号機共用)	7 個	一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F	○	2019年度		定検停止中又はプラント運転中
	重大事故等対処用直流コントロールセンタ		普通点検	高	65M	—	22		
	2A 直流コントロールセンタ電源盤		普通点検	高	65M	—	22		
	2B 直流コントロールセンタ電源盤		普通点検	高	65M	—	22		
	計装用後備電源装置代替所内電源分電盤		簡易点検	高	1C	○	23		
	代替電源接続盤 (A/B) (1,2号機共用)		簡易点検	高	1C	○	23		
	代替電源接続盤 (D/G)		簡易点検	高	1C	○	23		
	代替電源接続盤 (Cメタクラ)		簡易点検	高	1C	○	23		
	代替電源接続盤 (Dメタクラ) (1,2号機共用)		簡易点検	高	1C	○	23		
	N o . 3 使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム (発電機) (1,2号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	○	2019年度		SN2-73 計測制御系監視機能検査	定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y	—	2017年度			
機能・性能試験		1C		○	23				
N o . 4 使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム (発電機) (1,2号機共用)	簡易点検 (油入替他)	高	1Y	○	2019年度		SN2-73 計測制御系監視機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
	精密点検		4Y	—	2018年度				
	機能・性能試験		1C	○	23				

3. 原子炉規制委員会の内規に従い実施する点検

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検 査 名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉本体 （炉心）	再使用予定の燃料集合体 1 式※	外観点検（最下部支持格子内の 隙間確認）	高	IC	—※※	2 2	—	平成 22・02・03 原院第 3 号（NISA-161a-10-1） ※：漏えい事象に係る知見を踏まえ選定 ※※：A 型高燃焼度 1 7 行 1 7 列型燃料集合体の再使 用予定がないため今回計画なし

4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

なし

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(1)原子炉容器 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)												SAクラス	備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数：17回)													
								17	18	19	20		21	22	23			24			
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーム	水中UT(内面)	100%										100%※2	SA2			
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT(内面)	100%										100%※2	SA2			
		下部胴とトランジションリングの周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT(内面)	100%										100%※2	SA2			
		トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT(内面)	100%										100%※2	SA2			
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1シーム	水中UT(内面)	100%(可能範囲)										100%※2	SA2			
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1シーム	UT	100%(可能範囲)	15%		/	/	/	/	/	/	/		SA2	第18回定検上蓋取替により第19回定検以降対象箇所なし		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)										100%※2	SA2			
		冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)										100%※2	SA2			
B3.20	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	100%(可能範囲)	6箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)										100%※2	SA2			
B5.10	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)										3箇所※2	SA2	UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)		
		PT				A														B	C
		水中UT(内面)				100%(可能範囲)														3箇所	PT
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	8個		10個	10個			10個	10個	10個		SA2	第18回定検上蓋取替		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%(58本)	8本		10本	10本			10本	10本	10本		SA2	第18回定検上蓋取替		
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%(58箇所)(可能範囲)	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所			8箇所	9箇所	9箇所		SA2			
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	8個		10個	10個			10個	10個	10個		SA2	第18回定検上蓋取替		

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NA1-2008を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

※2 原子炉容器の水中UT(内面)及び下部炉心構造物取外し時実施分については、維持規格JSME S NA1-2008のIA-2310(2)に従い、検査間隔を1年間延長し、24回定検にて実施する

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (1)原子炉容器 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)												SAクラス	備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数：17回)										
								17	18	19	20		21	22	23			24
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)										—	第18回定検上蓋取替
		T/Cハジメのクランプ												1組				
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハジメの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%	19箇所(最外周)	PT	最外周の25% (5箇所)	2箇所		1箇所					2箇所		SA2	第18回定検上蓋取替
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	SA2	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中テレビ)	約3年毎に100% (可能範囲)		100%	100%						100%	SA2	
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)	4箇所	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)									100% ※2	SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	内部取付け物 炉心支持構造物															—	
		上部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)			100%							SA2	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)									100% ※2	SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)	6箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)			1箇所					1箇所		SA2	但し、目視可能な範囲とする

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(1)原子炉容器 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)										SAクラス	備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)							
								24	25	26	27	28			
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーム	水中UT (内面)	100%						100%	SA2	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100%						100%	SA2	
		下部胴とトランジションリングの周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100%						100%	SA2	
		トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1シーム	水中UT (内面)	100%						100%	SA2	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジの溶接継手	体積	100% (可能範囲)	1シーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジの溶接継手	体積	100% (可能範囲)	1シーム	UT	100% (可能範囲)	/	/	/	/	/		SA2	第18回定検上蓋取替により第19回定検以降対象箇所なし
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
		冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
B3.20	B-D	冷却材材出入口管台内面の丸みの部分	体積	100% (可能範囲)	6箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)						100%	SA2	
B5.10	B-F	呼び径100A以上の管台とセフェントの溶接継手	体積及び表面											-	
		冷却材入口管台とセフェントの溶接継手		100% (可能範囲)	3箇所	水中UT (内面) PT	100% (可能範囲)			A	B	C	3箇所	SA2	UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象 (亀裂の解釈(※1)対応)
		冷却材出口管台とセフェントの溶接継手		100% (可能範囲)	3箇所	水中UT (内面) PT	100% (可能範囲)		A, B	C		3箇所			
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100% (58個)	12個	12個	12個	11個	11個	SA2		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100% (58本)	12本	12本	12本	11本	11本	SA2	第18回定検上蓋取替	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100% (58箇所) (可能範囲)	12箇所	12箇所	12箇所	11箇所	11箇所	SA2		
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100% (58個)	12個	12個	12個	11個	11個	SA2	第18回定検上蓋取替	

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NA1-2008を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(1)原子炉容器 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)											SAクラス	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:24回)								
								24	25	26	27	28				
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)							—	第18回定検上蓋取替	
		T/Cハジメのクランプ												1組		
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハジメの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%	19箇所(最外周)	PT	最外周の25%(5箇所)			3箇所			2箇所		SA2	第18回定検上蓋取替
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%(可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%(可能範囲)	1基	VT-3(水中テレビ)	約3年毎に100%(可能範囲)			100%			100%		SA2	
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100%(可能範囲)	4箇所	VT-3(水中テレビ)	100%(可能範囲)							100%	SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	内部取付け物 炉心支持構造物													—	
		上部炉心支持構造物	VT-3	100%(可能範囲)	1基	VT-3(水中テレビ)	100%(可能範囲)			100%					SA2	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%(可能範囲)	1基	VT-3(水中テレビ)	100%(可能範囲)							100%	SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%(可能範囲)	6箇所	VT-3	25%(2箇所)(可能範囲)			1箇所			1箇所		SA2	但し、目視可能な範囲とする

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(1) 原子炉容器(3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目 番号	カテ ゴリ	検査の 対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画																								SAクラス	備 考										
					設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	定期検査の回数																															
									12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28															
-	-	冷却材入口管台とセーフティの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	3箇所	UT (垂直)	100% (可能範囲)	7年間	B			3箇所														3箇所				3箇所	SA2	・ISI検査のR/V ISI(水中UT)にて UT(垂直及び縦波斜角)を15回の定期 事業者検査において全数実施。 ・2回目の検査については、検査間 隔内(20回~24回)での延期が可 能な為、24回定検にて実施する。								
									UT (縦波斜角)	3箇所																													3箇所	
						PT	7年間	B						C				A																			C	SA2	・クラス1機器供用期間中検査にて 実施	
						ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	7年間												A																	A	B, C	SA2	・至近2定検での要求に対しては、 15回の定期事業者検査においてUT (垂直、縦波斜角)にて対応。
-	-	冷却材出口管台とセーフティの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	3箇所	UT (垂直)	100% (可能範囲)	5 C			B	C	3箇所																			3箇所	SA2	・ISI検査のR/V ISI(水中UT)にて UT(垂直及び縦波斜角)を15回の定期 事業者検査において全数実施。 ・2回目の検査については、検査間 隔内(20回~24回)での延期が可 能な為、24回定検にて実施する。						
									UT (縦波斜角)	3箇所																														
						PT	7年間			B	C											A															A, B	C	SA2	・クラス1機器供用期間中検査にて 実施
						ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	7年間															A														A, B, C	SA2	・至近2定検での要求に対しては、 15回の定期事業者検査においてUT (垂直、縦波斜角)にて対応。	
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	1 C					1箇所	1箇所	1箇所																						SA2	・第18回定検上蓋取替(690系Ni 基合金化)により第19回定検以 降検査対象外		
		原子炉容器底部の表面	ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	1箇所	ベアメタル 検査	100% (可能範囲)	3.5年間																															SA2	

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(2)加圧器 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)					SAクラス	備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)							
								24	25			26	27	28	
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	1ｼｰム	UT	5%	5%					SA2		
		下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%	1ｼｰム	UT	5%				5%		SA2		
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ｼｰム	UT	10%	(B) 10%		(A) 10%			SA2		
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ｼｰム	UT	10%	(B) 10%			(A) 10%		SA2		
B2.13	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%	1ｼｰム	UT	5%		5%				SA2		
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の 25%	6箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)							—	
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所			1箇所					SA2		
		スプレイ用管台と容器との溶接継手			1箇所								SA2		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			1箇所					1箇所			SA2		
		安全弁用管台と容器との溶接継手			3箇所								SA2		
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	管台数の 25%	6箇所	UT	管台数の 25% (2箇所)							—	
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所				1箇所				SA2		
		スプレイ用管台内面の丸みの部分			1箇所			1箇所					SA2		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			1箇所								SA2		
		安全弁用管台内面の丸みの部分			3箇所								SA2		

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(2)加圧器 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)					SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)						
								24	25			26	27	28
B5.40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエンド [※] の溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	6箇所	溶接継手(管台)数の25%(2箇所)							—	SA2 UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
		サージ用管台とセーフエンド [※] の溶接継手※2			1箇所			UT(垂直)						
								UT(縦波斜角)						
								PT						
		スプレイ用管台とセーフエンド [※] の溶接継手※2			1箇所			UT(垂直)	1箇所					
								UT(縦波斜角)	1箇所					
		逃がし弁用管台とセーフエンド [※] の溶接継手※2			1箇所			PT	1箇所					
								UT(垂直)		1箇所				
		安全弁用管台とセーフエンド [※] の溶接継手※2			3箇所			UT(縦波斜角)			1箇所			
								PT			1箇所			
UT(垂直)				1箇所										
B7.20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	16本	VT-1	100%(16本)						—	SA2
		マンホール取付ボルト									16本			
B8.20	B-H	容器の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	1ヶ所	PT	7.5%						—	SA2
		スカート取付け溶接継手						2.5%	2.5%		2.5%			
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%(可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	SA2	
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	25%(可能範囲)	1箇所	VT-3	25%(1箇所)(可能範囲)					1箇所	SA2	但し、目視可能な範囲とする

※2 第19回定検管台とセーフエンドの溶接継手取替 (690系Ni基合金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(2) 加圧器(3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項 目 番 号	カテ ゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画																								SAクラス	備 考				
					設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	定期検査の回数(起点となる回数：24回)																									
									12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28									
—	—	「レンジ用管台とセーフエンド」の溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT(垂直)	溶接継手(管台)数の25%	7年間				1箇所																SA2	・至近2定検での要求に対しては、軸方向欠陥については14回で実施済、15回では周方向欠陥のみ確認。 ・クラス1機器供用期間中検査にて実施。 ・第19回定検管台取替(690系Ni基合金化)により第20回定検以降検査対象外					
						UT(縦波斜角)			1箇所																							SA2		
						PT																											SA2	
		ベアメタル検査	100%(可能範囲)	3.5年間				1箇所		1箇所		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	SA2							
		UT(垂直)	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	7年間				1箇所						1箇所										1箇所		SA2							
		UT(縦波斜角)				1箇所	1箇所					1箇所														1箇所		SA2						
	PT								1箇所		1箇所		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1箇所		SA2							
	ベアメタル検査	100%(可能範囲)	3.5年間				1箇所		1箇所		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	SA2								
	—	—	「逃がし弁用管台とセーフエンド」の溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT(垂直)	溶接継手(管台)数の25%	7年間			1箇所												1箇所			1箇所	SA2	・至近2定検での要求に対しては、14回で実施済。 ・至近2定検での要求に対しては、14回で実施済。 ・クラス1機器供用期間中検査にて実施。 ・第19回定検管台取替(690系Ni基合金化)により第20回定検以降検査対象外					
							UT(縦波斜角)			1箇所																				1箇所		SA2		
							PT			1箇所																				1箇所		SA2		
		ベアメタル検査	100%(可能範囲)	3.5年間				1箇所		1箇所		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	SA2								
UT(垂直)		溶接継手(管台)数の25%	3箇所	7年間	B	C		A																		SA2								
UT(縦波斜角)							3箇所																				SA2							
PT	B				C																					SA2								
ベアメタル検査	100%(可能範囲)	3.5年間				3箇所		3箇所		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	SA2									

※2 第19回定検管台とセーフエンドの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(3) 蒸気発生器 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)							SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)							
								24	25	26	27			28	
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の周溶接継手	体積	代表1基の25%	1シ-ム/基×3基	UT	代表1基の25%	(C) 5%	(C) 7.5%	(C) 5%	(C) 7.5%		SA2		
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基	UT	代表1基の25% (1箇所)				(C入口) 1箇所		SA2		
B5.70	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%	2箇所/基×3基	UT (垂直)	代表1基の溶接継手数の25% (1箇所)					C 入口		SA2	<ul style="list-style-type: none"> ・UT及びPTにおいてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応) ・超音波探傷試験の代替試験必要箇所 ・第18回定検蒸気発生器入口管台補修実施(690系Ni基合金化)
		UT (縦波斜角)								C 入口					
		PT						C 入口							
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×3基	VT-1	代表1基の50% (16本)						—		
		マンホール取付けボルト								(C入口) 16本			SA2		
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×3基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)				C 1箇所		SA2		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%	3基	ECT	—	—	—	—	—	—	SA2	別要領書により実施	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	SA2		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚へースプレート、基礎ボルト含む)	VT-3	代表1基の25% (可能範囲)	4箇所/基×3基	VT-3	代表1基の25% (1箇所) (可能範囲)				C 1箇所		SA2	但し、目視可能な範囲とする	

注：第22回定検蒸気発生器取替(690系Ni基合金化)

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)
 (4)1次冷却材ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)										SAクラス	備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)								
								24	25	26	27	28				
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部													—	
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%	24本×3台	UT	代表1台の25% (6本)	(C) 2本		(C) 2本	(C) 2本				SA2	
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%	24箇所×3台	VT-1	代表1台の25% (6箇所)					(C) 6箇所			SA2	インターナル分解時に実施
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	各24個×3台	VT-1	代表1台の25% (各6個)					(C) 各6個			SA2	インターナル分解時に実施
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部													—	
		シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%	12本×3台	VT-1	代表1台の100% (12本)			(B) 12本					SA2	
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	3台	VT-3	代表1台の100%					(C) 100%			SA2	インターナル分解時に実施
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%			SA2	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む)	VT-3	代表1台の25% (可能範囲)	3箇所×3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所) (可能範囲)			(C) 1箇所					SA2	但し、目視可能な範囲とする

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(5) 弁 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)					SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)						
								24	25			26	27	28
B6. 210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ボルト, 植込みボルト)	体積	代表1台の25%	4台	UT	代表1台の100%						—	
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B			2台						1台 (001A)	SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B			2台						1台 (003A)	SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加	
B6. 220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (フランジ表面)	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%						—	
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B			2台						1台 (001A)	SA2	分解時に実施	
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B			2台						1台 (003A)	SA2	分解時に実施 RCPB範囲拡大に伴う追加	
B6. 230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ナット, プラッシング, ワッシャ)	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%						—	
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B			2台						1台 (001A)	SA2	分解時に実施	
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B			2台						1台 (003A)	SA2	分解時に実施 RCPB範囲拡大に伴う追加	
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	36台	VT-1	代表1台の100%						—	
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)			2台						1台 (054B)	SA2		
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)			2台				1台 (454C)			SA2	分解時に実施	
		加圧器逃がしライン (2V-RC-053)			1台						1台 (053)	SA2		
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057)			3台						1台 (056)	SA2		
		加圧器スプレライン (2-PCV-454A, 454B)			2台						1台 (454A)	—		
		加圧器補助スプレライン (2V-CS-225)			1台							1台 (225)	—	分解時に実施
		CVCS再生熱交換器胴側入口ライン (2-LCV-451, 452)			2台						1台 (451)	SA2		
		クロスハブレットライン (2V-RC-017)			1台							1台 (017)	SA2	

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(5) 弁 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)										SAクラス	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)							
								24	25	26	27	28			
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	36台	VT-1								—	
		クロスハブゲートライン (2V-RC-019A～C)			3台		代表1台の100%			1台 (019A)				SA2	分解時に実施
		CVCS再生熱交換器出口～RCS低温側充てんライン (2V-CS-228, 229)			2台		代表1台の100%	1台 (228)						SA2	
		SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)			6台		代表1台の100%		1台 (136C)					SA2	
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)			4台		代表1台の100%					1台 (209A)		SA2	
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)			6台		代表1台の100%					1台 (202A)		SA2	
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)			1台		代表1台の100%					1台 (088)		SA2	
B12. 50	B-M-2	弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)	VT-3	代表1台	24台	VT-3								—	
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055～057)			3台		代表1台	1台 (056)					SA2	分解時に実施	
		RHRS高温側出口ライン (2V-RH-001A, 001B)			2台		代表1台				1台 (001A)		SA2	分解時に実施	
		余熱除去ポンプ入口ライン (2V-RH-003A, 003B)			2台		代表1台				1台 (003A)		SA2	分解時に実施 RCPB範囲拡大に伴う追加	
		SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)			6台		代表1台		1台 (136C)				SA2	分解時に実施	
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)			4台		代表1台				1台 (209A)		SA2	分解時に実施	
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)			6台		代表1台				1台 (202A)		SA2	分解時に実施	
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)			1台		代表1台				1台 (088)		SA2	分解時に実施	
B15. 70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	SA2		

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(5) 弁 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)					SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)						
								24	25			26	27	28
F 1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%	28箇所	VT-3	8箇所						—	
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057)			AN:3箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)					1箇所 (055)	SA2	
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)			RH:2箇所 HS:1箇所 MS:1箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)		1箇所 (054A)				SA2	
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)			RH:1箇所 HS:3箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)			1箇所 (455)			SA2	
		加圧器スプレイン (2-PCV-454A, 454B)			RH:1箇所 MS:3箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)				1箇所 (454A)		—	
		加圧器補助スプレイン (2V-CS-225)			RH:1箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)			1箇所 (225)			—	
		CVCS再生熱交換器胴側 入ロライン (2-LCV-451, 452)			RH:2箇所 MS:2箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)					1箇所 (451)	SA2	
		RHRS高温側出ロライン (2V-RH-001A, 001B)			HS:2箇所 MS:2箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)						SA2	1箇所 (001A)
		余熱除去ポンプ入ロライン (2V-RH-003A, 003B)			MS:2箇所 HS:2箇所		支持構造物全数の25% (1箇所)				1箇所 (003A)		SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(6)配管 (1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)					SAクラス	備 考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:24回)							
								24	25			26	27	28	
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3箇所	VT-1	1箇所						—		
		封水注入ライン			3箇所		25% (1箇所)				1箇所			SA2	
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A以上)	体 積	25%	298箇所	UT	78箇所							—	
		一次冷却材管			40箇所		25% (10箇所)	2箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		加圧器サージライン			7箇所		25% (2箇所)	1箇所		1箇所			SA2		
		加圧器安全弁ライン			30箇所		25% (8箇所)	4箇所		1箇所	2箇所	1箇所	SA2		
		加圧器逃がしライン			12箇所		25% (3箇所)	1箇所		1箇所		1箇所	SA2		
		加圧器スプレライン			54箇所		25% (14箇所)	7箇所		2箇所	2箇所	3箇所	—		
		RHRS高温側出口ライン			27箇所		25% (7箇所)	3箇所		1箇所	1箇所	2箇所	SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン			27箇所		25% (7箇所)	4箇所		1箇所	2箇所		SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加	
		SIS蓄圧タンク出口ライン			34箇所		25% (9箇所)	5箇所		1箇所	2箇所	1箇所	SA2		
		SIS高温側低圧注入ライン			19箇所		25% (5箇所)	3箇所			1箇所	1箇所	SA2		
		SIS低温側低圧注入ライン			43箇所		25% (11箇所)	5箇所		2箇所	2箇所	2箇所	SA2		
		SIS高温側補助注入ライン		5箇所		25% (2箇所)	1箇所		1箇所		SA2				
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A未満)	表 面	25%	150箇所	PT	43箇所						—		
		加圧器逃がしライン			16箇所		25% (4箇所)	2箇所		1箇所	1箇所	SA2			
		加圧器補助スプレライン			17箇所		25% (5箇所)	2箇所		1箇所	1箇所	1箇所	—		
		クロスオーバーレグ分岐管閉止キャップ			6箇所		25% (2箇所)	1箇所		1箇所			SA2		
		クロスオーバーレグドレンライン		38箇所		25% (10箇所)	5箇所		1箇所	2箇所	2箇所	SA2			

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(6)配管 (2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)					SAクラス	備 考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:24回)						
								24	25			26	27	28
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表 面	25%	150箇所	PT	43箇所					—		
		CVCS再生熱交換器胴側 入ロライン			4箇所		25% (1箇所)		1箇所			SA2		
		CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライン			14箇所		25% (4箇所)	2箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		封水注入ライン			6箇所		25% (2箇所)	1箇所		1箇所		SA2		
		SISほう酸注入タンク～ RCS低温側注入ライン			17箇所		25% (5箇所)	3箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		SIS高温側補助注入ライン			18箇所		25% (5箇所)	3箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		SIS低温側補助注入ライン			18箇所		25% (5箇所)	2箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		余熱除去ポンプ入ロライン			1箇所		25% (1箇所)			1箇所		SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加	
B 9.31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体 積	25%	11箇所	UT	3箇所					—		
		一次冷却材管			11箇所		25% (3箇所)		1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
B 9.32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表 面	25%	26箇所	PT	9箇所					—		
		一次冷却材管			17箇所		25% (5箇所)	3箇所		1箇所	1箇所	SA2		
		SIS高温側低圧注入ライン			2箇所		25% (1箇所)	1箇所				SA2		
		SIS低温側低圧注入ライン			6箇所		25% (2箇所)	1箇所			1箇所	SA2		
		余熱除去ポンプ入ロライン			1箇所		25% (1箇所)			1箇所		SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加	
B 9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ソケット溶接継手)	表 面	25%	55箇所	PT	17箇所					—		
		一次冷却材管			3箇所		25% (1箇所)			1箇所		SA2		
		加圧器補助スプレライン			1箇所		25% (1箇所)	1箇所				—		
		クロスオーバーレグドレンライン			4箇所		25% (1箇所)	1箇所				SA2		

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(6)配管 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(7年間)					SAクラス	備考							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:24回)										
								24	25			26	27	28				
B 9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ソケット溶接継手)	表面	25%	55箇所	PT	17箇所						—					
		封水注入ライン			25箇所		25% (7箇所)	4箇所		1箇所	1箇所	1箇所	SA2					
		SISほう酸注入タンク～ RCS低温側注入ライン			3箇所		25% (1箇所)	1箇所					SA2					
		SIS高温側補助注入ライン			15箇所		25% (4箇所)	2箇所		1箇所		1箇所	SA2					
		SIS低温側補助注入ライン			3箇所		25% (1箇所)				1箇所		SA2					
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	SA2				
F 1. 10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	338箇所	VT-3	89箇所						—					
		加圧器サーゼライン			IIS:1箇所		支持構造物 全数の25% (2箇所)				1箇所				SA2			
					MS:4箇所													
					RII:1箇所													
		加圧器逃がしライン			SII:1箇所		支持構造物 全数の25% (4箇所)	IIS:3箇所			1箇所						SA2	
					RII:2箇所					1箇所								
					SII:4箇所					1箇所		1箇所						
		加圧器スプレライン			MS:5箇所		支持構造物 全数の25% (15箇所)	IIS:21箇所			3箇所	2箇所		1箇所			—	
					RII:27箇所					3箇所	2箇所	1箇所	1箇所					
					SII:7箇所					1箇所			1箇所					
加圧器補助スプレライン	MS:2箇所	支持構造物 全数の25% (6箇所)	AN:1箇所									—						
	IIS:0箇所						2箇所	1箇所		1箇所								
	RII:14箇所				1箇所													
クロスオーバーレクタドレライン	SII:3箇所	支持構造物 全数の25% (7箇所)	MS:5箇所															
	AN:1箇所																	
	IIS:4箇所					1箇所		1箇所		1箇所		SA2						
	RII:14箇所					2箇所	1箇所		1箇所									
CVCS再生熱交換器側入口 ライン	SII:1箇所	支持構造物 全数の25% (1箇所)	MS:5箇所															
	RII:3箇所					1箇所					SA2							
CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライン	IIS:3箇所	支持構造物 全数の25% (2箇所)	RII:4箇所															
	SII:0箇所					1箇所	1箇所				SA2							

1. クラス1機器供用期間中検査 SN2-1(保全重要度：高)

(6)配管 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)										SAクラス	備考				
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)												
								24	25	26	27	28								
F 1.10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の25%	338箇所	VT-3	89箇所								—					
		封水注入ライン			IS:7箇所		支持構造物 全数の25% (5箇所)		1箇所		1箇所				1箇所		SA2			
					RI:10箇所				1箇所		1箇所									
		RHRS高温側出口ライン			IS:8箇所		支持構造物 全数の25% (3箇所)		1箇所		1箇所							SA2		
					RI:2箇所										1箇所					
					MS:2箇所															
		余熱除去ポンプ入口ライン			MS:3箇所		支持構造物 全数の25% (8箇所)		1箇所										SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加
					IS:11箇所				1箇所					2箇所						
					RI:15箇所				2箇所			2箇所								
		SIS蓄圧タンク出口ライン			SI:1箇所		支持構造物 全数の25% (8箇所)													
					IS:19箇所				3箇所						2箇所				SA2	
		SIS高温側低圧注入ライン			RI:8箇所		支持構造物 全数の25% (4箇所)		1箇所										SA2	
					SI:5箇所				1箇所							1箇所				
		SIS低温側低圧注入ライン			IS:7箇所		支持構造物 全数の25% (7箇所)		1箇所										SA2	
RI:8箇所			1箇所						1箇所											
SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン	IS:15箇所	支持構造物 全数の25% (7箇所)		2箇所										SA2						
	RI:11箇所			2箇所				1箇所												
SIS高温側補助注入ライン	SI:2箇所	支持構造物 全数の25% (7箇所)																		
	IS:6箇所			1箇所						1箇所										
SIS低温側補助注入ライン	RI:17箇所	支持構造物 全数の25% (6箇所)																		
	AN:3箇所																			
	AN:4箇所			1箇所																
SIS高温側補助注入ライン	IS:5箇所	支持構造物 全数の25% (5箇所)		1箇所										SA2						
	RI:13箇所			1箇所					1箇所		1箇所									
SIS低温側補助注入ライン	SI:1箇所	支持構造物 全数の25% (5箇所)																		
	IS:1箇所																			
														SA2						

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)										SAクラス	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：24回)								
								24	25	26	27	28				
—	—	余熱除去ポンプ入口ライン 配管と管台との溶接継手	表面	100%	3箇所	PT	100% (3箇所)								SA2	RCPB範囲拡大に伴う追加

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(1) 余熱除去冷却器 (1/1)

余熱除去冷却器 (管側)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)								
								21	22	23	24			25	26	27
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2.5%		(A) 2.5%			(A) 2.5%		SA2	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%		(A) 2.5%		(A) 2.5%			(A) 2.5%	SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)					(A入口) 1箇所			SA2	

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NA1-2008を適用

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (2)配管 (1/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
								21	22	23	24	25	26			27		
C 3. 20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	58箇所	PT	12箇所								—			
		SIS高温側低圧注入ライン					3箇所	7.5% (1箇所)				1箇所				SA2		
		SIS低温側低圧注入ライン					14箇所	7.5% (2箇所)		1箇所					1箇所	SA2		
		余熱除去冷却器出口ライン					4箇所	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2		
		余熱除去ポンプ 入口ライン					6箇所	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2		
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン					2箇所	7.5% (1箇所)		1箇所						SA2		
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン					3箇所	7.5% (1箇所)							1箇所	SA2		
		SIS高温側補助注入ライン					12箇所	7.5% (1箇所)							1箇所	SA2		
		SIS低温側補助注入ライン					6箇所	7.5% (1箇所)						1箇所		SA2		
		SIS補助注入ライン					1箇所	7.5% (1箇所)								1箇所	SA2	
		SIS低温側ほう酸注入ライン					3箇所	7.5% (1箇所)						1箇所			SA2	
		燃料取替用水タンク出口ライン					4箇所	7.5% (1箇所)						1箇所			SA2	
C 5. 11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)	表面	7.5%	87箇所	PT	7箇所								—			
		余熱除去ポンプ 入口ライン					66箇所	7.5% (5箇所)	1箇所		1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		格納容器再循環ポンプ 出口ライン (RHR)					21箇所	7.5% (2箇所)	1箇所						1箇所	SA2		
		配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)	体積及び表面	7.5%	73箇所	UT・PT	6箇所									—		
SIS高温側低圧注入ライン	13箇所	7.5% (1箇所)										1箇所	SA2					

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (2)配管 (2/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
								21	22	23	24	25	26	27				
C 5.11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)	体積及び表面	7.5%	73箇所	UT・PT	6箇所										—	
		SIS低温側低圧注入ライン			60箇所		7.5% (5箇所)	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	1箇所		SA2		
C 5.21	C-F	配管溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)	表面	7.5%	322箇所	PT	26箇所										—	
		SIS補助注入ライン			13箇所		7.5% (1箇所)		1箇所						SA2			
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン			24箇所		7.5% (2箇所)	1箇所				1箇所			SA2			
		SIS高温側補助注入ライン			132箇所		7.5% (10箇所)	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA2			
		SIS低温側補助注入ライン			86箇所		7.5% (7箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2			
		SIS低温側ほう酸注入ライン			25箇所		7.5% (2箇所)				1箇所				1箇所	SA2		
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン			42箇所		7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所			SA2		
C 5.30	C-F	ソケット溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)	表面	7.5%	62箇所	PT	7箇所									—		
		SIS高温側補助注入ライン			30箇所		7.5% (3箇所)		1箇所			1箇所		1箇所	SA2			
		SIS低温側補助注入ライン			17箇所		7.5% (2箇所)		1箇所				1箇所		SA2			
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン			15箇所		7.5% (2箇所)				1箇所			1箇所	SA2			
F 1.21	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	389箇所	VT-3	38箇所									—		
		SIS補助注入ライン			6箇所 RH 5箇所 AN 1箇所		7.5% (1箇所)						1箇所		SA2			

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (2)配管 (3/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
								21	22	23	24	25	26			27		
F 1. 21	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	389箇所		38箇所										—	
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン			16 箇所	RH	13箇所	7.5% (2箇所)		1箇所					1箇所		SA2	
						HS	1箇所											
						AN	2箇所											
		余熱除去ポンプ 入口ライン			34 箇所	RH	9箇所	7.5% (3箇所)							1箇所		SA2	
						HS	21箇所		1箇所		1箇所							
						SH	4箇所											
		余熱除去ポンプ 出口ライン			32 箇所	RH	12箇所	7.5% (3箇所)								1箇所	SA2	
						HS	17箇所			1箇所		1箇所						
						SH	3箇所											
余熱除去冷却器出口ライン	45 箇所	RH	14箇所	7.5% (4箇所)				1箇所	1箇所				SA2					
		HS	22箇所			1箇所			1箇所									
		SH	7箇所															
		AN	2箇所															
SIS高温側低圧注入ライン	7 箇所	RH	3箇所	7.5% (1箇所)									SA2					
		HS	4箇所					1箇所										

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (2)配管 (4/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
								21	22	23	24	25	26			27		
F 1. 21	F-A	支持構造物			389箇所		38箇所										—	
		SIS高温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	81箇所	RH	72箇所	2箇所			2箇所					3箇所	SA2	
							HS	1箇所										
							AN	8箇所										
		SIS低温側補助注入ライン	VT-3	7.5%	47箇所	RH	40箇所		1箇所			1箇所	1箇所				SA2	
							HS	1箇所										
							AN	6箇所								1箇所		
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%	35箇所	RH	18箇所							1箇所			SA2	
HS	16箇所						1箇所		1箇所									
AN	1箇所																	
SIS低温側ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%	20箇所	RH	15箇所		1箇所					1箇所			SA2			
					HS	1箇所												
					AN	4箇所												
SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン	VT-3	7.5%	29箇所	RH	29箇所		1箇所		1箇所			1箇所	SA2					
格納容器再循環ポンプ 出口ライン (RHR)	VT-3	7.5%	3箇所	RH	3箇所							1箇所	SA2					

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)
 (2)配管 (5/5)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										SAクラス	備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)									
									21	22	23	24	25			26	27	
F 1.21	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	389箇所		VT-3	38箇所									—	
		燃料取替用水タンク出口ライン			30箇所	RH		25箇所			1箇所				1箇所		SA2	
						HS		1箇所										
						AN		4箇所	1箇所									
格納容器スプレイ炉心注入ライン	4箇所	RH	4箇所	7.5% (1箇所)							1箇所		SA2					

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(3) 弁 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)										SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
								21	22	23	24	25	26	27				
F 1.43	F-A	支持構造物			34箇所		11箇所									—		
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン (2V-SI-023A, 023B)			2箇所 RH	2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所 (023A)		SA2	
		余熱除去ポンプ 入口ライン (2V-SI-191A, 191B)			2箇所 RH	2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)		1箇所 (191B)							SA2	
		余熱除去冷却器出口ライン (2-HCV-603, 613)			4箇所 RH HS	2箇所 2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (603)					SA2	
		余熱除去ポンプ 出口ライン (2-FCV-604, 614)			4箇所 RH HS	2箇所 2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (604)					SA2	
		余熱除去冷却器出口ライン (2V-RH-021A, 021B, 024A, 024B)			4箇所 RH HS	2箇所 2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)		1箇所 (021B)							SA2	
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-206)		VT-3	1箇所 RH	1箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (206)						SA2	
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-082, 101, 301, 303)			7箇所 RH HS	6箇所 1箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)					1箇所 (082)				SA2	
		SIS低温側補助注入ライン (2V-SI-094, 302)			4箇所 RH HS	2箇所 2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所 (094)			SA2	
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-197A, 197B)			2箇所 RH	2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)		1箇所 (197B)							SA2	
		SIS低温側ほう酸注入ライン (2V-SI-042A, 042B)			2箇所 RH	2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (042A)					SA2	
		燃料取替用水タンク出口ライン (2-LCV-121D, 121E)			2箇所 RH	2箇所		代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所 (121E)			SA2	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(4) ポンプ (1/1)

余熱除去ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)								
								21	22	23	24	25			26	27
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)							(A) 1箇所	SA2	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所							SA2	

充てん/高圧注入ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)								
								21	22	23	24	25			26	27
C3.30	C-C	ケーシングと支持脚との取付け溶接継手	表面	代表1台の7.5%	4箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)			(A) 1箇所					SA2	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)		(A) 1本					(A) 1本	SA2	
C6.10	C-G	ケーシングと吸込みフランジとの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)				(A) 1箇所				SA2	
		外部ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)					(A) 1箇所			SA2	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							(A) 1箇所	SA2	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (1/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	化学体積 制御系統	体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2								○	SA2		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2							○		SA2		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2				○					SA2		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		C 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2					○				SA2		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		ほう酸注入タンク廻りライン	VT-2							○		SA2		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		冷却材フィルタ及び出入口ライン (VC タンク入口)	VT-2					○				—		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		抽出ライン (1)	VT-2								○	—		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		抽出ライン (2)	VT-2								○	—		
C7.30 C7.70	C-H		抽出ライン (3)	VT-2								○	—		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		A ほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2	●								SA2		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		B ほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2	●								SA2		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A ほう酸ポンプ出口ライン (ほう酸混合 器)	VT-2			●						SA2		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2			●						SA2		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		安全注入 系統	A 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2		●							SA2	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H			B 蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2		●							SA2	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C 蓄圧タンク及び出入口ライン		VT-2				○					SA2		

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (2/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27			
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	RCS充てん安全注入ライン (1)	VT-2						○		SA2		
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (2)	VT-2							○		SA2	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (3)	VT-2							○		SA2	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (4)	VT-2						○			SA2	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (1) (RH R・P)	VT-2					○				SA2	
C7.30 C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (2) (RH R・P)	VT-2					○				SA2	
C7.30 C7.70	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2		●						SA2		
C7.30 C7.70	C-H		B余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2			●					SA2		
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2				○					SA2	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2					○				SA2	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環サンプ出口ライン (1)	VT-2				○					SA2	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環サンプ出口ライン (2)	VT-2						○			SA2	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	燃料取替用水タンク及び出入口ライン	VT-2		●						SA2		
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	#A 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2				○				SA2		
C7.30 C7.70	C-H		#B 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2				○				SA2		
C7.30 C7.70	C-H		格納容器Aスプレイポンプ入口ライン	VT-2		●							SA2	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (3/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)								
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27		
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	格納容器Bスプレイポンプ入口ライン	VT-2		●						SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Aスプレイポンプ出口ライン	VT-2					○			SA2	
C7.10 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン	VT-2				○				SA2	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		よう素除去薬品タンク及び出入口ライン	VT-2		●						—	
C7.30 C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (A)	VT-2			●					—	
C7.30 C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン (B)	VT-2			●					—	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	VT-2			●					SA2
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	B蒸気発生器給水入口ライン		VT-2			●					SA2	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C蒸気発生器給水入口ライン		VT-2			●					SA2	
C7.30 C7.70	C-H	主蒸気及び再熱蒸気系統、再熱蒸気ドレン系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2					○			SA2	
C7.30 C7.70	C-H		B蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2						○		SA2	
C7.30 C7.70	C-H		C蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2							○	SA2	
C7.30 C7.70	C-H	1次冷却材系統	加圧器逃しタンクPMW供給ライン	VT-2		●						—	
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	RCP封水注入戻りライン	VT-2		●						—	
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	蓄圧タンクN2供給ライン	VT-2						○		—	
C7.30 C7.70	C-H		蓄圧タンクテストライン	VT-2				○				—	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (4/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)										
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27				
C7.30	C7.70	C-H	安全注入系統	蓄圧タンク充てんライン	VT-2							○		—	
C7.30	C7.70	C-H	燃料取替用水系統	原子炉キャビティ浄化入口ライン	VT-2	●								—	
C7.30	C7.70	C-H		原子炉キャビティ浄化出口ライン	VT-2							○		—	
C7.30	C7.70	C-H	液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンタンク出口ライン	VT-2				○					—	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器サンプポンプ出口ライン	VT-2	●								—	
C7.30	C7.70	C-H	蒸気発生器ブローダウン及びサンプリング系統	A蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H		B蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H		C蒸気発生器ブローダウンライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H		A蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H		B蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H		C蒸気発生器サンプルライン	VT-2			●						—	
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補給水系統	原子炉補給水ライン (DW)	VT-2							○		—	
C7.30	C7.70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	VT-2							○		—	
C7.30	C7.70	C-H	補助蒸気系統	補助蒸気ライン	VT-2					○				—	
C7.30	C7.70	C-H	消火装置系統	消火装置ライン	VT-2				○					—	
C7.30	C7.70	C-H		R C P CO2消火装置ライン	VT-2				○					—	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (5/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27			
C7.30	C7.70	C-H	1次系サブリング系統	加圧器気相部サンプルライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H		加圧器液相部Bループ高温側サンプルライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H		Cループ高温側サンプルライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H		蓄圧タンク (A・B・C) サンプルライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H	コントローラール空調用冷水系統	制御棒位置指示装置盤冷却ユニット冷却水出口ライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H		制御棒位置指示装置盤冷却ユニット冷却水入口ライン	VT-2	●							—	
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	余剰抽出冷却器冷却水入口ライン	VT-2					○			—	
C7.30	C7.70	C-H		余剰抽出冷却器冷却水出口ライン	VT-2					○			—	
C7.30	C7.70	C-H		一次冷却材ポンプ (A・B・C) 冷却水入口ライン	VT-2						○		—	
C7.30	C7.70	C-H		一次冷却材ポンプ (A・B・C) 冷却水出口ライン	VT-2						○		—	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (A・B) 冷却水入口ライン	VT-2							○	SA2	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (A) 冷却水出口ライン	VT-2							○	SA2	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (B) 冷却水出口ライン	VT-2							○	SA2	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (C・D) 冷却水入口ライン	VT-2						○		—	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (C) 冷却水出口ライン	VT-2						○		—	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (D) 冷却水出口ライン	VT-2						○		—	

2. クラス2機器供用期間中検査 SN2-5(保全重要度：高)

(5) クラス2機器漏えい検査 (6/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								SAクラス	備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数：21回)									
		系統名	ライン名称		21	22	23	24	25	26	27			
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	制御棒駆動装置冷却水入口ライン	VT-2				○				—	
C7.30	C7.70	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン (A)	VT-2		●						—	
C7.30	C7.70	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン (B)	VT-2		●						—	
C7.30	C7.70	C-H		格納容器冷却材ドレン冷却器冷却水出口ライン	VT-2				○				—	
C7.30	C7.70	C-H	制御用空気系統	制御用空気Aヘッダーライン	VT-2					○			SA2	
C7.30	C7.70	C-H		制御用空気Bヘッダーライン	VT-2					○			SA2	
C7.30	C7.70	C-H	1次冷却材系統	加圧器圧力校正ライン	VT-2							○	—	

3. クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査 SN2-99(保全重要度：高)
 クラス2管特別検査(1/1)

項目 番号	カテ ゴリ	検査の 対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所2号機検査計画(10年間)										SAクラス	備 考
					設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:19回)								
								19	20	21	22	23	24	25		
-	-	配管の円周方向溶接部													-	
		抽出ライン	体積	25%	26箇所	UT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	3箇所	-	
		充てんライン	体積	25%	38箇所	UT	25% (10箇所)	2箇所	3箇所		1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA2	
		再生熱交換器連絡管													-	
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所		1箇所		-	
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所		1箇所			1箇所		SA2	

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(1)原子炉容器 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%		
		下部胴とトランジションリングの周溶接継手	体積	100%		
		トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジの溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジの溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
		冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B3.20	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	100% (可能範囲)		
B5.10	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	100% (可能範囲)		
		冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手				100% (可能範囲)
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手				100% (可能範囲)
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%		
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%		
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%		
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%		

※ 平成25年7月以降は維持規格JSME S NA1-2008を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(1)原子炉容器 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 T/Cハジツク [®] のクランプ	VT-1	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
B14.10	B-0	制御棒駆動装置ハジツク [®] の溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)		
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)		
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	内部取付け物 炉心支持構造物				
		上部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
		下部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)		

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)

(1) 原子炉容器 (3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材入口管台とセメントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		冷却材出口管台とセメントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		
		原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	100% (可能範囲)		

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(2)加圧器 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%		
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%		
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%		
B2.13	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%		
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%		
		サージ用管台と容器との溶接継手				
		スプレイ用管台と容器との溶接継手				
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手				
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%		
		サージ用管台内面の丸みの部分				
		スプレイ用管台内面の丸みの部分				
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分				
		安全弁用管台内面の丸みの部分				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(2)加圧器 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B5.40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエント [®] の溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		サージ用管台とセーフエント [®] の溶接継手※2				
		スプレイ用管台とセーフエント [®] の溶接継手※2				
		逃がし弁用管台とセーフエント [®] の溶接継手※2				
		安全弁用管台とセーフエント [®] の溶接継手※2				
B7.20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%		
		マンホール取付ボルト				
B8.20	B-H	容器の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%		
		スカート取付け溶接継手				
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	25%(可能範囲)		

※2 第19回定検管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)

(2) 加圧器 (3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi 基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	サージ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
				100%		
		スプレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
		逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		

※2 第19回定検管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni 基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(3) 蒸気発生器 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備 考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の周溶接継手	体 積	代表1基の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体 積	代表1基の25%		
B5.70	B-F	呼び径100A以上の管台とセフエント [*] の溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%		
		冷却材出入口管台とセフエント [*] の溶接継手				
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1基の25%		
		マンホール取付けボルト				
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表 面	代表1基の7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体 積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚 [*] 、スプレット、基礎 [*] も含む)	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)		

注：第22回定検蒸気発生器取替(690系Ni基合金化)

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセフエントの溶接継手	体積, 表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		冷却材入口管台とセフエントの溶接継手		100%		
		冷却材出口管台とセフエントの溶接継手				

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセフエントの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

蒸気発生器出入口管台溶接部の内表面の点検計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画	備考
-	-	冷却材出口管台とセフエントの溶接継手	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (4)1次冷却材ポンプ (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部			クラス1機器供用期間中検査で管理	
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%		
B6.190	B-G-1	フランジ表面(ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%		
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%		
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部				
		シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む)	VT-3	代表1台の25%(可能範囲)		

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(5) クラス1弁 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B6. 210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ボルト, 植込みボルト)	体 積	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B				
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B				
B6. 220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (フランジ表面)	VT-1	代表1台の25%		
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B				
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B				
B6. 230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 (ナット, プッシュク, ワッシャ)	VT-1	代表1台の25%		
		RHRS高温側出口ライン 2V-RH-001A, 001B				
		余熱除去ポンプ入口ライン 2V-RH-003A, 003B				
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%		
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)				
		加圧器逃がしライン (2V-RC-053)				
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057)				
		CVCS再生熱交換器胴側入口ライン (2-LCV-451, 452)				
クロスハブレットライン (2V-RC-017)						

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (5) クラス1弁 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B 7. 70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ホルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		クロスハブレットライン (2V-RC-019A～C)				
		CVCS再生熱交換器出口～RCS低温側充てんライン (2V-CS-228, 229)				
		SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)				
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)				
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)				
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)				
B12. 50	B-M-2	弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)	VT-3	代表1台		
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055～057)				
		RHRS高温側出口ライン (2V-RH-001A, 001B)				
		余熱除去ポンプ入口ライン (2V-RH-003A, 003B)				
		SIS蓄圧タンク出口ライン (2V-SI-134A～C, 136A～C)				
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)				
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-202A～C, 203A～C)				
SIS高温側補助注入ライン (2V-SI-088)						

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)
 (5) クラス1弁 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F 1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器安全弁ライン (2V-RC-055~057)				
		加圧器逃がしライン (2V-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしライン (2-PCV-454C, 455)				
		CVCS再生熱交換器胴側 入ロライン (2-LCV-451, 452)				
		RHRS高温側出ロライン (2V-RH-001A, 001B)				
		余熱除去ポンプ入ロライン (2V-RH-003A, 003B)				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(6) クラス1配管 (1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		封水注入ライン				
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A以上)	体 積	25%		
		一次冷却材管				
		加圧器メインライン				
		加圧器安全弁ライン				
		加圧器逃がしライン				
		RHRS高温側出口ライン				
		余熱除去ポンプ入口ライン				
		SIS蓄圧タンク出口ライン				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
		SIS高温側補助注入ライン				
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A未満)	表 面	25%		
		加圧器逃がしライン				
		クロスオーバー管分岐管閉止キャップ				
		クロスオーバー管ドレンライン				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(6) クラス1配管 (2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B 9. 21	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		CVCS再生熱交換器胴側 入ロライン				
		CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライン				
		封水注入ライン				
		SISほう酸注入タンク～ RCS低温側注入ライン				
		SIS高温側補助注入ライン				
		SIS低温側補助注入ライン				
		余熱除去ポンプ入ロライン				
B 9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)	体積	25%		
		一次冷却材管				
B 9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)	表面	25%		
		一次冷却材管				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
B 9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ワレット溶接継手)	表面	25%		
		一次冷却材管				
		クロスオーバーレクタートレライン				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(6) クラス1配管 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲				
B 9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ワレット溶接継手)	表面	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理			
		封水注入ライン						
		SISほう酸注入タンク～ RCS低温側注入ライン						
		SIS高温側補助注入ライン						
		SIS低温側補助注入ライン						
F 1.10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%			クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器サージライン						
		加圧器逃がしライン						
		クロスオーバーレクタレンライン						
		CVCS再生熱交換器胴側入口ライン						
		CVCS再生熱交換器出口～ RCS低温側充てんライン						

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度：高)

(6) クラス1配管 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F 1. 10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		封水注入ライン				
		RHRS高温側出口ライン				
		余熱除去ポンプ入口ライン				
		SIS蓄圧タンク出口ライン				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン				
		SIS高温側補助注入ライン				
		SIS低温側補助注入ライン				

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (7年間)	備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
—	—	余熱除去ポンプ入口ライン 配管と管台との溶接継手	表面	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (7)容器(1/1)

余熱除去冷却器(管側)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								備 考					
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数	検 査 方 法	検 査 範 囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)										
								20	21	22	23	24		25	26	27		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%														
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%														

原子炉補機冷却水冷却器(胴側)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								備 考			
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数	検 査 方 法	検 査 範 囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)								
								20	21	22	23	24		25	26	27
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									(A) 7.5%
C1.10	C-A	胴側胴の周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%					(A) 7.5%				
C3.10	C-C	胴と当板脚の溶接継手	表 面	代表1基の7.5%	12箇所×2基	PT	代表1基の7.5% (1箇所)							1箇所		
F1.43	F-A	当板脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×2基	VT-3	代表1基の7.5% (1箇所)							1箇所		

格納容器スプレイ冷却器(管側)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								備 考			
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検 査 方 法	検 査 範 囲	設 備 数	検 査 方 法	検 査 範 囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)								
								20	21	22	23	24		25	26	27
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									(A) 7.5%
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体 積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1シム/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									(A) 7.5%

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(8)配管(1/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備 考			
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)										
								20	21	22	23	24	25	26		27		
C 3.20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器再循環ポンプ 出口ライン(C/Vスプレ)	表 面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所									
		SIS高温側低圧注入ライン			クラス2機器供用期間中検査で管理													
		SIS低温側低圧注入ライン																
		余熱除去冷却器出口ライン																
		余熱除去ポンプ 入口ライン																
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン																
		SISほう酸注入タンク~ RCS低温側注入ライン																
		SIS高温側補助注入ライン																
		SIS低温側補助注入ライン																
		SIS補助注入ライン																
		SIS低温側ほう酸注入ライン																
		燃料取替用水タンク出口ライン																
C 5.11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で 公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器再循環ポンプ 出口ライン(C/Vスプレ)	表 面	7.5%	58箇所	PT	7.5% (5箇所)		1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	1箇所			
		主蒸気逃がしライン			6箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所							
		余熱除去ポンプ 入口ライン			クラス2機器供用期間中検査で管理													
		格納容器再循環ポンプ 出口ライン (RHR)																
配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で 公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SIS高温側低圧注入ライン	体積及び 表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理															
SIS低温側低圧注入ライン																		

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(8)配管(2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備 考				
項 番 目 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)											
								20	21	22	23	24	25	26		27			
C 5.21	C-F	配管溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		SIS補助注入ライン	表 面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理														
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン																	
		SIS高温側補助注入ライン																	
		SIS低温側補助注入ライン																	
		SIS低温側ほう酸注入ライン																	
		SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン																	
SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン																			
C 5.30	C-F	ワレット溶接継手(呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さ5mmを超える溶接継手)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		SIS高温側補助注入ライン	表 面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理														
		SIS低温側補助注入ライン																	
		SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン																	
SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン																			
F 1.21	F-A	支持構造物			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	VT-3	50箇所	AN	13箇所	7.5% (4箇所)				1箇所						
						RH	37箇所			1箇所		1箇所		1箇所					
		格納容器再循環ユニット 海水放出ライン				69箇所	AN	2箇所	7.5% (6箇所)				1箇所						
						MS	8箇所												
						RH	59箇所			2箇所		1箇所			1箇所	1箇所			
		格納容器再循環ユニット 冷却水供給ライン				9箇所	AN	2箇所	7.5% (1箇所)										1箇所
						RH	7箇所												
		格納容器再循環ユニット 冷却水戻りライン				14箇所	AN	2箇所	7.5% (2箇所)										
						RH	12箇所					1箇所			1箇所				

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(8)配管(3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備 考			
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)											
								20	21	22	23	24	25	26	27				
F 1.21	F-A	支持構造物			—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		格納容器再循環ポンプ 出口ライン(C/Vスプレイ)	VT-3	7.5%	25 箇所	HS	11箇所	VT-3	7.5% (2箇所)					1箇所					
						RH	12箇所				1箇所								
						SH	2箇所												
		格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%	34 箇所	HS	10箇所	VT-3	7.5% (3箇所)									1箇所	
						RH	22箇所				1箇所			1箇所					
						SH	2箇所												
		格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	7.5%	27 箇所	HS	5箇所	VT-3	7.5% (3箇所)									1箇所	
						RH	20箇所				1箇所		1箇所						
						SH	2箇所												
常設電動注入ポンプ 出口配管	VT-3	7.5%	36 箇所	RH	36箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所		1箇所			1箇所					
格納容器スプレイ炉心注 入ライン	VT-3	7.5%	4 箇所	RH	4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)								1箇所				
格納容器換気空調ダクト	VT-3	7.5%	36 箇所	RH	36箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		1箇所			1箇所		1箇所					
格納容器スプレイポンプ 定格流量測定ライン	VT-3	7.5%	2 箇所	RH	1箇所	VT-3	7.5% (1箇所)									1箇所			
				HS	1箇所														
主蒸気逃がしライン	VT-3	7.5%	4 箇所	RH	3箇所	VT-3	7.5% (1箇所)							1箇所					
				HS	1箇所														

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(8)配管(4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備 考	
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)								
								20	21	22	23	24	25	26		27
F 1.21	F-A	支持構造物			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		SIS補助注入ライン	VT-3	7.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		充てん/高圧注入ポンプ 出 口ライン														
		余熱除去ポンプ 入口ライン														
		余熱除去ポンプ 出口ライン														
		余熱除去冷却器出口ライン														
		SIS高温側低圧注入ライン														
		SIS高温側補助注入ライン														
		SIS低温側補助注入ライン														
		SIS低温側低圧注入ライン														
		SIS低温側ほう酸注入ライン														
		SISほう酸注入タンク~RCS低 温側注入ライン														
		格納容器再循環ポンプ 出 口ライン (RHR)														
		燃料取替用水タンク出口ライン														
格納容器スプレイ炉心注入ライ ン																

クラス2機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (9)弁(1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備 考				
項 目 番 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)												
								20	21	22	23	24	25	26	27					
F 1.43	F-A	支持構造物			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
		原子炉補機冷却水ライン			2 箇 所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所								
		格納容器再循環ポンプ 出ライン(C/Vスプレイ)			2 箇 所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所							
		格納容器換気空調ダクト (BS-1-700)			6 箇 所	RH	6箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)					1箇所						
		格納容器換気空調ダクト (BS-1-600)			2 箇 所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所								
		格納容器換気空調ダクト (BS-1-300)			2 箇 所	RH	2箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所					
		主蒸気逃がしライン			6 箇 所	RH HS MS	1箇所 4箇所 1箇所	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所							
		充てん/高圧注入ポンプ 出ライン (2V-SI-023A, 023B)																		
		余熱除去ポンプ 入ライン (2V-SI-191A, 191B)																		
		余熱除去冷却器出ライン (2-HCV-603, 613)																		
		余熱除去ポンプ 出ライン (2-FCV-604, 614)																		
		余熱除去冷却器出ライン (2V-RH-021A, 021B, 024A, 024B)																		
		SIS高温側低圧注入ライン (2V-SI-206)																		
		SIS高温側補助注入ライン (2V-SI- 082, 101, 301, 303)																		
		SIS低温側補助注入ライン (2V-SI-094, 302)																		
		SIS低温側低圧注入ライン (2V-SI-197A, 197B)																		
		SIS低温側ほう酸注入ライン (2V-SI-042A, 042B)																		
		燃料取替用水タンク出ライン (2-LCV-121D, 121E)																		

クラス2機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (10)ポンプ(1/2)

余熱除去ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								備 考			
項 番	目 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)							
									20	21	22	23		24	25	26
C6.10		C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
F1.43		F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%											

充てん/高圧注入ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)								備 考			
項 番	目 号	カテ ゴリ	検 査 の 対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)							
									20	21	22	23		24	25	26
C3.30		C-C	ケーシングと支持脚との取 付け溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
C4.30		C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の 7.5%											
C6.10		C-G	ケーシングと吸込みフラン ジとの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%											
			外部ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の 7.5%											
F1.43		F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の 7.5%											

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)
 (10)ポンプ(2/2)

原子炉補機冷却水ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)									
								20	21	22	23	24	25	26		27	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)			1箇所							

格納容器スプレイポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)									
								20	21	22	23	24	25	26		27	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)					1箇所					

常設電動注入ポンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)					川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:20回)									
								20	21	22	23	24	25	26		27	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)									1箇所	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)									備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)									
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27		
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
B15.20	B-P		加圧器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
B15.30	B-P		蒸気発生器	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
B15.60	B-P		一次冷却材ポンプ	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
B15.70	B-P		クラス1弁	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
B15.50	B-P		クラス1配管	VT-2	●	●	●	●	○	○	○	○		
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水供給ライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H		B充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水戻りライン	VT-2		●								
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2									○	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2								○		
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2					○					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		C充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2						○				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		ほう酸注入タンク廻りライン	VT-2								○		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		Aほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●								
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		Bほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●								
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		Aほう酸ポンプ出口ライン (ほう酸混合器)	VT-2				●						
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	Bほう酸ポンプ出口ライン	VT-2				●							

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)									備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)									
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27		
C7.30 C7.70	C-H	使用済燃料ピット浄化冷却系統	使用済燃料ピット補給用給水ライン (1)	VT-2		●								
C7.30 C7.70	C-H		使用済燃料ピット補給用給水ライン (2)	VT-2		●								
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ入口ライン	VT-2			●							
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		常設電動注入ポンプ出口ライン	VT-2				●						
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		燃料取替用水タンク及び出入口ライン	VT-2			●							
C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	A原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	VT-2							○			
C7.30 C7.70	C-H		補助給水ポンプ海水注入ライン	VT-2							○			
C7.30 C7.70	C-H		B原子炉補機冷却水冷却器海水放出ライン	VT-2					○					
C7.30 C7.70	C-H		原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	VT-2								○		
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (A・B) 冷却水入口ライン	VT-2									○	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (A) 冷却水出口ライン	VT-2									○	
C7.30 C7.70	C-H		格納容器再循環ユニット (B) 冷却水出口ライン	VT-2									○	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		原子炉補機冷却水サージタンク及び出口ライン	VT-2									○	
C7.30 C7.70	C-H		原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2									○	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2									○	

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)									備 考					
項目番号	カテゴリ	試 験 対 象 箇 所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)													
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27						
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	# A, # B海水ポンプ出口ライン	VT-2				●									
C7.10 C7.70	C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統	A蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●										
C7.10 C7.70	C7.30 C7.70	C-H		B蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2			●										
C7.10 C7.70	C7.30 C7.70	C-H		C蓄圧タンク及び出入口ライン	VT-2					○								
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (1)	VT-2									○				
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (2)	VT-2											○		
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (3)	VT-2												○	
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (4)	VT-2												○	
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (1) (RH R・P)	VT-2									○				
C7.30	C7.70	C-H		RCS充てん安全注入ライン (2) (RH R・P)	VT-2									○				
C7.30	C7.70	C-H		余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入口ライン	VT-2			●									
C7.30	C7.70	C-H	B余熱除去ポンプ入口ライン		VT-2				●									
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	A余熱除去ポンプ出口ライン		VT-2					○								
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	B余熱除去ポンプ出口ライン		VT-2						○							
C7.30	C7.70	C-H	格納容器再循環サンプ出口ライン (1)		VT-2						○							
C7.30	C7.70	C-H	格納容器再循環サンプ出口ライン (2)		VT-2											○		

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)									備 考
項目番号	カテゴリ	試 験 対 象 箇 所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)								
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.30 C7.70	C-H	格納容器 スプレイ系統	可搬型ポンプ用送水ライン (1)	VT-2				●					
C7.30 C7.70	C-H		可搬型ポンプ用送水ライン (2)	VT-2				●					
C7.30 C7.70	C-H		#A 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2					○				
C7.30 C7.70	C-H		#B 格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-2					○				
C7.30 C7.70	C-H		格納容器Aスプレイポンプ入口ライン	VT-2			●						
C7.30 C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ入口ライン	VT-2			●						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Aスプレイポンプ出口ライン	VT-2						○			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン	VT-2					○				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		主蒸気及び 再熱蒸気系 統、再熱蒸 気ドレン系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2						○		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	B蒸気発生器蒸気出口ライン		VT-2							○		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	C蒸気発生器蒸気出口ライン		VT-2								○	
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン	VT-2				●					
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		B蒸気発生器給水入口ライン	VT-2				●					
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		C蒸気発生器給水入口ライン	VT-2				●					

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(5/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)									備考
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	定期検査の回数(起点となる回数:20回)								
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.10 C7.70	C-H	補助給水 系統	補助給水ポンプ入口ライン	VT-2					○				
C7.30 C7.70	C-H		A電動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		B電動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		タービン動補助給水ポンプ出口ライン	VT-2							○		
C7.30 C7.70	C-H	制御用空 気系統	A事故後サンプリング設備弁用制御用空気ライン	VT-2			●						
C7.30 C7.70	C-H		A加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	VT-2			●						
C7.30 C7.70	C-H		B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	VT-2			●						
C7.30 C7.70	C-H		アニュラス出口弁用制御用空気ライン	VT-2				●					
C7.30 C7.70	C-H		アニュラスよう素フィルタ出入口弁用制御用空気ライン	VT-2				●					
C7.30 C7.70	C-H		アニュラス全量排気弁用制御用空気ライン	VT-2				●					
C7.30 C7.70	C-H		制御用空気Aヘッダーライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		制御用空気Bヘッダーライン	VT-2						○			
C7.30 C7.70	C-H		#A, #B制御用空気圧縮機出口ライン	VT-2								○	
C7.10	C-H		ディーゼル 発電機始動 空気ライン	#Aディーゼル発電機始動空気ライン	VT-2					○			
C7.10	C-H	#Bディーゼル発電機始動空気ライン		VT-2					○				

4.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201(保全重要度:高)

(11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(6/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008(※)				川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)									備 考
項目番号	カテゴリ	試 験 対 象 箇 所		検査方法	定期検査の回数 (起点となる回数:20回)								
		系統名	ライン名称		20	21	22	23	24	25	26	27	
C7.30 C7.70	C-H	換気空調 系統	アニュラス空気浄化ライン	VT-2						○			
C7.30	C-H		中央制御室換気空調ライン	VT-2				●	○	○			
C7.30 C7.70	C-H	1次系サブ リソク系統	事故後サンプリングライン	VT-2					○				

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)

(12) クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)		備考
					設備数	検査範囲	
-	-	配管の円周方向溶接部			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理		
		充てんライン	体積	25%			
		再生熱交換器連絡管					
		充てんライン連絡管	体積	25%			

4. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN2-201 (保全重要度：高)

(13) クラスMC格納容器供用期間中検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第2号機検査計画 (10年間)											備考		
					設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：20回)										
								20	21	22	23	24	25	26	27			
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)	56箇所										

5.重大事故等クラス3機器漏えい検査 SN2-228(保全重要度:高)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008				川内原子力発電所第2号機検査計画(10年間)												備考	
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		検査方法	設備数	検査の年度(起点となる年度:2015)											
		施設名	機器名			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025
D2.10	D-B	原子炉冷却系統施設	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)		V1-2	2				●							
D2.30	D-B		窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 4mフレキシブルホース入口接続口		V1-2	2					●						
D2.10	D-B	計測制御系統施設	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)		V1-2	6						○					
D2.10	D-B		窒素ポンベ(アニュラス空気浄化ファン弁用)		V1-2	6							○				
D2.10	D-B		窒素ポンベ(事故後サンプリング設備弁用)		V1-2	2									○		
D2.30	D-B		窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用3mフレキシブルホース入口接続口		V1-2	3										○	

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等)参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・構造健全性検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査

○また、第25サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形 跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持 規格」(J S M E S N A 1 - 2 0 0 8) に規定され ている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、 目視試験等によって、機器等の内外表面及び内部欠陥 の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定***、 校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認 する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後、定格出力近傍で原子力発電所の 運転を行い、各発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の施設定期検査申請内容(添付書類三、四、五)からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

なし

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（プラントレベル）

No.	項目	変更理由	該当ページ
1	計画外自動・手動停止回数	川内原子力発電所原子炉施設保安規定の変更に伴い、変更した。	2

保全活動管理指標

1. プラントレベル

項目	目標値
計画外自動・手動停止回数	1回／7000 臨界時間未満
計画外出力変動回数	2回／7000 臨界時間未満
工学的安全施設の計画外作動回数	1回未満

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2 A～C 1次冷却材ポンプ	これまで日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に基づき実施する1次冷却材ポンプケーシング内表面等の供用期間中検査の実施頻度に合わせて分解点検頻度を「10年間」としていたが、保全の実績に合わせた点検頻度の表記に見直す。 過去の保全実績(8定検に1回の頻度)から分解点検頻度を「10.4M」へ変更した。	3, 4/131
2	2V-RC-077 2号 PRTガス分析ライン隔離弁(内隔離弁)		5/131
3	2V-BD-003A、B、C 1 A～C S/Gブローダウン第2隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「5.2M」から「6.5M」に変更した。	6, 7/131
4	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 2V-MS-583A、B、C 2 A～C 主蒸気サンプル弁(外隔離弁)		11/131
5	2-FCV-460、470、480 2 A～C 主給水制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	14/131
6	2-FCV-461、471、481 2 A～C 主給水バイパス制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「5.2M」から「6.5M」に変更した。	14/131
7	原子炉冷却系統施設 (余熱除去設備) 2 A、B 余熱除去ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「5.2M」から「6.5M」に変更した。	14/131
8	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 高圧及び低圧注入系 充てん/高圧注入ポンプ 3台 余熱除去ポンプ 2台	2020年4月1日の「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条第1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」については、法令要求でなくなることから項目を削除した。	17/131
9	2号 蓄圧タンク充てんポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「6.5M」から「7.8M」に変更した。	18/131
10	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 冷却材フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	23/131
11	2 A、B 封水注入フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「2.6M」から「3.9M」に変更した。	23/131
12	封水フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	23/131
13	2V-CS-162 2号 CH/SIポンプミニマムフロー元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検頻度を「1.30M」から「1.43M」に変更した。	28/131
14	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 2 A～D 原子炉補機冷却水冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、非破壊試験頻度を「5.2M」から「6.5M」に変更した。	33/131
15	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2 A、B 制御用空気圧縮機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「2.6M」から「3.9M」に変更した。	50/131
16	2 A、B 制御用空気だめ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「7.8M」から「9.1M」に変更した。	50/131

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
17	2 A 1、A 2、B 1、B 2 制御用空気除湿装置吸着塔	過去の点検結果に問題がなかったこと及びメーカー推奨による評価から開放点検頻度を「2.6M」から「3.9M」に変更した。	50/131
18	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器(保護継電器含む) 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計	設備の保守・信頼性向上の観点から、原子炉安全保護盤の取替えを行うこととしており、取替後の機器台数が増えることから、以下のとおり点検計画を変更した。 ・ 1次冷却材等計測装置 伝送器 5.1個 → 6.2個 設定器(保護継電器含む) 1.3.3個 → 1.7.2個 ・ 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 1.3個 → 1.6個	54/131
19	事故時監視計器 指示計	・ 事故時監視計器 指示計 5.1個 → 4.8個	54/131
20	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、B ガス圧縮機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「6.5M」から「7.8M」に変更した。	59/131
21	2 A、B 補助建屋サンプポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「3.9M」から「5.2M」、機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更した。	60/131
22	2 A、B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機		60/131
23	2 A、B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「7.8M」から「9.1M」、機能・性能試験頻度を「6C」から「7C」に変更した。	60/131
24	2 A、B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「3.9M」から「5.2M」、機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更した。	61/131
25	2 A、B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機		61/131
26	放射線管理施設 (換気設備) 2 A、B 格納容器空気浄化ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「6.5M」から「7.8M」に変更した。	73, 74/131
27	2 A、B 格納容器空気浄化ファン用電動機		74/131
28	2 A、B 納容器空気浄化フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	74/131
29	2 A、B 安全補機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「2.6M」から「3.9M」に変更した。	76/131
30	2 A、B 安全補機室給気ファン用電動機		76/131
31	2D-VS-203、204 2 A、B 安全補機室補助建屋側排気ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「6.5M」から「7.8M」に変更した。	76/131
32	2D-VS-301A、B 2 A、B 安全補機室給気ユニット入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「3.9M」から「5.2M」に変更した。	76/131
33	2D-VS-304A、B 2 A、B 安全補機室給気ファン入口ダンパ		77/131

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ	
34	2D-VS-305A、B 2 A、B 安全補機室給気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「3.9M」から「5.2M」に変更した。	77/131	
35	2D-VS-306A、B 2 A、B 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ		77/131	
36	2F-VS-U1088F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	77/131	
37	2F-VS-U1091F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ		77/131	
38	2F-VS-U1092F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第1防火ダンパ		77/131	
39	2F-VS-U1094F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第2防火ダンパ		77/131	
40	2F-VS-U1100F 2 B 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ		77/131	
41	2F-VS-U1106F 2 A 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ		77/131	
42	2F-VS-U1116F 2 B 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ		77/131	
43	2F-VS-U1123F 2 A 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ		77/131	
44	2 A、B 安全補機開閉器室空調ファン		過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「3.9M」から「5.2M」に変更した。	77/131
45	2 A、B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機			77/131
46	2 A、B 安全補機開閉器室空調ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「2.6M」から「3.9M」に変更した。	77/131	
47	2 A、B 中央制御室空調ユニット		79/131	
48	2 A、B 中央制御室非常用循環ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「6.5M」から「7.8M」に変更した。	80/131	
49	2 A、B 中央制御室非常用循環ファン用電動機		80/131	
50	2F-VS-N71F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検頻度を「1.3M」から「2.6M」に変更した。	80/131	
51	2F-VS-N76F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第2防火ダンパ		80/131	
52	2F-VS-N77F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット出口防火ダンパ		80/131	
53	2F-VS-N99F 2 B 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ		80/131	

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
54	2F-VS-N113F 2 A 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	80/131
55	2 A、B 制御用空気圧縮機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	82/131
56	2 A、B 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機		82/131
57	2 A、B 制御用空気圧縮機室排気ファン		82/131
58	2 A、B 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機		82/131
59	2D-VS-431A、B 2 A、B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ		82/131
60	2D-VS-432A、B 2 A、B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	82, 83/131
61	2D-VS-433A、B 2 A、B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ		83/131
62	2D-VS-434A、B 2 A、B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ		83/131
63	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 原子炉格納容器スプレイ系 格納容器スプレイポンプ 2台	2020年4月1日の「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の改正で第五十五条第1項二号及び第五十六条第1項三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」については、法令要求でなくなることから項目を削除した。	86/131
64	2 A、B 格納容器スプレイポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「78M」から「91M」に変更した。	87/131
65	2 C、D 格納容器再循環ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	94/131
66	2 A、B アニュラス空気浄化ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更した。	95/131
67	2 A、B アニュラス空気浄化ファン用電動機		95/131
68	2D-VS-307A、B 2 A、B 安全補機室排気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	97/131
69	2D-VS-308A、B 2 A、B 安全補機室排気ファン出口ダンパ		97/131
70	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映した。	97/131
71	Ni 基合金溶接部 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映した。 なお、ベアメタル検査(原子炉容器底部の表面)については、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」により検査間隔(7年間)の半分の期間(3.5年間)とし、点検計画に反映した	97/131

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
72	蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) A～E 復水脱塩装置脱塩塔	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	108/131
73	2A～D 湿水分離加熱器第1段ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	109/131
74	2A～D 湿水分離加熱器第2段ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	110/131
75	2A、B 湿水分離器ドレンタンク		110/131
76	2A～C 低圧給水加熱器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	110/131
77	2V-BS-731A、B、C 2A～C 低圧第4給水加熱器2A(B、C)逃し弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「39M」から「52M」、機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更すした。	111/131
78	2V-BS-732A、B 2A、B 高圧第6給水加熱器2A(B)逃し弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「26M」から「39M」、機能・性能試験頻度を「2C」から「3C」に変更すした。	111/131
79	2V-CW-219、220、221 A～C 復水ポンプ入口リリーフ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「39M」から「52M」、機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更すした。	112/131
80	2V-FW-012、013 A、B 高圧第6ヒータ入口リリーフ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「26M」から「39M」、機能・性能試験頻度を「2C」から「3C」に変更すした。	112/131
81	2V-FW-121 給水ポンプバイパス管リリーフ弁		112/131
82	2-HCV-3715、3725、3735 2号 T/D AFWP 出口A(B、C)流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	113、114/131
83	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 2A、B シリンダ冷却水ポンプ(機付)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	118/131
84	2A、B 燃料油供給ポンプ(機付)		119/131
85	2A、B 燃料油移送ポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更した。	119/131
86	2A、B 燃料油移送ポンプ用電動機		119/131
87	2A、B 潤滑油冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、非破壊試験頻度を「13M」から「26M」に変更した。	119/131
88	2A、B 清水冷却器		119/131
89	2A、B 燃料弁冷却水冷却器		119/131
90	2A、B 空気圧縮機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	121/131

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
91	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 発電機保護継電装置 主変圧器保護継電装置 所内変圧器保護継電装置 予備変圧器(1,2号機共用)保護継電装置	アナログ型保護継電器からデジタル型保護継電器に更新したことから、当時工務部(現九州電力送配電株式会社)の「発電機保全要則」及び製造メーカーの推奨に基づき、特性試験の点検頻度を「26M」から「6C」に変更した。	123/131
92	起動変圧器(1,2号機共用)		123/131
93	起動変圧器(1,2号機共用)保護継電装置	特高開閉所設備更新工事のひとつとして今回、起動変圧器の運用の停止及び所内電源インターロック改造を実施したことから、当該機器名を削除した。	123/131
94	50ST-110(1,2号機共用)		124/131
95	受電遮断器4-2SC、SD		124/131
96	2C1、2C2、2D1、2D2 原子炉コン トロールセンタ母線(限流リアクトル含む)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、普通点検頻度を「65M」から「78M」に変更した。	125/131
97	火災防護設備 (その他設備) 2F-VS-U1031F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第1 防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更した。	126/131
98	2F-VS-U1036F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第2 防火ダンパ		126/131
99	2F-VS-U1038F、U1047F 2B、C 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気 防火ダンパ		126/131
100	2F-VS-U1055F 2号 ほう酸注入室出口防火ダンパ		126/131
101	2F-VS-U1002F 2号 安全補機室排気系第1防火ダンパ		126/131
102	2F-VS-U1005F 2号 安全補機室排気系第2防火ダンパ		126/131
103	2F-VS-U1017F、U1020F 2A、B C/Vスプレー及び余熱除去冷却器室 出口排気防火ダンパ		126/131
104	2F-VS-U91-1F 2号 安全補機室排気系第3防火ダンパ		126/131

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉施設(その他設備) 重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象) 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、クラス1機器供用期間中検査の対象範囲との重複箇所について、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映した。	6/7

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	2V-SPT-101 2号 使用済燃料ピット水タンクバスキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラットフォーム運転中	
	2V-SPT-102 2号 使用済燃料ピット水タンクバスキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	プラットフォーム運転中	
	2 A 燃料取替用水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	高	2Y	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	プラットフォーム運転中 (振動診断；切替毎)
			分解点検		4Y		
			機能・性能試験		4F		
			簡易点検		1C		
	2 A 燃料取替用水ポンプ用電動機		分解点検	高	3Y	プラットフォーム運転中 (振動診断；切替毎)	
	2 B 燃料取替用水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	高	2Y	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	プラットフォーム運転中 (振動診断；切替毎)
	2 B 燃料取替用水ポンプ	分解点検	4Y				
		機能・性能試験	4F				
簡易点検	1C						
2 B 燃料取替用水ポンプ用電動機		分解点検	高	3Y	プラットフォーム運転中 (振動診断；切替毎)		
2号 燃料取替用水タンク基礎 1式 (土木建築設備)		外観点検	高	1C	プラットフォーム運転中 (振動診断；切替毎)		
原子炉冷却系施設 (一次冷却材の循環設備)	2号 燃料取替用水タンク加熱器	開放点検	低	130M			
	2V-RF-016 2号 RWS T加熱器逃がし弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
		分解点検		130M			
	2RFT1-A 2 A 燃料取替用水タンクバスキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
	2RFT1-B 2 B 燃料取替用水タンクバスキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
	2RFT1-C 2 C 燃料取替用水タンクバスキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査		
	2 A 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	2 B 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M			
2 C 蒸気発生器本体	開放点検 (2次側管板上水洗含む)	高	13M				
2 A 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体種検査			
2 B 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体種検査			
2 C 蒸気発生器伝熱管 3,386本	非破壊試験	高	26M	SN2-6 蒸気発生器伝熱管体種検査			
2 A 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	10H		一部プラットフォーム運転中		
	機能・性能試験	高	1C	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定格起動後		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M		
		分解点検		39M		
		非破壊試験		39M		
	2 B 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C		一部定検起動後
	2 B 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M		
		分解点検		39M		
		非破壊試験		39M		
	2 C 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	104M	SN2-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C		一部定検起動後
	2 C 1次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検 (油入替他)	低	13M		
		分解点検		39M		
		非破壊試験		39M		
	2 A 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	2 B 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	2 C 1次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	26M	SN2-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
	加圧器本体	開放点検	高	13M		
	炉内計装用シンプルチューブ 50本	非破壊試験	高	52M	SN2-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
	2V-RC-055 2号 加圧器A安全弁	分解点検	高	13M	SN2-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査	
機能・性能試験		1C		SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2V-RC-056 2号 加圧器B安全弁	分解点検	高	13M	SN2-10 加圧器安全弁分解検査		
	漏えい試験		1C	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2V-RC-057 2号 加圧器C安全弁	分解点検	高	13M	SN2-10 加圧器安全弁分解検査		
	漏えい試験		1C	SN2-9 加圧器安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	SN2-8 加圧器安全弁機能検査		
2-PCV-454C 2号 加圧器B逃がし弁	駆動部点検	高	52M			
	分解点検		13M	SN2-13 加圧器逃がし弁分解検査		
	漏えい試験		1C	SN2-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	SN2-11 加圧器逃がし弁機能検査		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	2-PCV-455 2号 加圧器A逃がし弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		13M	SN2-13 加圧器逃がし弁分解検査		
		漏えい試験		1C	SN2-12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	SN2-11 加圧器逃がし弁機能検査		
	2V-RC-054A 2号 加圧器A逃がし元弁	簡易点検（クランドバックン取替）	高	65M			
		駆動部点検		130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		1C	SN2-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		電動機分解点検		130M			
	2V-RC-054B 2号 加圧器B逃がし元弁	簡易点検（クランドバックン取替）	高	65M			
		駆動部点検		130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		1C	SN2-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		電動機分解点検		130M			
	2-PCV-454A 2号 加圧器Aスプレイ弁	簡易点検（クランドバックン取替）	高	13M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		26M	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		2C			
	2-PCV-454B 2号 加圧器Bスプレイ弁	簡易点検（クランドバックン取替）	高	13M			
		駆動部点検		52M			
分解点検		26M		SN2-85 1次系弁検査			
機能・性能試験		2C					
2V-RC-077 2号 PRTガス分析ライン隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	65M				
	分解点検		130M				
2V-RC-078 2号 PRTガス分析ライン隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M				
2V-RC-084 2号 加圧器逃がしタンク窒素隔離弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M				
2V-RC-095 2号 加圧器逃がしタンク補給水隔離弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN2-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-RC-088 2号 加圧器逃がしタンク窒素逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	加圧器ヒータ 1式	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	2V-BD-001A 2 A S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-001B 2 B S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-001C 2 C S/Gブローダウン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	52M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-016A 2 A S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-016B 2 B S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-016C 2 C S/Gサンプル隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-033 2号 S/Gブローダウン放射線計出口逃がし弁	取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
漏えい試験		10C				
機能・性能試験		10C				
	2V-BD-045 2号 S/Gブローダウンタンク廃棄物処理系入口逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-BD-003A 2 A S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M		
分解点検		130M				
	2V-BD-003B 2 B S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M		
分解点検		130M				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-BD-003C 2 C S/Gブローダウン第2隔離弁	駆動部点検	高	65M			
		分解点検		130M			
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	2-PCV-3610 2 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		13M	SN2-85 1次系弁検査		
		漏えい試験		1C	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	2-PCV-3620 2 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		13M	SN2-85 1次系弁検査		
		漏えい試験		1C	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	2-PCV-3630 2 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		13M	SN2-85 1次系弁検査		
		漏えい試験		1C	SN2-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	SN2-27 主蒸気逃がし弁機能検査 SN2-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査		
	2-HCV-3615 2 A 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（クランドバックン取替）	高	26M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		52M	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C			
	2-HCV-3625 2 B 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（クランドバックン取替）	高	26M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		52M	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C			
	2-HCV-3635 2 C 主蒸気隔離弁バイパス弁（外隔離弁）	簡易点検（クランドバックン取替）	高	26M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		52M	SN2-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C			
2V-MS-523A 2 A 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検（クランドバックン取替）	高	65M				
	駆動部点検		130M				
	分解点検		130M	SN2-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C				
	電動機分解点検		130M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-MS-620B 2 B T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-MS-575A 2号 T/D AFWP A蒸気元弁	簡易点検 (クランドバックン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
	2V-MS-575B 2号 T/D AFWP B蒸気元弁	簡易点検 (クランドバックン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
	2V-MS-583A 2 A 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (クランドバックン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		130M		
2V-MS-583B 2 B 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (クランドバックン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査		
	駆動部点検		65M			
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機簡易点検		130M			
2V-MS-583C 2 C 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	簡易点検 (クランドバックン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査		
	駆動部点検		65M			
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機簡易点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-FW-520C 2 C 主給水隔離弁（外隔離弁）	簡易点検（クランドバック取替）	高	39M	SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	2-FCV-460 2 A 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
	2-FCV-470 2 B 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
	2-FCV-480 2 C 主給水制御弁	駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
	2-FCV-461 2 A 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M		
		分解点検		52M		
	2-FCV-471 2 B 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M		
		分解点検		52M		
2-FCV-481 2 C 主給水バイパス制御弁	駆動部点検	高	65M			
	分解点検		52M			
原子炉冷却系統施設 (余熱除去設備)	2 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M		
	2 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M		
	2 A 余熱除去ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M		
	2 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		65M		
	2 B 余熱除去ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M		
	2 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		65M		
	2V-RH-021A 2 A RHRS-CH/S1ポンプ連絡弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	2V-RH-005A 2 A RHR S 入口逃がし弁	分解点検	高	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-005B 2 B RHR S 入口逃がし弁	分解点検	高	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-025A 2 A RHR S 低温側入口配管逃がし弁	分解点検	高	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-025B 2 B RHR S 低温側入口配管逃がし弁	分解点検	高	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-010A 2 A RHR ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M			
	2V-RH-010B 2 B RHR ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M			
	2V-RH-033A 2 A RHR ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-033B 2 B RHR ポンプ入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C			
	2V-RH-036 AM用代替再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M			
	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	高压及び低圧注入系 充てん/高压注入ポンプ：3台 余熱除去ポンプ：2台 モータ切替弁：38個 蓄圧注入系 蓄圧タンク：3基	機能・性能試験	高	1C	SN2-16 非常用炉心冷却系機能検査	
		高压及び低圧注入系 充てん/高压注入ポンプ：3台 余熱除去ポンプ：2台	機能・性能試験	高	6ヶ月	SN2-136 運転中主要機器機能検査	プラント運転中
		2 A 充てん/高压注入ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
分解点検			39M				
2 A 充てん/高压注入ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		52M			
2 B 充てん/高压注入ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		39M			
2 B 充てん/高压注入ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		52M			
2 C 充てん/高压注入ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 SN2-203その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		39M			
2 C 充てん/高压注入ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		52M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2号 蓄圧タンク充てんポンプ	簡易点検（油入替他）	低	39M		
		分解点検		78M		
	2号 蓄圧タンク充てんポンプ用電動機	分解点検	低	78M		
	ほう酸注入タンク	開放点検	高	130M		
	2 A 蓄圧タンク	開放点検	高	65M		
	2 B 蓄圧タンク	開放点検	高	65M		
	2 C 蓄圧タンク	開放点検	高	65M		
	2 A 格納容器再循環サンプ	外観点検	高	1C		
	2 B 格納容器再循環サンプ	外観点検	高	1C		
	2 A 格納容器再循環サンプスクリーン	外観点検	高	1C		
	2 B 格納容器再循環サンプスクリーン	外観点検	高	1C		
	2V-SI-023A 2号 ほう酸注入タンク A入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-023B 2号 ほう酸注入タンク B入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	2V-SI-042A 2号 ほう酸注入タンク A出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
2V-SI-042B 2号 ほう酸注入タンク B出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
2V-SI-082 2号 高温側高圧補助注入弁（ほう酸注入タンク側）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		65M			
	電動機分解点検		130M			
2V-SI-094 2号 低温側高圧補助注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		65M			
	電動機分解点検		130M			
2V-SI-101 2号 高温側高圧補助注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		65M			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SI-140B 2 B 蓄圧タンク充てん弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-SI-140C 2 C 蓄圧タンク充てん弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-SI-170A 2 A 蓄圧タンクN2供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-SI-170B 2 B 蓄圧タンクN2供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-SI-170C 2 C 蓄圧タンクN2供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-SI-192A 2 A RHR供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-SI-192B 2 B RHR供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-SI-196A 2 A RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-SI-196B 2 B RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	2V-SI-199A 2 A 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
2V-SI-199B 2 B 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M			
2号 燃料取替用水タンク	開放点検	高	130M			
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備)	化学体積制御系	機能・性能試験	高	1C	SN2-138 化学体積制御系機能検査	
	体積制御タンク	開放点検	高	130M		
	2号 1次系薬品タンク	外観点検	低	1C		
	非再生冷却器	開放点検	高	130M		
	余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M		
	再生熱交換器	外観点検	高	1C		
	封水冷却器	開放点検	高	130M		
	冷却材フィルタ	開放点検	高	26M		
	2 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M		
	2 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M		
	封水フィルタ	開放点検	高	26M		
	2 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C		
	2 B 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C		
	冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C		
	2 A ほう酸除去脱塩塔	外観点検	高	1C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-CS-161C 2 C CH/S I ポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-162 2号 CH/S I ポンプミニマムフロー弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	2V-CS-165A 2 A, 2 B CH/S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-165B 2 B, 2 C CH/S I ポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-166A 2 A, 2 B CH/S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-166B 2 B, 2 C CH/S I ポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CS-213 2号 充てん流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	2V-CS-218 2号 充てんライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断：切替毎)
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	2 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)
		普通点検		39M		
		分解点検		78M		
	2 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M		
		非破壊試験		65M		
	2 B 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M		
		非破壊試験		65M		
	2 C 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M		
		非破壊試験		65M		
	2 D 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検（防食亜鉛板取替他）	高	13M	SN2-92 1次系熱交換器検査	
		開放点検		26M		
		非破壊試験		65M		
	2号 原子炉補機冷却水サージタンク	開放点検	高	65M		
	2CCT1-V-3 2号 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリリーフ弁	取替	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2V-CC-192A 2 A 2 B C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
電動機分解点検		130M				
2V-CC-192B 2 C 2 D C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-PM-558 2号 1次系純水タンクバイパス補給水逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	2V-DW-508 2号 A/B内 2次系純水切替逆止弁	分解点検	低	10Y	SN2-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用バックアップ弁 1台 3. IASヘッダ連絡管ヘッダ隔離弁 2台 4. IAS格納容器隔離弁 2台	機能・性能試験	高	1C	SN2-32 制御用空気圧縮系機能検査	
	2 A 制御用空気圧縮機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	高	13M 26M		(振動診断: 切替毎)
	2 A 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 39M		(振動診断: 切替毎)
	2 B 制御用空気圧縮機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	高	13M 26M		(振動診断: 切替毎)
	2 B 制御用空気圧縮機用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 39M		(振動診断: 切替毎)
	2 A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M		
	2 B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M		
	2 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M		
	2 B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	26M		
	2 A 制御用空気だめ	開放点検	高	91M		
	2 B 制御用空気だめ	開放点検	高	91M		
	2 A 1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2 A 2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2 B 1 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2 B 2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検	高	39M		
	2 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	高	13M 52M		
	2 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M		
	2 B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検 (油入替他) 分解点検	高	13M 52M		
	2 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1. 原子炉保護系ロジック回路 3・4回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 2・8回路	機能・性能試験	高	1C	SN2-33 安全保護系機能検査	
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的 安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行 うためのすべての伝送器、設定器及び保 護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 6・2個 設定器(保護継電器含む) 1・7・2個 (2) 核計装装置 設定器 2・0個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 1・6個 現場指示計 9個 (2) 核計装装置 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	13M	SN2-34 安全保護系設定値確認検査	
	1. パーミットプロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミットプロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック関連)	機能・性能試験	高	1C	SN2-111 安全保護系機能検査(パーミットプロジック検査)	
	事故時監視計器 指示計 4・8個	特性試験	高	13M	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気試料採取設備	機能・性能試験	低	1C		
	2V-SS-648A 自動遠隔試料採取装置2A入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M		
	2V-SS-648B 自動遠隔試料採取装置2B入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	SN2-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	SN2-73 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中
	原子炉、タービンおよび発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	SN2-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子源領域計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	SN2-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計測装置 1式	機能・性能試験	低	1C	SN2-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護盤 (中央盤マルチプレクサ含む) 1式	機能・性能試験	高	1C		
	原子炉保護系計器ラック 1式	特性試験	高	13M		
	安全保護系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		
	原子炉制御系計器ラック 1式	特性試験	高	13M		
	安全保護系シーケンスキャビネット 1式	機能・性能試験	高	1C		
	1次系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		
	換気系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		
	放射線監視盤 1式	特性試験	高	13M		
	制御用空気圧縮機盤 1式	特性試験	高	13M		
	制御用空気除湿装置盤 1式	特性試験	高	13M		
	計装用電源装置(後備電源装置・自動切換器盤・分電盤含む) 1式	機能・性能試験	高	1C		
	ディーゼル発電機盤 1式	特性試験	高	13M		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2-PCV-1174A 2 F ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2-PCV-1174B 2 F ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2-PCV-1175A 2 G ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2-PCV-1175B 2 G ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2-PCV-1176A 2 H ガス減衰タンク圧力調節弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2-PCV-1176B 2 H ガス減衰タンクサンプリング弁	駆動部点検	高	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y		
	2 A ガス圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		52M		
	2 A ガス圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 B ガス圧縮機	簡易点検（油入替他）	低	13M		
		分解点検		52M		
	2 B ガス圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 A ガス圧縮装置封水循環ポンプ	分解点検	低	52M		
	2 B ガス圧縮装置封水循環ポンプ	分解点検	低	52M		
	2 A ガス圧縮装置気水分離器	開放点検	低	13M		
	2 B ガス圧縮装置気水分離器	開放点検	低	13M		
	2 A ガス圧縮装置封水冷却器	開放点検	低	78M		
	2 B ガス圧縮装置封水冷却器	開放点検	低	78M		
2V-GC-007A 2 A ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
2V-GC-007B 2 B ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-WG-040 2号 ガス圧縮装置薬水バージ逆止弁	分解点検	低	130M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2 A 格納容器サンプポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	39M 3C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 A 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 39M 3C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 格納容器サンプポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	39M 3C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 39M 3C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	78M 6C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 52M 4C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	78M 6C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 52M 4C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	91M 7C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 52M 4C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検 機能・性能試験	低	91M 7C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検 分解点検 機能・性能試験	低	1C 52M 4C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	2 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	2 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	2 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
2 A 燃料取扱建屋サンプポンプ	分解点検	低	10V	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	機能・性能試験		10F			
2 A 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		4Y			
	機能・性能試験		4F			
2 B 燃料取扱建屋サンプポンプ	分解点検	低	10V	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	機能・性能試験		10F			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B 格納容器給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		
	2 A 格納容器排気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	2 A 格納容器排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		
	2 B 格納容器排気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	2 B 格納容器排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		
	2 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
	2 B 格納容器給気ユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
	2 A 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		
		機能・性能試験		5C		
	2 B 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		
		機能・性能試験		5C		
	2V-VS-053 2号 格納容器給気外側隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-VS-054 2号 格納容器給気内側隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	2V-VS-061 2号 格納容器排気内側隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
2V-VS-062 2号 格納容器排気外側隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
2V-VS-071 2号 格納容器内作業用排気内側隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
2V-VS-072 2号 格納容器内作業用排気外側隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
2D-VS-063A 2 A 格納容器排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M			
2D-VS-063B 2 B 格納容器排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M			
格納容器再循環装置	機能・性能試験	低	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査		
格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査		
2 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	78M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		78M		
	2 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	78M		
	2 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		78M		
	2 A 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
	2 B 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
	原子炉キャビティ換気装置	機能・性能試験	低	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	2号 キャビティ給気ファン	分解点検	低	52M		
	2号 キャビティ給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		52M		
	2号 キャビティ排気ファン	分解点検	低	52M		
	2号 キャビティ排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		52M		
	事故後サンプリングエリア空調系	機能・性能試験	高	1C	SN2-78 1次系換気空調設備検査	
	A 事故後サンプリングエリア給気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	A 事故後サンプリングエリア給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	B 事故後サンプリングエリア給気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	B 事故後サンプリングエリア給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	A 事故後サンプリングエリア排気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	A 事故後サンプリングエリア排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		プラント運転中
		分解点検		2Y		
	B 事故後サンプリングエリア排気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	B 事故後サンプリングエリア排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		プラント運転中
		分解点検		2Y		
	事故後サンプリングエリアよう素除去フィルタユニット	開放点検	低	26M		
		機能・性能試験		1C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2 B 補助建屋排気ファン		簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		5Y		
2 B 補助建屋排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
2 C 補助建屋排気ファン		簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		5Y		
2 C 補助建屋排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
2 A 補助建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y		プラント運転中
		機能・性能試験		5C		
2 B 補助建屋排気フィルタユニット		開放点検	低	4Y		プラント運転中
		機能・性能試験		5C		
2 A 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y		プラント運転中
2 B 補助建屋給気ユニット		開放点検	低	1Y		プラント運転中
安全補機室空調装置		機能・性能試験	高	1C	SN2-78 1 次系換気空調設備検査	
2 A 安全補機室給気ファン		分解点検	高	39M		
2 A 安全補機室給気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		
		分解点検		39M		
2 B 安全補機室給気ファン		分解点検	高	39M		
2 B 安全補機室給気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		
		分解点検		39M		
2号 安全補機室給気ユニット		開放点検	高	26M		
2 A 安全補機室排気フィルタヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
2 B 安全補機室排気フィルタヒータ		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
2D-VS-203 2 A 安全補機室補助建屋側排気ダンバ		駆動部点検	高	78M		
2D-VS-204 2 B 安全補機室補助建屋側排気ダンバ		駆動部点検	高	78M		
2D-VS-301A 2 A 安全補機室給気ユニット入口ダンバ		駆動部点検	高	52M		
2D-VS-301B 2 B 安全補機室給気ユニット入口ダンバ		駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2D-VS-304A 2 A 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-304B 2 B 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-305A 2 A 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-305B 2 B 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-306A 2 A 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-306B 2 B 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-T408F 2号 安全補機室給気ユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-T414F 2 A 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-T423F 2 A 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-T426F 2 B 安全補機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-T435F 2 B 安全補機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U1088F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1091F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1092F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1094F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1100F 2 B 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1106F 2 A 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1116F 2 B 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1123F 2 A 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2 A 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M		
	2 A 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2 B 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M		
	2 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2 A 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	2 B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	2D-VS-532A 2 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M		
	2D-VS-532B 2 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンパ	駆動部点検	高	39M		
	2D-VS-533A 2 A 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M		
	2D-VS-533B 2 B 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M		
	2 B 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C		
		分解点検		52M		
	2 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	2 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	2D-VS-601A 2 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-601B 2 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-602A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-602B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-607A 2 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-607B 2 B 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-608A 2 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-608B 2 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-609A 2 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-609B 2 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-610A 2 A 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-610B 2 B 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-M72F 2号 1次系継電器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-M75F 2号 1次系継電器室入口給気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-M97F 2号 1次系継電器室入口給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-M134F 2号 中央制御室給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-M503F 2号 運転工具倉庫入口給気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-M511F 2号 運転工具倉庫入口給気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U270F 2号 1次系継電器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U278F 2号 中央制御室入口給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U281F 2号 中央制御室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U284F 2号 中央制御室出口排気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U806F 2号 運転工具倉庫入口給気第3防火ダンパ	機能点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	SN2-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	2 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M		
	2 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M		
	2 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M		
	2 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M		
	2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		1C		
	2D-VS-603A 2 A 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-603B 2 B 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-604A 2 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-604B 2 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-605A 2 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-605B 2 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-606A 2 A 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-606B 2 B 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-611A 2 A 中央制御室通常時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-611B 2 B 中央制御室通常時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-612A 2 A 中央制御室事故時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-612B 2 B 中央制御室事故時放出ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-N71F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第1防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-N76F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-N77F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-N99F 2 B 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-N113F 2 A 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M		
	2 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	2号 ベイラ排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
	2C 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M		
	2C 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2D 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M		
	2D 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2C 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M		
	2C 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2D 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M		
	2D 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2D-VS-411C 2C 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-411D 2D 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-412C 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-412D 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-7142F 2D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-7149F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-7151F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-7161F 2C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第3防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2A 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M		
	2A 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2B 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M		
	2B 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2A 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M		
	2A 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2B 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M		
	2B 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	2D-VS-431A 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-431B 2B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-432A 2A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2D-VS-432B 2 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-433A 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-433B 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-434A 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-434B 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2F-VS-1A176F 2 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-1A199F 2 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-1A153F 2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	廃棄物処理建屋換気空調系	機能・性能試験	低	1F	SN2-78 1次系換気空調設備検査	定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	4Y		定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		4Y		
	B 廃棄物処理建屋給気ファン	分解点検	低	4Y		定検停止中又はプラント運転中
	B 廃棄物処理建屋給気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		4Y		
	A 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y		定検停止中又はプラント運転中
	A 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		4Y		
	B 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y		定検停止中又はプラント運転中
	B 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		4Y		
	C 廃棄物処理建屋排気ファン	分解点検	低	4Y		定検停止中又はプラント運転中
	C 廃棄物処理建屋排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		4Y		
	A オフガス排気ファン	簡易点検（油入替他）	低	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y		
	A オフガス排気ファン用電動機	簡易点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		3Y		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M		
		分解点検(タイミング及び駆動部)		65M		
	アニュラスシール	外観点検	高	1C		
		機能・性能試験		1C		
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M		
	配管貫通部 30個、電線貫通部 53個	漏えい試験	高	1C	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
	燃料移送管	漏えい試験	高	1C	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M		
	原子炉格納容器隔離弁 79個	漏えい試験	高	1C	SN2-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
	2V-PP-005 2号 C/V貫通部加圧試験装置第1安全弁	分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	SN2-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
	2V-PP-009 2号 C/V貫通部加圧試験装置第2安全弁	分解点検	低	130M		
漏えい試験		10C		SN2-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C				
2V-PP-037 2号 C/V貫通部加圧試験装置電線PEN加圧ライン安全弁	分解点検	低	130M			
	漏えい試験		10C	SN2-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C			
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系及び代替原子炉格納容器スプレイ系 格納容器スプレイポンプ: 2台 常設電動注入ポンプ モード切替弁 8個	機能・性能試験	高	1C	SN2-48 原子炉格納容器安全系機能検査	
		原子炉格納容器スプレイ系 格納容器スプレイポンプ 2台		機能・性能試験	6ヶ月	
	2A 格納容器スプレイポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
分解点検	130M	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN2-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検		52M		
		分解点検		91M		
	2 B 格納容器スプレイポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	SN2-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		130M		
	2 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)
		普通点検		52M		
		分解点検		91M		
	2 A 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M		
	2 B 格納容器スプレイ冷却器	開放点検	高	130M		
	2号よう素除去薬品タンク	開放点検	高	130M		
	2CPT1-V-4A よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2CPT1-V-4B よう素除去薬品タンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	130M	SN2-88 1次系真空破壊弁検査	
	2V-CP-001A 2 A スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-CP-001B 2 B スプレイポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
電動機分解点検		130M				
2V-CP-003A 2 A C S S C / V再循環弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			
2V-CP-003B 2 B C S S C / V再循環弁 (外隔離弁)	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-SE-028 氮水分離器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SE-090 廢液回収タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SE-112 倉敷器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SE-131 倉敷器窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SE-138 中間タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SE-157 水サンプル貯留タンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2V-SS-724 ガスサンプルラインN2供給逆止弁	分解点検	低	91M	SN2-87 1次系逆止弁検査	
	2D-SE-128 倉敷器圧力発信器安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	SN2-89 1次系破壊板検査	
	2D-SE-129 倉敷器安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	SN2-89 1次系破壊板検査	
	2D-SE-136 中間タンク安全弁前破壊板	分解点検	低	91M	SN2-89 1次系破壊板検査	
	事故時試料採取装置	外観点検	高	1C		
	2 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M		
	2 A 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		39M		
	2 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M		
	2 B 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		39M		
	2 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M		
	2 C 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		39M		
	2 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M		
	2 D 格納容器再循環ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		39M		
	2 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M		
	2 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M		
	2 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	低	26M		
	2 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	低	26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	SN2-38 アニュラス循環排気系機能検査	
	2 A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	78M		
	2 A アニュラス空気浄化ファン用電動機	簡易点検	高	1C		
		分解点検		78M		
	2 B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	78M		
	2 B アニュラス空気浄化ファン用電動機	簡易点検	高	1C		
		分解点検		78M		
	2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット	開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		2C		
	2 A アニュラス空気浄化フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定）	高	1C		
	2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット	開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		2C		
	2 B アニュラス空気浄化フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定）	高	1C		
	2 A アニュラス空気浄化微粒子除去フィルタユニット	開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		5C		
	2 B アニュラス空気浄化微粒子除去フィルタユニット	開放点検	高	26M		
		機能・性能試験		5C		
	2V-VS-101A 2 A アニュラス出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		
	2V-VS-101B 2 B アニュラス出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		
	2V-VS-102A 2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		
	2V-VS-102B 2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		
	2V-VS-103A 2 A アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		
	2V-VS-103B 2 B アニュラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2号 安全補機室排気フィルタユニット	開放点検	高	26M	SN2-94 1次系換気空調設備検査（換気空調系の分解等）	
		機能・性能試験		1C		
				5C		
	2D-VS-307A 2 A 安全補機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-307B 2 B 安全補機室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-308A 2 A 安全補機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2D-VS-308B 2 B 安全補機室排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	2V-VR-001A 2号 格納容器真空逃がし装置 A 第1弁	作動確認	高	1C	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験		1C		
		分解点検		130M		
	2V-VR-001B 2号 格納容器真空逃がし装置 B 第1弁	作動確認	高	1C	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験		1C		
		分解点検		130M		
	2V-VR-002A 2号 格納容器真空逃がし装置 A 第2弁	作動確認	高	1C	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
機能・性能試験		1C				
分解点検		130M		SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
2V-VR-002B 2号 格納容器真空逃がし装置 B 第2弁	作動確認	高	1C	SN2-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査		
	機能・性能試験		1C			
	分解点検		130M			SN2-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
原子炉施設 (その他設備)	クラス1 機器（供用期間中検査対象）1式	非破壊試験	高	7年間	SN2-1 クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別紙-1】
		漏えい試験		1C		
	Ni 基合金溶接部 1式	非破壊試験	7年間			
		ベアメタル検査	5C			
	クラス2 機器（供用期間中検査対象）1式	非破壊試験	高	10年間	SN2-5 クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別紙-2】
		漏えい試験				
	クラス2 管（原子炉格納容器内）のうち一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統1式	非破壊試験			SN2-99 クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査	ISIプログラムによる。【別紙-3】

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
2 B 復水器真空ポンプ		簡易点検 (クランド'バックン取替他)	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 切替毎)
		分解点検		39M		
機能・性能試験		3C				
2 B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	39M		(振動診断: 切替毎)
2 C 復水器真空ポンプ		簡易点検 (クランド'バックン取替他)	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
2 C 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	39M		(振動診断: 切替毎)
A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査	
B 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査	
C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査	
D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査	
E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	26M	SN2-125 2次系容器検査	
2号 復水フィルタ		開放点検	低	195M		
2号 電動主給水ポンプ		簡易点検 (油入替他)	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		39M		
2号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M		(振動診断: 1ヶ月)
2 A タービン動主給水ポンプ		簡易点検 (ストレナナ清掃他)	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		2C		
2 B タービン動主給水ポンプ		簡易点検 (ストレナナ清掃他)	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		2C		
2 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検 (油入替他)	低	13M	SN2-121 2次系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		2C		
2 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検 (油入替他)	低	13M	SN2-122 2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		2C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術			
	2 A 給水ブースタポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)			
		分解点検		39M					
		機能・性能試験		3C					
	2 A 給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)			
		分解点検		39M					
	2 B 給水ブースタポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M		SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)		
		分解点検		39M					
		機能・性能試験		3C					
	2 B 給水ブースタポンプ用電動機	簡易点検（油入替他）	低	13M		SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)		
		分解点検		39M					
	2 C 給水ブースタポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)	
		分解点検		39M					
		機能・性能試験		3C					
	2 C 給水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	39M			SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)	
	2 A 循環水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M				SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		26M					
		機能・性能試験		2C					
	2 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C				SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
		普通点検		26M					
		分解点検		52M					
2 B 循環水ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査					(振動診断：1ヶ月)
	分解点検		26M						
	機能・性能試験		2C						
2 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN2-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)				
	普通点検		26M						
	分解点検		52M						
2 A 湿分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M						
2 B 湿分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M						
2 C 湿分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M						
2 D 湿分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	低	39M						

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 B 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 C 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 D 湿分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 A 湿分離器ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 B 湿分離器ドレンタンク	開放点検	低	26M		
	2 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M		
	2 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M		
	2 C 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	39M		
	2V-RS-120 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-121 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-122 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-123 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-124 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-125 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-126 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-127 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-128 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	
	2V-RS-129 湿分離器連絡管逃し弁	分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C	SN2-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2V-AS-350A 脱気器A逃し弁	分解点検	低	26M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C		
	2V-AS-350B 脱気器B逃し弁	分解点検	低	26M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C		
	2V-AS-351A 脱気器A逃し弁	分解点検	低	26M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C		
	2V-AS-351B 脱気器B逃し弁	分解点検	低	26M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C		
	2V-BS-730A 2A低圧第3給水加熱器2A逃し弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
	2V-BS-730B 2B低圧第3給水加熱器2B逃し弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
	2V-BS-730C 2C低圧第3給水加熱器2C逃し弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
	2V-BS-731A 2A低圧第4給水加熱器2A逃し弁	分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
	2V-BS-731B 2B低圧第4給水加熱器2B逃し弁	分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
	2V-BS-731C 2C低圧第4給水加熱器2C逃し弁	分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
2V-BS-732A 2A高圧第6給水加熱器2A逃し弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査		
	機能・性能試験		3C			
2V-BS-732B 2B高圧第6給水加熱器2B逃し弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査		
	機能・性能試験		3C			
2V-CW-039 A低圧第1ヒータ入口主復水リリーフ弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査		
	機能・性能試験		3C			
2V-CW-040 B低圧第1ヒータ入口主復水リリーフ弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査		
	機能・性能試験		3C			
2V-CW-041 C低圧第1ヒータ入口主復水リリーフ弁	分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査		
	機能・性能試験		3C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
2V-CW-219 A復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
2V-CW-220 B復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
2V-CW-221 C復水ポンプ入口リリーフ弁		分解点検	低	52M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		4C		
2V-CW-251 グラウンド蒸気復水器出口主復水リリーフ弁		分解点検	低	26M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C		
2V-FW-012 A高圧第6ヒータ入口リリーフ弁		分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
2V-FW-013 B高圧第6ヒータ入口リリーフ弁		分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
2V-FW-121 給水ポンプバイパス管リリーフ弁		分解点検	低	39M	SN2-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		3C		
2V-AS-005A 脱気器加熱蒸気逃がし弁		分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
2V-AS-005B 脱気器加熱蒸気逃がし弁		分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
2V-SC-300 スチームコンバータ安全弁		分解点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
2V-AS-508 2号 補助蒸気圧力調節安全弁		取替	低	130M	SN2-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
補助給水系		機能・性能試験	高	1C	SN2-23 補助給水系機能検査	
2 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M		
2 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M		
2 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	高	13M	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B 電動補助給水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M		
	2号タービン動補助給水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M		
	2号タービン動補助給水ポンプタービン	簡易点検(油入替他)	高	13M	SN2-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	2号復水タンク	開放点検	高	26M		
	2V-FW-574A 2 A 補助給水隔離弁(外隔離弁)	簡易点検(クランクバッキン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-FW-574B 2 B 補助給水隔離弁(外隔離弁)	簡易点検(クランクバッキン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-FW-574C 2 C 補助給水隔離弁(外隔離弁)	簡易点検(クランクバッキン取替)	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
電動機簡易点検		2C				
電動機分解点検		130M				
2-HCV-3715 2号 T/D AFWP 出口A流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		104M			
	機能・性能試験		8C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2-HCV-3725 2号 T/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	2-HCV-3735 2号 T/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	2V-FW-557A 2号 M/D AFWP出口A流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	2V-FW-557B 2号 M/D AFWP出口B流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
電動機簡易点検		2C				
電動機分解点検		130M				
2V-FW-557C 2号 M/D AFWP出口C流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			
2V-DW-100 2 A 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			
2V-DW-102 2 B 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN2-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 B No1,9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No2,10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No3,11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No4,12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No5,13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No6,14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No7,15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B No8,16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー	分解点検	高	104M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 吸気弁 (32台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 吸気弁 (32台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 排気弁 (32台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 排気弁 (32台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 燃料噴射弁 (16台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 B 燃料噴射弁 (16台)	分解点検	高	13M	SN2-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	2 A 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 非常用ディーゼル発電機系統	外観点検	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 潤滑油プライミングポンプ	分解点検	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 潤滑油プライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 潤滑油プライミングポンプ	分解点検	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 潤滑油プライミングポンプ用電動機	分解点検	高	26M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 温水循環ポンプ	分解点検	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 温水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	26M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	52M		
	2 B シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	52M		
	2 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替 他)	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検 (クランドクベック取替他)	高	13M		(振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		39M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M		(振動診断: 1ヶ月)
	2 A 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	52M		
	2 B 燃料油供給ポンプ (機付)	分解点検	高	52M		
	2 A 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	78M		
	2 B 潤滑油ポンプ (機付)	分解点検	高	78M		
	2 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検 (センターリンク他)	高	13M		
		分解点検		78M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	78M		
	2 B 燃料油移送ポンプ	簡易点検 (センターリンク他)	高	13M		
		分解点検		78M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	78M		
	2 A 過給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M		
		分解点検		130M		
	2 B 過給機 (左, 右)	簡易点検 (油入替他)	高	13M		
		分解点検		130M		
	2 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 清水冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 清水冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 燃料弁冷却水冷却器	開放点検	高	13M		
		非破壊試験		26M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	2 A 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	13M		
	2 B 燃料油第1こし器 (2基)	開放点検	高	13M		
	2 A 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	13M		
	2 B 燃料油第2こし器 (2基)	開放点検	高	13M		
	2 A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
	2 B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
	2 A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
	2 B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
	2 A 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M		
		分解点検		39M		
	2 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 B 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M		
		分解点検		39M		
	2 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M		
	2 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 軸受	機能・性能試験	高	1C		
	2 B 軸受	機能・性能試験	高	1C		
	2 A 調速装置	機能・性能試験	高	1C		
	2 B 調速装置	機能・性能試験	高	1C		
	2 A 計測装置	特性試験	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 B 計測装置	特性試験	高	13M	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	2 A 1主始動弁	分解点検	高	13M		
	2 A 2主始動弁	分解点検	高	13M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	1C	SN2-129 蒸気タービン開放検査	
		普通点検		26M		
		精密点検 (内部点検)		78M		
		機能・性能試験 (組立状況)		1C		
	発電機保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		
	励磁機	簡易点検	低	1C		
		普通点検		26M		
		精密点検		78M		
	主変圧器	普通点検 (外部点検、測定試験)	低	1C		
		内部点検		130M		
	主変圧器保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		
	所内変圧器	普通点検 (外部点検、測定試験)	低	1C		
		内部点検		130M		
	所内変圧器保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		
	起動変圧器(1,2号機共用)	普通点検 (外部点検、測定試験)	低	2C		
		内部点検		130M		
	起動変圧器(1,2号機共用)保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		
	予備変圧器(1,2号機共用)	普通点検 (外部点検、測定試験)	低	2C		定検停止中又はプラント運転中
		内部点検		130M		
	予備変圧器(1,2号機共用)保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		定検停止中又はプラント運転中
50-30(1,2号機共用)	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	2C			
	普通点検		3C			
	精密点検 (内部点検)		18Y			
50-40(1,2号機共用)	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	2C			
	普通点検		3C			
	精密点検 (内部点検)		18Y			
50-120	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	1C			
	普通点検		3C			
	精密点検 (内部点検)		18Y			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	50ST-110(1,2号機共用)	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	2C			
		普通点検		3C			
		精密点検 (内部点検)		48M			
	20-50(1,2号機共用)	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	2C		定検停止中又はプラント運転中	
		普通点検		3C			
		精密点検 (内部点検)		18M			
	50T-10(1,2号機共用)	簡易点検 (外部点検、測定試験)	低	2C			
		普通点検		3C			
		精密点検 (内部点検)		18M			
		500kV母線保護継電装置 1式	特性試験	低	6C		
		500kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	6M		
		220kV送電線保護継電装置 1式	特性試験	低	26M		定検停止中又は定検起動後
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-2AEG	普通点検	高	13M			
	遮断器 4-2BEG	普通点検	高	13M			
	6.6kV 4-2C母線	簡易点検	高	1C			
		精密点検		52M			
	6.6kV 4-2C母線PT	普通点検	高	1C			
	6.6kV 4-2D母線	簡易点検	高	1C			
		精密点検		52M			
	6.6kV 4-2D母線PT	普通点検	高	1C			
	受電遮断器 4-2SC	普通点検	高	43M			
	受電遮断器 4-2SD	普通点検	高	43M			
	受電遮断器 4-2HC	普通点検	高	13M			
	受電遮断器 4-2HD	普通点検	高	13M			
	受電遮断器 4-2EC	普通点検	高	13M			
	受電遮断器 4-2ED	普通点検	高	13M			
	遮断器 3-2CH	普通点検	高	13M			
	遮断器 3-2DH	普通点検	高	13M			
	補機用遮断器 4-2C補機 (安全系補機)	普通点検	高	13M			
	補機用遮断器 4-2D補機 (安全系補機)	普通点検	高	13M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	440V 3-2C母線	簡易点検	高	1C		
		精密点検		52M		
	440V 3-2D母線	簡易点検	高	1C		
		精密点検		52M		
	遮断器 3-2CL	普通点検	高	13M		
	遮断器 3-2DL	普通点検	高	13M		
	3-2C 動力変圧器	普通点検	高	1C		
	3-2D 動力変圧器	普通点検	高	1C		
	補機用遮断器 3-2C補機 (安全系補機)	普通点検	高	13M		
	補機用遮断器 3-2D補機 (安全系補機)	普通点検	高	13M		
	2C1 原子炉コントロールセンタ母線 (限流リアクトル含む)	普通点検	高	78M		
	2C2 原子炉コントロールセンタ母線 (限流リアクトル含む)	普通点検	高	78M		
	2D1 原子炉コントロールセンタ母線 (限流リアクトル含む)	普通点検	高	78M		
	2D2 原子炉コントロールセンタ母線 (限流リアクトル含む)	普通点検	高	78M		
	2A ディーゼル発電機コントロールセンタ母線	普通点検	高	65M		
	2B ディーゼル発電機コントロールセンタ母線	普通点検	高	65M		
	2A 直流コントロールセンタ母線	外観点検	高	3C		
	2A 充電器盤	普通点検	高	13M		
	2A 後備充電器盤	普通点検	高	13M		
	2A ドロッパ盤	普通点検	高	13M		
	2A 蓄電池 (安全防護系用)	普通点検 機能・性能試験	高	13M		
				1C	SN2-222 直流電源系機能検査	
				1C	SN2-223 直流電源系作動検査	
	2B 直流コントロールセンタ母線	外観点検	高	3C		
	2B 充電器盤	普通点検	高	13M		
	2B 後備充電器盤	普通点検	高	13M		
	2B ドロッパ盤	普通点検	高	13M		
	2B 蓄電池 (安全防護系用)	普通点検 機能・性能試験	高	13M		
				1C	SN2-222 直流電源系機能検査	
				1C	SN2-223 直流電源系作動検査	
タービン動補助給水ポンプ電動弁盤	普通点検	高	1C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	電動補助給水ポンプ電動弁盤	普通点検	高	1C		
	計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	SN2-112 インバータ機能検査	
	無停電電源装置（照明用） 2台	特性試験	低	26M		
火災防護設備 （消火設備）	水噴霧消火設備（WD/B）	機能・性能試験	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプ用二酸化炭素自動消火設備	機能・性能試験	低	1C		
	ハロン消火設備（選択弁、ポンプ等含む）	機能・性能試験	低	1C		
火災防護設備 （その他設備）	2F-VS-U12F 2 A アニオクス空気浄化よう素除去ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	2F-VS-U26F 2 B アニオクス空気浄化よう素除去ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	2F-VS-U31F 2 A アニオクス空気浄化よう素除去ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	2F-VS-U41F 2 B アニオクス空気浄化よう素除去ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	2F-VS-U1031F 2 A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第1防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1036F 2 A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1038F 2 B 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1047F 2 C 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1055F 2号 ほう酸注入タンク室出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1002F 2号 安全補機室排気系第1防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1005F 2号 安全補機室排気系第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1017F 2 A C/Vスプレー及び余熱除去冷却器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1020F 2 B C/Vスプレー及び余熱除去冷却器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U91-1F 2号 安全補機室排気系第3防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	2F-VS-U1201F 2号 体積制御タンク室排気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U1202F 2号 ベネトレーション室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	2F-VS-U1203F 2号 充てん/高圧注入ポンプバルブ室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	2F-VS-U1204F 2号 A余熱除去冷却器室排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	2F-VS-U1205F 2号 A余熱除去冷却器室排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	2F-VS-U1206F 2号 A余熱除去冷却器室排気第3防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	2F-VS-U1207F 2号 AC/Vスプレー冷却器室排気第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U1208F 2号 AC/Vスプレー冷却器室排気第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U1209F 2号 AC/Vスプレー冷却器室排気第3防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	2F-VS-U279F 2 D 補助給水ポンプ室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉施設（その他設備）	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 1式	非破壊試験	高	7年間 10年間	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。【別紙-4】	
		漏えい試験					
非常用電源設備	重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象） 1式	漏えい試験	高	10年間	SN2-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。【別紙-5】 定検停止中又はアララント運転中	
		簡易点検					
	大容量空冷式発電機ガスタービン	普通点検	機能・性能試験	高	39M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検	
					130M		
					1C		
					1C		
	大容量空冷式発電機	普通点検	機能・性能試験	高	65M	SN2-220 その他非常用発電装置の分解点検	
					130M		
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	外観点検		高	1C		
大容量空冷式発電機用給油ポンプ	分解点検		高	130M		(振動診断：1ヶ月)	
大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検		高	52M		(振動診断：1ヶ月)	
No. 2 可搬型直流変換器 (1,2号機共用)	普通点検		高	1Y		定検停止中又はアララント運転中	
No. 3 可搬型直流変換器 (1,2号機共用)	普通点検		高	1Y		定検停止中又はアララント運転中	
No. 4 可搬型直流変換器 (1,2号機共用)	普通点検		高	1Y		定検停止中又はアララント運転中	
No. 6 可搬型直流変換器 (1,2号機共用)	普通点検		高	1Y		定検停止中又はアララント運転中	
蓄電池（重大事故等対処用）	普通点検	機能・性能試験	高	13M	SN2-222 直高電圧系機能検査 SN2-223 直高電圧系作動検査		
				1C			
可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）（1,2号機共用） 4個（予備含む）	簡易試験		高	1F		定検停止中又はアララント運転中	
重大事故等対処用変圧器盤	普通点検		高	1C			
重大事故等対処用変圧器受電盤	普通点検		高	13M			
号弁間電力融通ケーブル（1,2号機共用）	一般点検（絶縁抵抗測定他）		高	1F		定検停止中又はアララント運転中	

添付書類六 前回の施設定期検査申請内容(添付書類三及び四)についての
評価結果

川内原子力発電所 第2号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類1	分類2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2019.7.1 ～ 2020.1.31	プラントレベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF 2019.7.1 ～ 2020.1.31 UA 2018.1.1 ～ 2020.1.31	系統レベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検報告書等	2019.7.1 ～ 2020.1.31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、定期事業者検査評価・改善報告書等により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（点検計画、補修、取替え及び改造計画への反映）はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2019.7.1 ～ 2020.1.31	不適合・是正処置報告書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（保全方式・点検頻度の変更等）はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価の結果	⑤高経年化技術評価及び安全性向上評価	2019.7.1 ～ 2020.1.31	川内1,2号機の高経年化技術評価（長期保守管理方針）及び安全性向上評価（安全性向上計画等）により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（補修、取替え及び改造計画）として原子炉安全保護盤取替工事及び原子炉容器出口管台溶接部計画保全工事を反映する。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2019.7.1 ～ 2020.1.31	予防処置情報反映事項調査票により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（保全方式・点検頻度の変更等）はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA情報）		
	⑧海外情報		通達等の文書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（補修、取替え及び改造計画）として特定重大事故等対処施設設置工事、常設直流電源設備（3系統目）設置工事、緊急時対策棟設置工事及び原子炉安全保護盤取替工事を反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑨通達等の文書	2019.7.1 ～ 2020.1.31	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑩リスク情報		
g. その他	⑪電力共同研究・技術開発	2019.7.1 ～ 2020.1.31	保全へ反映すべき情報はなかった。
	「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報		

保全方式又は頻度の変更等を行う機器

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
設計基準事故対処設備等			
1	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2V-RC-077 2号 PRTガス分析ライン隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
2	2V-BD-003A、B、C 2A、2B、2C S/Gブローダウン第2隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
3	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 2V-MS-583A、B、C 2A、2B、2C 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
4	2-FCV-460、470、480 2A、2B、2C 主給水制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
5	2-FCV-461、471、481 2A、2B、2C 主給水バイパス制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
6	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 2号 蓄圧タンク充電ポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
7	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 冷却材フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
8	2A、2B 封水注入フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
9	封水フィルタ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
10	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 2A、2B、2C、2D 原子炉補機冷却水冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより非破壊試験頻度を「52M」から「65M」に変更する。	SN2-92 1次系熱交換器検査
11	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A、2B 制御用空気だめ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「78M」から「91M」に変更する。	
12	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2A、2B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「78M」から「91M」に変更する。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
13	放射線管理施設 (換気設備) 2A、2B 格納容器空気浄化ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
14	2A、2B 格納容器空気浄化フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
15	2A、2B 安全補機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
16	2D-VS-203、204 2A、2B 安全補機室補助建屋側排気ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
17	2D-VS-301A、B 2A、2B 安全補機室給気ユニット入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
18	2D-VS-304A、B 2A、2B 安全補機室給気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
19	2D-VS-305A、B 2A、2B 安全補機室給気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
20	2D-VS-306A、B 2A、2B 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
21	2F-VS-U1088F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
22	2F-VS-U1091F 2号 安全補機室排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
23	2F-VS-U1092F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
24	2F-VS-U1094F 2号 安全補機室排気フィルタユニット出口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
25	2F-VS-U1106F、U1100F 2A、2B 安全補機室排気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
26	2F-VS-U1123F、U1116F 2A、2B 安全補機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
27	2A、2B 安全補機開閉器室空調ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
28	2A、2B 安全補機開閉器室空調ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
29	2A、2B 中央制御室空調ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
30	2A、2B 中央制御室非常用循環ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
31	2F-VS-V71F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
32	2F-VS-V76F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
33	2F-VS-V77F 2号 中央制御室非常用循環フィルタユニット出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
34	2F-VS-V113F、N99F 2号 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
35	2A、2B 制御用空気圧縮機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
36	2A、2B 制御用空気圧縮機室排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
37	2D-VS-431A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
38	2D-VS-432A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
39	2D-VS-433A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
40	2D-VS-434A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
41	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 2C、2D 格納容器再循環ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
42	2A、2B アニュラス空気浄化ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
43	2D-VS-307A、B 2A、2B 安全補機室排気ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
44	2D-VS-308A、B 2A、2B 安全補機室排気ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
45	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 2-HCV-3715、3725、3735 2号 T/D AFWP 出口A、B、C流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより駆動部点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
46	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 2A、2B シリンダ冷却水ポンプ (機付)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
47	2A、2B 燃料油供給ポンプ (機付)	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
48	2A、2B 燃料油移送ポンプ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
49	2A、2B 潤滑油冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより非破壊試験頻度を「13M」から「26M」に変更する。	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
50	2A、2B 清水冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより非破壊試験頻度を「13M」から「26M」に変更する。	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
51	2A、2B 燃料弁冷却水冷却器	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより非破壊試験頻度を「13M」から「26M」に変更する。	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
52	2A、2B 空気圧縮機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
53	火災防護設備 (その他設備) 2F-VS-U1031F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
54	2F-VS-U1036F 2A 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
55	2F-VS-U1047F、U1038F 2B、2C 充てん/高圧注入ポンプ室出口排気ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
56	2F-VS-U1055F 2号 ほう酸注入タンク室出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
57	2F-VS-U1002F 2号 安全補機室排気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
58	2F-VS-U1005F 2号 安全補機室排気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
59	2F-VS-U1017F、U1020F 2A、2B C/Vスプレー及び余熱除去冷却器室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
60	2F-VS-U91-1F 2号 安全補機室排気系第3防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24回保全サイクルより機能点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
61	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈及び実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般部溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲へと変更となったことから、第24回保全サイクルより、原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」へと変更する。	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
62	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2V-WL-212 2Aドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	定期検査期間中の点検期間制約及び作業者への負担を考慮し、第24回定期検査にて、ボンネット式逆止弁へ変更することから、参考資料(備考欄)へ取替えることを追記する。	SN2-87 1次系逆止弁検査
63	2V-WE-137 窒素供給逆止弁		SN2-87 1次系逆止弁検査
64	2V-WE-235 窒素供給逆止弁		SN2-87 1次系逆止弁検査
65	2V-WE-127 濃度計プリズム洗浄蒸気逆止弁(2A廃液蒸発装置)		SN2-87 1次系逆止弁検査
66	2V-WE-222 濃度計プリズム洗浄蒸気逆止弁(2B廃液蒸発装置)		SN2-87 1次系逆止弁検査
67	2V-WL-556 2Bドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁		SN2-87 1次系逆止弁検査
68	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とある。このため重大事故等クラス2機器であってクラス1機器については、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから非破壊試験頻度を「7年間」へ変更する。	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
69	Ni 基合金溶接部 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから、非破壊試験頻度を「7年間」へ変更する。 また、ベアメタル検査(原子炉容器底部の表面)については、「亀裂の解釈」により検査間隔(7年間)の半分の期間「3.5年間」へ変更する。	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
70	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 2V-SI-048A 2A ほう酸注入ライン逆止弁(内隔離弁)	第24回定期検査にて弁本体取替を実施することから、補修、取替及び改造計画に反映する。 また、点検計画の参考資料(備考欄)へ取替えることを追記する。	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要弁 分解検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
71	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2A、2B、2C 1次冷却材ポンプ	過去の保全実績(8定検に1回の頻度)から分解点検頻度を「104M」へ変更する。	
72	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) A、B、C、D、E 復水脱塩装置脱塩塔	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	SN2-125 2次系容器検査
73	2A、2B、2C、2D 湿水分離加熱器第1段ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
74	2A、2B、2C、2D 湿水分離加熱器第2段ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
75	2A、2B 湿水分離器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより開放点検頻度を「13M」から「26M」に変更する。	
76	2A、2B、2C 低圧給水加熱器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
77	2V-BS-731A、B、C 2A、B、C低圧第4給水加熱器2A、B、C逃し弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
78	2V-BS-732A、B 2A、2B高圧第6給水加熱器2A(2B)逃し弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
79	2V-CW-219、220、221 A、B、C復水ポンプ入口リリーフ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
80	2V-FW-012、013 A、B高圧第6ヒータ入口リリーフ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
81	2V-FW-121 給水ポンプバイパス管リリーフ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
82	原子炉冷却系統施設 (余熱冷却設備) 2A、2B 余熱除去ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
83	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2号 CH/SI ポンプミニマムフロー元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより電動機分解点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
84	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2 A、2 B 制御用空気圧縮機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
85	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、2 B ガス圧縮機用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
86	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、2 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。 過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更する。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
87	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、2 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。 過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更する。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
88	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、2 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。 過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更する。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
89	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2 A、2 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。 過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより機能・性能試験頻度を「3C」から「4C」に変更する。	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
90	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
91	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 安全補機室給気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
92	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
93	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
94	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
95	放射線管理施設(換気設備) 2 A、2 B 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
96	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 2 A、2 B 格納容器スプレイポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「78M」から「91M」に変更する。	
97	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 2 A、2 B アニユラス空気浄化ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
98	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 2 A、2 B 燃料油移送ポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより分解点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
99	その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備） （その他の電源装置） 2C1、2C2、2D1、2D2 原子炉コントロールセンタ母線（限流リアクトル含む）	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより普通点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	
100	計測制御系統施設 （制御用空気設備） 2A1、2A2、2B1、2B2 制御用空気除湿装置吸着塔	過去の点検結果に問題がなかったこと、及びメーカー推奨による評価から開放点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
101	その他発電用原子炉の附属施設 （常用電源設備） （発電機、変圧器 他） 発電機保護継電装置 主変圧器保護継電装置 所内変圧器保護継電装置 予備変圧器(1,2号機共用) 保護継電装置	当該保護継電装置の継電器をデジタル型に更新したことから、当時工務部（現九州電力送配電株式会社）の「発電機保全要則」及び製造メーカーの推奨に基づき、特性試験の点検頻度を「26M」から「6C」に変更する。	
102	計測制御系統施設 （その他設備） 1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 （1）1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器（保護継電器含む） 2. 重要な指示計器 （1）1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計	設備の保守・信頼性向上の観点から、原子炉安全保護盤の取替えを行うこととしており、取替後の機器台数が増えることから、以下のとおり点検計画を変更する。 1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 （1）1次冷却材等計測装置 伝送器 51個→62個 設定器（保護継電器含む） 133個→172個 2. 重要な指示計器 （1）1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 13個→16個	SN2-34 安全保護系設定値確認検査
103	事故時監視計器 指示計	設備の保守・信頼性向上の観点から、原子炉安全保護盤の取替えを行うこととしており、取替後の機器台数が増えることから、以下のとおり点検計画を変更する。 事故時監視計器 指示計 51個→48個	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査
104	安全保護系シーケンスキャビネット 1式	原子炉安全保護盤取替に伴い、安全保護系シーケンスキャビネットは原子炉安全保護盤に統合することから、参考資料（備考欄）へ取り替えることを追記する。	
105	高圧及び低圧注入系 充てん/高圧注入ポンプ 3台 余熱除去ポンプ 2台	2020年4月1日の「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の改正で第五十五条第1項第二号及び第五十六条第1項第三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」については、法令要求でなくなることから項目を削除する。	SN2-136 運転中主要機器機能検査
106	原子炉格納容器スプレイ系 格納容器スプレイポンプ 2台	2020年4月1日の「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の改正で第五十五条第1項第二号及び第五十六条第1項第三号が削除され、「運転中主要機器機能検査」については、法令要求でなくなることから項目を削除する。	SN2-136 運転中主要機器機能検査
重大事故等対処設備			
1	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリングの周溶接継手 ・トランジションリングと下部鏡板の周溶接継手	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈及び実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈の一部改正に伴い、原子炉容器の一般部溶接継手の試験程度要求量については、全ての溶接継手の試験可能な範囲へと変更となったことから、第24保全サイクルより、原子炉容器溶接継手の検査範囲を「5%」から「100%」へと変更する。	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査
2	重大事故等クラス2機器 （供用期間中検査対象） 1式	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とある。このため重大事故等クラス2機器であってクラス1機器については、次回（第24回）定期検査より第4検査間隔となることから頻度を「7年間」へ変更する。	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

※インプット情報の項目は、添付資料-1の定期的な評価のインプット分類2と対応（但し、「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報については、「その他」とする）

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目※	事象の概要	
	なし						

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
1	原了炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2V-RC-077 2号 PRTガス分析ライン隔離弁 (内隔離弁)	駆動部点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	
2	2V-BD-003A、B、C 2A、2B、2C S/Gブロードワ ン第2隔離弁	駆動部点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	
3	原了炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 2V-MS-583A、B、C 2A、2B、2C 主蒸気サンプル弁 (外隔離弁)	駆動部点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	
4	2-FCV-460、470、480 2A、2B、2C 主給水制御弁	駆動部点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
5	2-FCV-461、471、481 2A、2B、2C 主給水バイパス制 御弁	駆動部点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	
6	原了炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他 原了炉注水設備) 2号 蓄圧タンク充てんポン プ	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	
7	原了炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 冷却材フィルタ	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
8	2A、2B 封水注入フィルタ	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「26M」から「39M」に変更す る。	①	
9	封水フィルタ	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
10	原了炉冷却系統施設 (原了炉補機冷却水設備) 2A、2B、2C、2D 原了炉補機冷却水冷却器	非破壊試験 試験頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより試験頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	SV2-92 1次系熱交換器検査
11	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A、2B 制御用空気ため	開放点検 点検頻度	78M	91M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「78M」から「91M」に変更す る。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
12	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備)	分解点検 点検頻度	78M	91M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「78M」から「91M」に変更す る。	①	
	2A、2B 補助建屋機器ドレンタンクポン プ	機能・性能試験 試験頻度	6C	7C					
13	放射線管理施設 (換気設備)	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	
14	2A、2B 格納容器空気浄化 フィルタユニット	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
15	2A、2B 安全補機室給気ファン	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「26M」から「39M」に変更す る。	①	
16	2D-VS-203、204 2A、2B 安全補機室補助建屋側 排気ダンパ	駆動部点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	
17	2D-VS-301A、B 2A、2B 安全補機室給気ユニ ット入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
18	2D-VS-304A、B 2A、2B 安全補機室給気ファン 入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
19	2D-VS-305A、B 2A、2B 安全補機室給気ファン 出口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
20	2D-VS-306A、B 2A、2B 安全補機室排気フィル タユニット入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
21	2F-VS-U108SF 2号 安全補機室排気フィル タユニット入口第1防火ダン パ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
22	2F-VS-U1091F 2号 安全補機室排気フィル タユニット入口第2防火ダン パ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
23	2F-VS-U1092F 2号 安全補機室排気フィル タユニット出口第1防火ダン パ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
24	2F-VS-U1094F 2号 安全補機室排気フィル タユニット出口第2防火ダン パ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討すること とした。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
25	2F-VS-U1100F、U1100F 2A、2B 安全補機室排気ファン 入口防火ダンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
26	2F-VS-U1123F、U1116F 2A、2B 安全補機室排気ファン 出口防火ダンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
27	2A、2B 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
28	2A、2B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「26M」から「39M」に変更す る。	①	
29	2A、2B 中央制御室空調ユニット	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「26M」から「39M」に変更す る。	①	
30	2A、2B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	
31	2F-VS-V71F 2号 中央制御室非常用循環 フィルタユニット入口第1防火 ダンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
32	2F-VS-V76F 2号 中央制御室非常用循環 フィルタユニット入口第2防火 ダンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
33	2F-VS-V77F 2号 中央制御室非常用循環 フィルタユニット出口防火ダ ンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
34	2F-VS-V113F、N99F 2号 中央制御室非常用循環 ファン出口防火ダンパ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
35	2A、2B 制御用空気圧縮機室給 気ファン	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
36	2A、2B 制御用空気圧縮機室排 気ファン	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
37	2D-VS-431A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室給 気ファン入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
38	2D-VS-432A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室給 気ファン出口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
39	2D-VS-433A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機 室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
40	2D-VS-434A、B 2A、2B 制御用空気圧縮機室排 気ファン出口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
41	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全 設備) 2C、2D 格納容器再循環ユニッ ト	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
42	2A、2B アンユラス空気浄化 ファン	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	
43	2D-VS-307A、B 2A、2B 安全補機室排気ファン 入口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
44	2D-VS-308A、B 2A、2B 安全補機室排気ファン 出口ダンパ	駆動部点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
45	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給 水ポンプ及び貯水設備並びに 給水処理設備) 2-HCV-3715、3725、3735 2号 T/D AFWP 出口A、 B、C流量制御弁	駆動部点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「52M」から「65M」に変更す る。	①	
46	その他発電用原子炉の附属施 設 (非常用電源設備) 2A、2B シリダ冷却水ポンプ (機付)	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
47	2A、2B 燃料油供給ポンプ(機 付)	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「39M」から「52M」に変更す る。	①	
48	2A、2B 燃料油移送ポンプ	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「65M」から「78M」に変更す る。	①	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
49	2A、2B 潤滑油冷却器	非破壊試験 試験頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより試験頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
50	2A、2B 清水冷却器	非破壊試験 試験頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより試験頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査
51	2A、2B 燃料弁冷却水冷却器	非破壊試験 試験頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより試験頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	SN2-134 非常用予備発電機付属設備検査

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
52	2A、2B 空気圧縮機	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「26M」から「39M」に変更す る。	①	SN2-134 非常用予備発電機付風設備検査
53	火災防護設備 (その他設備) 2F-VS-U1031F 2A 充てん/高圧注入ポンプ 室出口排気第1防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
54	2F-VS-U1036F 2A 充てん/高圧注入ポンプ 室出口排気第2防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
55	2F-VS-U1047F、U1038F 2B、2C 充てん/高圧注入ポ ンプ室出口排気ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
56	2F-VS-U1055F 2号 ほう酸注入タンク室出 口防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
57	2F-VS-U1002F 2号 安全補機室排気系第1 防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
58	2F-VS-U1005F 2号 安全補機室排気系第2 防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
59	2F-VS-U1017F、U1020F 2A、2B C/Vスプレイ及び余熱 除去冷却器室出口排気防火ダ ンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
60	2F-VS-U91-1F 2号 安全補機室排気系第3 防火ダンバ	機能点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこと 及び過去にトラブルがなかったこと 等を総合的に評価した結果、第2 4回保全サイクルより点検頻度を 「13M」から「26M」に変更す る。	①	
61	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査 対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリ ングの周溶接継手 ・トランジションリングと下 部鏡板の周溶接継手	検査範囲	5%	100%	「適達等の文 書」 「その他」	実用発電用原子炉及びその附属施 設の技術基準に関する規則の解釈及 び実用発電用原子炉及びその附属施 設における破壊を引き起こす亀裂そ 他の欠陥の解釈の一部改正に伴 い、原子炉容器の一部溶接継手の 試験程度要求量については、全ての 溶接継手の試験可能な範囲へと変更 になった。	第2.4保全サイクルより、参考資料 (別紙) 供用期間中検査計画の原子 炉容器溶接継手の検査範囲を 「5%」から「100%」へと変更 する。	④	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
62	重大事故等クラス2機器 (供用期間中検査対象) 原子炉容器 ・上部胴と下部胴の周溶接継手 ・下部胴とトランジションリ ングの周溶接継手 ・トランジションリングと下 部鏡板の周溶接継手	検査範囲	5%	100%	「適達等の文 書」 「その他」			④	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間 中検査

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
63	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 2V-WL-212 2Aドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	—	—	—	「その他」		—	SN2-87 1次系逆止弁検査	
64	2V-WE-137 窒素供給逆止弁	—	—	—	「その他」	当該キャノピー式逆止弁は弁蓋のシール溶接が必要であり、通常運転中の点検では、溶接ノイズ発生による計装設備への影響が考えられるため定期検査期間中に点検を行うこととしていたが、点検期間の制約及び作業者へ負担を考慮し、型式の見直しを検討することとした。	定期検査期間中の点検期間制約及び作業者への負担を考慮し、第24回定期検査にて、ボンネット式逆止弁へ変更することから、参考資料(備考欄)へ取替えることを追記する。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
65	2V-WE-235 窒素供給逆止弁	—	—	—	「その他」		—	SN2-87 1次系逆止弁検査	
66	2V-WE-127 濃度計プリズム洗浄蒸気逆止弁(2A廃液蒸発装置)	—	—	—	「その他」		—	SN2-87 1次系逆止弁検査	
67	2V-WE-222 濃度計プリズム洗浄蒸気逆止弁(2B廃液蒸発装置)	—	—	—	「その他」	当該キャノピー式逆止弁は弁蓋のシール溶接が必要であり、通常運転中の点検では、溶接ノイズ発生による計装設備への影響が考えられるため定期検査期間中に点検を行うこととしていたが、点検期間の制約及び作業者へ負担を考慮し、型式の見直しを検討することとした。	定期検査期間中の点検期間制約及び作業者への負担を考慮し、第24回定期検査にて、ボンネット式逆止弁へ変更することから、参考資料(備考欄)へ取替えることを追記する。	—	SN2-87 1次系逆止弁検査
68	2V-WL-556 2Bドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	—	—	—	「その他」		—	SN2-87 1次系逆止弁検査	
69	原子炉施設 (その他設備) クラス1機器(供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験 点検頻度	10年間	7年間	「その他」	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映する。	次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから維持規格に従い頻度を「7年間」へ変更する。	①	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
70	重大事故等クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験 点検頻度	10年間	7年間, 10年間	「その他」	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映する。	次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから、重大事故等クラス2機器であってクラス1機器については、維持規格に従い頻度を「7年間」へ変更する。	①	SN2-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査
71	N1 合金溶接部 1式	非破壊試験 点検頻度	7年間, 10年間	7年間	「その他」	日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格(2008年度版)」に「クラス1機器の容器、管、ポンプ及び弁については第4回目以降の検査間隔は、前回の検査間隔終了後7年間とする。」とあり、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから点検計画に反映する。 なお、ベアメタル検査(原子炉容器底部の表面)については、「亀裂の解釈」により検査間隔(7年間)の半分の期間(3.5年間)とし、点検計画に反映する。	維持規格に従い、次回(第24回)定期検査より第4検査間隔となることから、頻度を「7年間」へ変更する。 また、ベアメタル検査(原子炉容器底部の表面)については、「亀裂の解釈」により検査間隔(7年間)の半分の期間「3.5年間」へ変更する。	①	SN2-1 クラス1機器供用期間中検査
		外観検査(ベアメタル) 点検頻度	5年間, 10年間	3.5年間, 7年間					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
72	原了炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他 原了炉注水設備) 2V-SI-048A 2A ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)	—	—	—	「当該プラント のトラブル及び 不適合」	弁分解点検時、弁蓋の固着により分 解が実施出来なかった。 今回の固着は偶発的なねじ部のがじ りにより発生したものと考えられ、 またプラント停止時に実施したS1 S逆止弁漏えい検査において、漏え いがないことを改めて確認しており 弁シートの機能に問題はない。	第24回定期検査にて弁本体取替を 実施することから、補修、取替及び 改造計画に反映する。 また、点検計画の参考資料(備考 欄)へ取替えることを追記する。	①	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 SN2-204その他原了炉注水系主要 弁分解検査
73	原了炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備) 2A、2B、2C 1次冷却材ポンプ	分解点検 点検頻度	10年間	104M	「その他」	これまで日本機械学会「発電用原子 力設備規格 維持規格(2008年度 版)」に基づき実施する1次冷却材 ポンプケーシング内表面等の供用期 間中検査の実施頻度に合わせて分解 点検頻度を「10年間」としていた が、保全の実績に合わせた点検頻度 の表記を見直す。	過去の保全実績(8定検に1回の頻 度)から分解点検頻度を「104 M」へ変更する。	①	
74	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給 水ポンプ及び貯水設備並びに 給水処理設備) A、B、C、D、E 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「1 3M」から「26M」に変更する。	①	SN2-125 2次系容器検査
75	2A、2B、2C、2D 湿分分離加熱器第1段ドレン タンク	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「2 6M」から「39M」に変更する。	①	
76	2A、2B、2C、2D 湿分分離加熱器第2段ドレン タンク	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「1 3M」から「26M」に変更する。	①	
77	2A、2B 湿分分離器ドレンタンク	開放点検 点検頻度	13M	26M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「1 3M」から「26M」に変更する。	①	
78	2A、2B、2C 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「2 6M」から「39M」に変更する。	①	
79	2V-BS-731A、B、C 2A、B、C低圧第4給水加熱器 2A、B、C逆止弁	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C		左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 C」から「4C」に変更する。		
80	2V-BS-732A、B 2A、2B高圧第6給水加熱器 2A(2B)逆止弁	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「2 6M」から「39M」に変更する。	①	
		機能・性能試験 点検頻度	2C	3C		左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「2 C」から「3C」に変更する。		

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更				事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
81	2V-CW-219、220、221 A、B、C復水ポンプ人口リリーフ弁	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C					
82	2V-FW-012、013 A、B高圧第6ヒータ人口リリーフ弁	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
		機能・性能試験 点検頻度	2C	3C					
83	2V-FW-121 給水ポンプバイパス管リリーフ弁	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
		機能・性能試験 点検頻度	2C	3C					
84	原子炉冷却系統施設 (余熱除却設備) 2A、2B 余熱除去ポンプ用電動機	分解点検 点検頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
85	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 2号 CH/SI ポンプミニマムフロー元弁	電動機分解点検 点検頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
86	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A、2B 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
87	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備) 2A、2B ガス圧縮機用電動機	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討することとした。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、第24保全サイクルより点検頻度を「65M」から「78M」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
88	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備) 2A、2B 補助建屋サンボ ンポン用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 C」から「4C」に変更する。	①	
89	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備) 2A、2B 補助建屋機器ドレ ンタンクポンプ用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 C」から「4C」に変更する。	①	
90	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備) 2A、2B 格納容器冷却材ド レンポンプ用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 C」から「4C」に変更する。	①	
91	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物 処理設備) 2A、2B 補助建屋冷却材ド レンポンプ用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	SN2-97 液体廃棄物処理系設備検査
		機能・性能試験 点検頻度	3C	4C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 C」から「4C」に変更する。	①	
92	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 格納容器空気浄化 ファン用電動機	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「6 5M」から「78M」に変更する。	①	
93	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 安全補機室給気 ファン用電動機	分解点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「2 6M」から「39M」に変更する。	①	
94	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 安全補機室閉器室 空調ファン用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	
95	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 中央制御室非常用 循環ファン用電動機	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「6 5M」から「78M」に変更する。	①	
96	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 制御用空気圧縮機 室給気ファン用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	
97	放射線管理施設(換気設備) 2A、2B 制御用空気圧縮機 室排気ファン用電動機	分解点検 点検頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「3 9M」から「52M」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更					評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
98	原了炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全 設備) 2A、2B 格納容器スプレ イポンプ用電動機	分解点検 点検頻度	78M	91M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「7 8M」から「91M」に変更する。	①	
99	原了炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全 設備) 2A、2B アンユラス空気清 化ファン用電動機	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「6 5M」から「78M」に変更する。	①	
100	その他発電用原了炉の附属施 設 (非常用電源設備) 2A、2B 燃料油移送ポン プ用電動機	分解点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「6 5M」から「78M」に変更する。	①	
101	その他発電用原了炉の附属施 設 (非常用電源設備) (そ 他の電源装置) 2C1、2C2、2D1、2 D2 原了炉コントロールセン タ母線 (限流リアクトル含 む)	普通点検 点検頻度	65M	78M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として 点検頻度の見直しを検討することと した。	過去の点検結果に問題がなかったこ と及び過去にトラブルがなかったこ と等を総合的に評価した結果、第2 4保全サイクルより点検頻度を「6 5M」から「78M」に変更する。	①	
102	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 2A1、2A2、2B1、2B2 制御用空気除湿装置吸着塔	開放点検 点検頻度	26M	39M	「その他」	当該機器について、保全最適化と して点検頻度の見直しを検討するこ ととした。	過去の点検結果に問題がなかったこ と、及びメーカー推奨による評価から 点検頻度を「26M」から「39 M」に変更する。	① ④	
103	その他発電用原了炉の附属施 設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 発電機保護継電装置 主変圧器保護継電装置 所内変圧器保護継電装置 予備変圧器(1,2号機共用) 保護継電装置	特性試験 点検頻度	26M	6C	「その他」	既設設備の構成部品であるアナログ 型保護継電器が製造中止となってい るため、長期保守安定性に優れたデ ジタル型保護継電器への取替えを実 施した。	当該保護継電装置の継電器をデジ タル型に更新したこと、当時工務 部(現九州電力送配株式会社)の 「発電電保要則」及び製造メーカ の推奨に基づき、特性試験の点検頻 度を「26M」から「6C」に変更 する。	④	
104	計測制御系統施設 (その他設備) 1. 保安規定に定める原了炉 トリップ、工学的安全施設の 始動、原了炉格納容器隔離等 を行うためのすべての伝送 器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 (保護継電器 含む) 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計	—	—	—	「その他」	設備の保守・信頼性向上の観点か ら、原了炉安全保護盤の取替えを行 うこととしており、これに合わせて 以下の変更を行う。 ・デジタル安全保護系の採用 ・計測装置の変更 ・原了炉非常停止信号の変更 ・工学的安全施設等の作動信号 の変更	取替後の機器台数を以下のとおり変 更する。 1. 保安規定に定める原了炉トリ ップ、工学的安全施設の始動、原了 炉格納容器隔離等を行うためのすべ ての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 51個→62個 設定器 (保護継電器含む) 133個→172個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 13個→16個	—	SN2-34 安全保護系設定値確認検査
105	事故時監視計器 指示計	—	—	—	「その他」	取替後の機器台数を以下のとおり変 更する。 事故時監視計器 指示計 51個→48個	—	SN2-35 プラント状態監視設備機能検査	
106	安全保護系シーケンスキャ ビネット 1式	—	—	—	「その他」	原了炉安全保護盤取替に伴い、安全 保護系シーケンスキャビネットは原 了炉安全保護盤に統合する。	—		
107	高圧及び低圧注入系 充てん/高圧注入ポンプ 3台 余熱除去ポンプ 2台	—	—	—	その他	2020年4月1日の「実用発電用原了 炉の設置、運転等に関する規則」の改 正で第五十五条第1項第三号及び第 五十六条第1項第三号が削除され、 「運転中主要機器機能検査」は法令 要求でなくなる。	「運転中主要機器機能検査」につい ては、法令要求でなくなることから 2号24保全サイクルより点検計画 の項目を削除する。	—	SN2-136 運転中主要機器機能検査
108	原了炉格納容器スプレ イポンプ 2台	—	—	—	その他	2020年4月1日の「実用発電用原了 炉の設置、運転等に関する規則」の改 正で第五十五条第1項第二号及び第 五十六条第1項第三号が削除され、 「運転中主要機器機能検査」は法令 要求でなくなる。	「運転中主要機器機能検査」につい ては、法令要求でなくなることから 2号24保全サイクルより点検計画 の項目を削除する。	—	SN2-136 運転中主要機器機能検査

3. 補修、取替え及び改造計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		補修、取替え、改造工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	原子炉本体 (原子炉容器) 原子炉容器	原子炉容器出口管台溶接部計画保全工事	「高経年化技術 評価及び安全性 向上評価」 「その他」	原子炉容器出口管台溶接部 (600 系Ni基合金) の1次冷却水中応力 腐食割れ (PWSCC) 対策として 予防保全を行う。	第24回定期検査において、原子炉容器出口管台 溶接部の内面補修 (690系Ni基合金化) を行 う。 また、参考資料 (備考欄) へ計画保全することを 追記する。	
2	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他 原子炉注水設備) 2V-SI-048A 2A ほう酸注入ライン逆止弁 (内隔離弁)	ほう酸注入ライン逆止弁取替工事	「当該プラント のトラブル及び 不適合」	弁分解点検時、弁蓋の固着により分 解が実施出来なかった。 今回の固着は偶発的なねじ部がじり りにより発生したものと考えられ、 またプラント停止時に実施したS I S逆止弁漏えい検査において、漏え いがないことを改めて確認しており 弁シート機能に問題はない。	第24回定期検査にて弁本体取替を実施すること から、補修、取替及び改造計画に反映する。 また、点検計画の参考資料 (備考欄) へ取替える ことを追記する。	SN2-18 非常用炉心冷却系主要弁 分解検査 SN2-204その他原子炉注水系主要 弁分解検査
3	計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉安全保護盤取替工事	「高経年化 技術評価及 び安全性向 上評価の結果」 「適達等の文 書」 「その他」	設備の保守性・信頼性向上の観点か ら、原子炉安全保護盤の取替えを行 うこととしており、これに合わせて 以下の変更を行う。 ・デジタル安全保護系の採用 ・計測装置の変更 ・原子炉非常停止信号の変更 ・工学的安全施設等の作動信号 の変更	第24回安全サイクルで、原子炉安全保護盤取替工 事を実施する。	SN2-33 安全保護系機能検査 SN2-34 安全保護系設定値確認検査 SN2-35 フロント状態監視設備機能検査 SN2-73-1 計測制御系監視機能検査 SN2-111 安全保護系機能検査 (バーミッドロッキング検査)
4	特定重大事故等対処設備	特定重大事故等対処施設及びその関連施設 設置工事 (第1回申請～第3回申請)	「適達等の文 書」	実用発電用原子炉及びその附属施設 の技術基準に関する規則第53条に 規定される特定重大事故等対処施設 及びその関連施設を設置する。	第24回定期検査で特定重大事故等対処施設及び その関連施設を設置する。	
5	重大事故等対処設備 非常用電源設備	常設直流電源設備 (3系統目) 設置工事	「適達等の文 書」	実用発電用原子炉及びその附属施設 の技術基準に関する規則第72条第 2項に規定される常設の直流電源設 備及びその関連施設を設置する。	第24回定期検査で特定重大事故等対処施設及び その関連施設を設置する。	
6	重大事故等対処設備 緊急時対策所	緊急時対策棟設置工事	「適達等の文 書」	緊急時対策所機能について、現在運 用中の代替緊急時対策所から緊急時 対策棟 (指揮所) 内に移行する。 なお、緊急時対策棟は、緊急時対策 棟 (指揮所) と (休憩所) で構成す る。	第24回 (2021年7月完了予定) で、緊急時対策 所機能を現在運用中の代替緊急時対策所から緊急 時対策棟 (指揮所) 内に移行する。	

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル（評価対象期間：2019年7月1日～2020年1月31日）

項目	目標値	実績値
計画外自動停止回数	1回／7000 臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回／7000 臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF回数評価対象期間：2019年7月1日～2020年1月31日 UA時間評価対象期間：2018年1月1日～2020年1月31日)

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【系統共通箇所以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (MS-1)					
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (安全注入ライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル 【蓄圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (余熱除去系統経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料プールの補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう薬除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<1時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)					
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全補機室給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1) 未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1) 原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (事故時サンプリングエリア給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (補助給水ポンプ室換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (制御用空気圧縮機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (安全補機閉閉器室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)					
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスター案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
原子炉格納施設	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう裏濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/基	0時間	
主給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【タービン動補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【還水タンク】 <168時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
所内電源系統 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
所内電源系統 (C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<2時間/2サイクル/母線	0時間	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
安全系ヒートトレース設備	未臨界維持機能(直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置(機械系)	過剰反応度の印加防止機能(PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能(原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置(電気系)	原子炉の緊急停止機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
ディーゼル発電機始動空気系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル(手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル(自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル(インターロック)	0時間	
		<1回/サイクル	0回	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル(手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル(自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル(インターロック) 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
中央制御室外原子炉停止盤	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未境界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
	1次系フィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	炉心注入 代替炉心注入 (B充てん/高圧注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型電動低圧注入ポンプ又は 可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 <72時間/2サイクル	0時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル	0時間	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉補助建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回	電源設備 (変圧器車、可搬型分電盤以外) <720時間/2サイクル 変圧器車、可搬型分電盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	0時間	
	計測設備	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル 記録機能 —	0時間	
	中央制御室	<2回/サイクル	0回	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	0時間	
	監視測定設備	<2回/サイクル	0回	—	—	
通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間		

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし